

京都市はぐくみプラン
（京都市子ども・若者総合計画）

別冊 資料集

目 次

1	計画の策定経過	・・・P 1
2	京都市はぐくみ推進審議会	・・・P 2
3	前計画の概要と進捗状況	・・・P 4
4	市民ニーズ調査・意識調査の結果	・・・P 5
5	市民意見の募集（パブリック・コメント）の結果	・・・P 7
6	基礎データ ※ 第2章 施策の体系に沿って作成	
	（1）ライフステージに応じた子ども・若者の成長	
	① 母子保健	・・・P 8
	② 乳幼児期の子育て支援	・・・P 11
	③ 幼児教育・保育	・・・P 14
	④ 子どもの教育環境	・・・P 21
	⑤ 放課後の子どもたちの居場所づくり	・・・P 25
	⑥ 思春期保健	・・・P 29
	⑦ 若者の自己成長と社会参加	・・・P 33
	⑧ 子育て家庭の生活の安定や子ども・若者の健やかな成長に資する継続的な取組	・・・P 41
	（2）特に支援を要する子ども・若者やその家庭への支援	
	① 貧困家庭の子ども・若者への支援	・・・P 43
	② 児童虐待対策・少年非行対策，社会的養育の推進	・・・P 52
	③ 困難を有する若者への支援	・・・P 54
	④ 障害のある子どもへの支援	・・・P 58
	⑤ ひとり親家庭支援	・・・P 61
	（3）子ども・若者とその家庭をみんなで支え・はぐくむ社会	
	① 次代を担う子ども・若者をはぐくむ地域共生社会の推進	・・・P 67
	② 親育ち促進	・・・P 70
	③ 「真のワーク・ライフ・バランス」の促進	・・・P 74

1 計画の策定経過

実施年月日		主な取組
平成30年度	4月17日	第1回「京都市はぐくみ推進審議会」
	7月23日	第2回「京都市はぐくみ推進審議会」
	9月～10月	子ども・若者に係る総合的な計画策定に向けた 市民ニーズ調査・意識調査
	9月10日	第3回「京都市はぐくみ推進審議会」
	3月28日	第4回「京都市はぐくみ推進審議会」
令和元年度	7月22日	第1回「京都市はぐくみ推進審議会」
	9月17日	第2回「京都市はぐくみ推進審議会」
	10月17日	第3回「京都市はぐくみ推進審議会」
	10月31日～12月4日	パブリックコメントの実施
	1月28日	第4回「京都市はぐくみ推進審議会」
	3月23日	計画策定

2 京都市はぐくみ推進審議会

(1) 概要

設置年月：2018（平成30）年4月1日

委員定数：30名以内（必要に応じ特別委員を置く。）

委員任期：2年

委員構成：有識者、支援従事者・関係団体、労働者代表、企業・経営者、市民公募委員 等

(2) 趣旨・目的

子ども及び若者に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項並びに当該施策の実施の状況に関する事項について、調査し、及び審議するとともに、当該事項について市長に対し、意見を述べるための機関として、並びに次に掲げる規定に規定する合議制の機関として設置するもの。

- ・児童福祉法第8条第3項
- ・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第25条
- ・子ども・子育て支援法第77条第1項

(3) 部会等

【児童福祉分科会に設置する部会】

- (1) 児童支援・里親部会
- (2) 市営保育所移管先選定部会
- (3) 認可・確認部会
- (4) 障害児通所支援事業所選定部会

【その他の部会】

- ① 子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会
- ② 親育ち促進部会
- ③ 親子いきいき保健部会
- ④ 幼保推進部会
- ⑤ 子どもの健全育成推進部会
- ⑥ 教育環境づくり部会
- ⑦ 青少年活動促進部会
- ⑧ 社会的困難を抱える青少年支援部会
- ⑨ 支援を必要とする子どものための部会
- ⑩ ひとり親家庭支援部会

(4) 委員名簿（50音順、敬称略）

＜委員＞

氏名	団体・役職名等	部会
安保 千秋◎	弁護士	⑧、②
雨宮 万里子	京都市少年補導委員会	⑤、⑦
石垣 一也	京都経営者協理事務局長	—
石塚 かおる	京都児童養護施設長会会長	⑧、⑨、①
稲川 昌実	京都市児童館学童連盟会長	①、⑤
井上 直樹	京都市保育園連盟副理事長	①、④
植松 明彦	京都市PTA連絡協議会会長	②、⑦、⑧
埋橋 孝文	同志社大学教授	⑩
大橋 憲宏	京都市保護司会連絡協議会会長	⑧
岡 美智子	京都障害児者親の会協議会副会長	⑤、⑨、②、④
川北 典子○	大谷大学教授	④、②、③
川中 大輔	シチズンシップ共育企画代表	①、⑦
木村 友香理	市民公募委員	③、⑧
小谷 裕実	京都教育大学教授	⑨、④
杉原 颯太	市民公募委員	②、⑥、⑦

氏名	団体・役職名等	部会
徳岡 博巳◆	大谷大学短期大学部教授	⑨、①
中川 佐和子	市民公募委員	②、⑤、⑥
長澤 敦士	市民公募委員	①、⑧、⑨、④
西 恵味	市民公募委員	④、⑩、③
野田 正人	立命館大学教授	⑧
初田 幸隆	京都教育大学教授	⑤、⑥
柊 あずさ	京都YMCA青少年教育担当	⑦
藤本 明美	京都子育てネットワーク理事長	①、②、③、⑤
升光 泰雄	京都市私立幼稚園協会会長	①、④
松田 義和	京都府医師会理事	③
松山 廉	京都市ユースサービス協会事務局長	⑦
水野 菜々	日本労働組合総連合会 京都府連合会女性委員会委員長	①、⑧
矢島 里美	全国認定こども園協会 京都府支部副支部長	④
山本 智也	大阪成蹊大学教授	①、⑦
山本 奈未	市民公募委員	④、②、③

会長◎ 副会長○ 児童福祉分科会長◆ 部会長—

＜特別委員＞

氏名	団体・役職名等	部会
荒賀 一美	京都労働局職業安定部職業安定課訓練室室長補佐	⑧
伊豆田 千加	子育ては親育て・みのりのもり劇場理事長	①, ⑥
指宿 達也	京都市男女共同参画推進協会専務理事	①, ⑩
禹 満	京都府医師会理事	②, (2)
榎谷 美幸	京都市私立幼稚園協会理事	②
大澤 彰久	京都市小学校PTA連絡協議会会長	①, ⑥
大束 貢生	佛教大学准教授	⑦, (2)
沖 豊彦	京都市社会福祉協議会事務局次長	①
奥野 美奈子	京都銀行執行役員公務・地域連携部長	①
尾崎 明子	京都府歯科医師会公衆衛生部副委員長	③
小野 恵以子	京都市社会福祉協議会生活支援部担当部長	⑧
河原 善雄	京都市日本保育協会会長	④
草野 政子	京都市母子寡婦福祉連合会 副会長	⑧, ⑩
國重 晴彦	京都市児童館学童連盟 健全育成・子育て支援統括監	⑦
熊谷 幸江	京都府栄養士会会長	③
小林 正	京都労働局職業安定部職業安定課課長補佐	⑩
小林 知佐	京都府薬剤師会常務理事	③
佐々木 佳代	同志社女子大学名誉教授	⑧
志澤 美保	京都府立医科大学医学部看護学科准教授	③
渋谷 千鶴	京都知的障害者福祉施設協議会 児童発達支援部会長	⑨
芹澤 出	京都母子生活支援施設協議会会長	③, ⑨, ⑩, (1)
田村 秀子	京都産婦人科医会会長	③
長者 美里	学校法人光華女子学園常任理事・学園長補佐 (幼児・初等中等教育担当)	⑧
土江田 雅史	公認会計士	(2), (4)
中島 久子	公募委員	④
野田 昌代	京都労働局雇用環境・均等室 雇用環境改善・均等推進監理官	①
野田 美穂子	公募委員	④
長谷川 泰子	京都府看護協会第一副会長	③
長谷川 ユリ	京都市私立幼稚園 PTA 連合会 OB 会はのんの会代表	②
畑山 博	足立病院理事長	①
平田 和洋	京都市社会福祉協議会事務局長	(3)
藤垣 真貴子	京都府助産師会	③
藤本 明弘	京都府私立幼稚園連盟財務担当理事	④, ⑥
増田 正昭	京都市里親会会長	⑨
丸橋 泰子	子育て支援コミュニティ おふいすパワーアップ代表	②, ④
三浦 正人	京都市児童館学童連盟 施設長会副会長	②
水谷 裕美	公募委員	④
宮井 真澄	京都市社会福祉協議会児童館事業部部長	②, ⑤

氏名	団体・役職名等	部会
村上 恵子	京都家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	⑧
矢野 武也	京都市民生児童委員連盟庶務担当理事	②
山上 恭子	京都府助産師会代表理事副会長	②
山口 裕司	二九精密機械工業総務部部長	①, (3)
山口 正孝	京都市民生児童委員連盟理事	⑥, ⑨, (1)
幸田 有史	京都府立洛南病院診療部医長	(1)
吉川 左紀子	京大大学こころの未来研究センター特定教授	②
吉澤 浩則	京都市保育園連盟副理事長	②
吉田 正幸	保育システム研究所代表取締役	④
吉田 瑞希	弁護士	(1)

＜前委員＞※ 団体・役職名等は在籍時のもの

氏名	団体・役職名等	部会
井筒 隆夫	京都市民生児童委員連盟会長代行 (令和2年1月まで)	⑥, ⑨, (1)
大川 智司	二九精密機械工業専務執行役員 (令和元年6月まで)	①, (3)
大槻 洋子	京都市立中学校PTA連絡協議会庶務 (平成30年6月まで)	⑦, ⑧
鎌田 高雄	稚松連合会会長／京都市立芸術大学を核としたエリアマネジメント世話人会 (平成31年3月まで)	(2)
川邊 祐司	京都市立中学校PTA連絡協議会庶務 (令和元年6月まで)	⑦, ⑧
川村 雅己	京都経営者協会渉外部参与 (平成30年12月まで)	—
北島 則子	京都府看護協会第一副会長 (令和2年1月まで)	③
久保川 芳弘	京都市PTA連絡協議会会長 (平成30年6月まで)	①, ⑥
澤井 早和乃	京都市保護司会連絡協議会会長 (令和元年5月まで)	⑧
高田 光雄	京都美術工芸大学教授 (平成31年3月まで)	(2)
鶴丸 富子	京都市里親会会長 (令和元年5月まで)	⑨
細川 みゆき	京都市社会福祉協議会児童館事業部部長 (平成31年3月まで)	⑤
山手 重信	京都市児童館学童連盟会長 (令和元年6月まで)	①, ⑤
山元 新司	京都銀行石山支店長 (令和元年5月まで)	①
安井 雅子	市民公募委員 (平成31年4月まで)	④, (2), (3)

3 前計画の概要と進捗状況

(1) 京都市未来こどもはぐくみプラン

■計画の趣旨・位置付け

京都市の子育て支援施策の総合的な計画で、次世代育成支援対策推進法第8条に規定される市町村行動計画に位置付けるもの。

■計画の期間

2015（平成27）年度から2019（令和元）年度までの5年間

■進捗状況

年度	施策数				
		完了	推進中（充実）	推進中（継続）	着手前
27	247	2	69	174	2
28	247	3	46	198	0
29	247	4	50	193	0
30	247	4	45	198	0

(2) はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプラン

■計画の趣旨・位置付け

子ども・若者育成支援推進法第9条第2項に規定される「市町村子ども・若者計画」の若者年代を対象とする育成支援計画と位置付けるもの。

■計画の期間

2011（平成23）年度から2020（令和2）年度までの10年間

■進捗状況

年度	施策数				
		完了	推進中（充実）	推進中（継続）	着手前
28	343	21	39	283	0
29	360	31	33	296	0
30	373	47	23	303	0

(3) 京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画

■計画の趣旨・位置付け

上記2つの計画を補足し、「子ども等の貧困」の観点から必要な施策をとりまとめた実施計画として策定するもの。

■計画の期間

2017（平成29）年度から2019（令和元）年度までの3年間

■進捗状況

年度	施策数				
		完了	推進中（充実）	推進中（継続）	着手前
29	133	0	27	105	1
30	133	1	17	115	0

4 市民ニーズ調査・意識調査の結果

「京都市はぐくみプラン」の策定に当たり、市民のニーズや生活状況等とその相関関係を把握し、子ども・若者支援に係る施策等の課題を明らかにするとともに、今後の方向性を検討する基礎資料とするため、2018（平成30）年9月から概ね1箇月にわたって実施

（1）回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
69,491件	27,581件	39.7%

（2）実施結果概要

① 子育て支援に関する市民ニーズ調査

小学校入学前及び小学生の子どもを養育する家庭の子育ての状況、子どもや子育て支援に関するニーズを把握し、今後の本市の子育て支援施策の充実に向けた基礎資料とするもの。

調査対象者：京都市内在住の小学校入学前児童の保護者
京都市在住の小学生児童の保護者

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

調査方法：郵送による配布・回収

<回収状況>

小学校入学前児童調査	配布数	有効回収数	有効回収率
	6,500件	3,191件	49.1%
小学生児童調査	配布数	有効回収数	有効回収率
	6,500件	3,202件	49.3%

② 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査

結婚・出産に関する意識や、働き方などに対する意識等を把握し、今後の本市の少子化対策や真のワーク・ライフ・バランスの推進に向けた検討の基礎資料とするもの。

調査対象者：京都市に在住する18歳から49歳までの市民

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

調査方法：郵送による配布・回収

<回収状況>

配布数	有効回収数	有効回収率
6,500件	1,866件	28.7%

③ ひとり親家庭に関する実態調査

ひとり親家庭の生活実態や要望・意見等を把握し、今後の本市のひとり親家庭への支援施策の検討に向けた基礎資料とするもの。

調査対象者：京都市内在住の母子・父子家庭

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

調査方法：郵送による配布・回収

<回収状況>

配布数	有効回収数	有効回収率
5,000件	1,272件	25.4%

④ 母子保健に関する意識調査

子育て中の母親の健康に対する意識や家庭での育児の状況、母子保健サービスについての意見等を把握し、今後の本市の母子保健施策等の充実に向けた基礎資料とするもの。

調査対象者：2018（平成30）年9月3日～9月28日の間に区役所・支所の子どもはぐくみ室における乳幼児健康診査（4か月児，8か月児，1歳6か月児，3歳児）に来所した乳幼児の母親

調査方法：乳幼児健康診査会場でアンケート票配布・郵送回収

<回収状況>

配布数	有効回収数	有効回収率
3,162 件	1,327 件	42.0%

⑤ 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査

青少年の意識や生活状況等について現状を把握し、今後の本市の青少年施策の充実に向けた基礎資料とするもの。

調査対象者：市内にお住まいの13歳から30歳までの青少年・若者及び13歳から18歳までの青少年の保護者

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

調査方法：郵送による配布・回収

<回収状況>

配布数	有効回収数	有効回収率
6,500 件	1,393 件	21.4%

⑥ 放課後の過ごし方に関する調査

【小学校】

小学生の放課後の過ごし方の状況や、放課後に利用している事業に関するニーズを把握し、今後の本市の放課後児童施策の充実に向けた基礎資料とするもの。

調査対象者：市立小学校及び市立小中学校前期課程に通う1年生，4年生，6年生の全ての児童の保護者

調査方法：学校を通じた配布・郵送回収

【総合支援学校】

児童・生徒の放課後の過ごし方の実態を把握するとともに、学童クラブ機能，放課後等デイサービスの利用状況や利用ニーズ，地域ごとの状況を把握し、今後の本市の放課後児童施策の充実に向けた基礎資料とするもの。

調査対象者：総合支援学校に通う全ての児童・生徒の保護者

調査方法：学校を通じた配布・郵送回収

<回収状況>

小学校	配布数	有効回収数	有効回収率
	31,696 件	14,218 件	44.9%
総合支援学校	配布数	有効回収数	有効回収率
	1,133 件	475 件	41.9%

5 市民意見の募集（パブリック・コメント）の結果

（１）募集期間

２０１９（令和元）年１０月３１日～１２月４日

（２）配架・配布先

- ・市役所案内所，各区役所・支所，子ども・若者に係る各施設等において配布
- ・市民団体である「パブリック・コメント普及協会」との協働により，イベントの来場者に説明のうえ配布
- ・京都市情報館ホームページに掲載

（３）募集方法

郵送，持参，FAX，電子メール及び京都市情報館ホームページ内の専用フォーム

（４）御意見数

意見者数：５３８人

意見総数：１，８３７件

（５）御意見を頂いた方の属性

ア 居住地

京都市内	京都市外	記載なし
３２９人	８８人	１２１人

イ 年齢

～１９歳	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代
２３人	１９２人	７５人	５４人	２２人
６０歳代	７０歳代	８０歳～	記載なし	
１３人	５人	２人	１５２人	

ウ 職業等

会社員	公務員	自営業	フリーター	主婦・主夫
８０人	１９人	１９人	５人	３６人
学生	無職	その他	記載なし	
２０７人	５人	３９人	１２８人	

（６）御意見の内容

対応分類	件数
①計画（最終版）に反映するもの	１３１件
②計画（案）に記載済み又は趣旨に含まれ，賛同いただいているもの	１，１３５件
③御意見の内容に対応しないもの	２８件
④今後の取組の推進に際して参考とするものその他の御意見	５４３件

※ 各意見の内容とこれらに対する京都市の対応方針は京都市情報館ホームページに掲載しています。

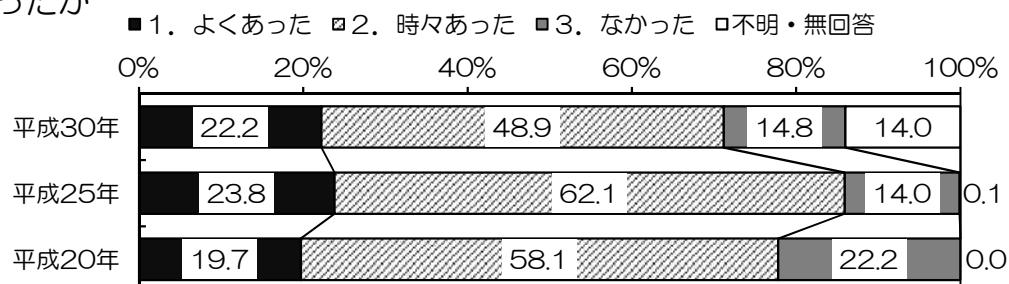
6 基礎データ

各項目は計画冊子の第Ⅱ部第2章「施策の体系」と対応しています。また、各項目名の右に記載している□は、第Ⅱ部第1章「優先的に取り組む事項」と対応する項目を示しています。

(1) ライフステージに応じた子ども・若者の成長

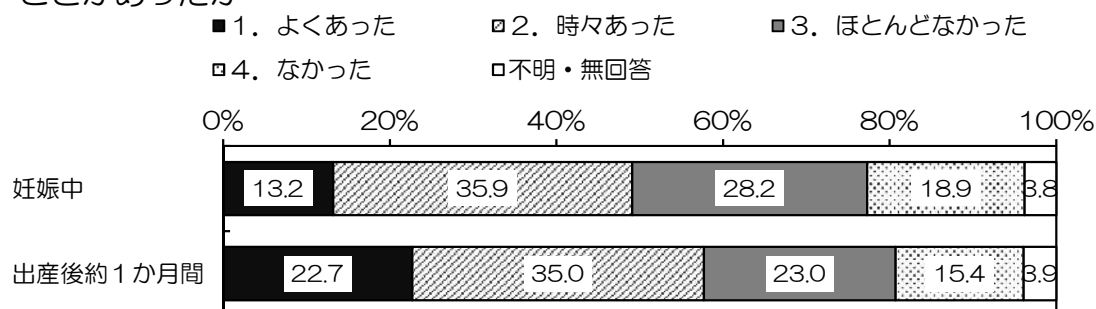
① 母子保健 重点1 柱1

■ 子どもを妊娠中に、妊娠・出産・育児について心配なことや不安なことがあったか



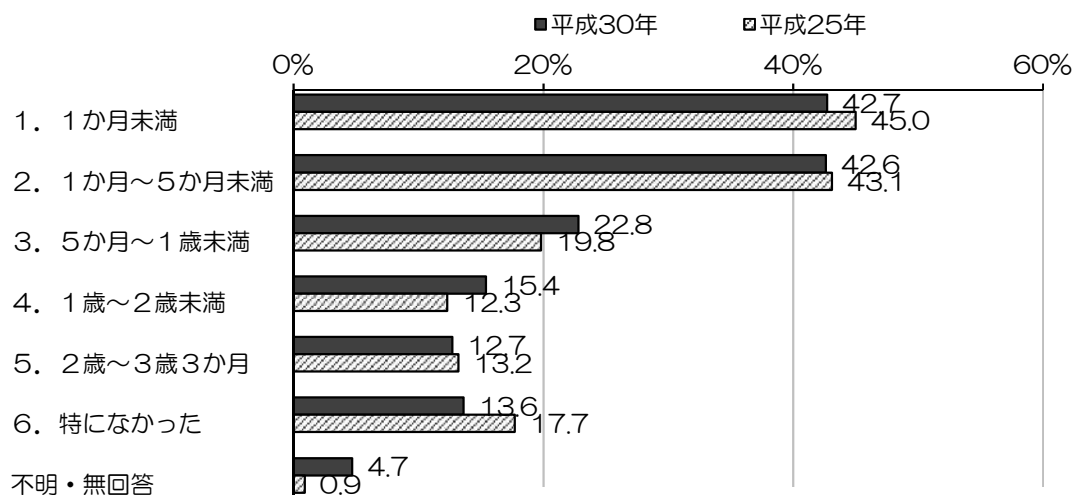
資料：京都市「母子保健に関する意識調査」（2018（平成30）年）

■ 妊娠中や出産後約1か月間に、精神的に落ち込むことやイライラを感じることはあったか



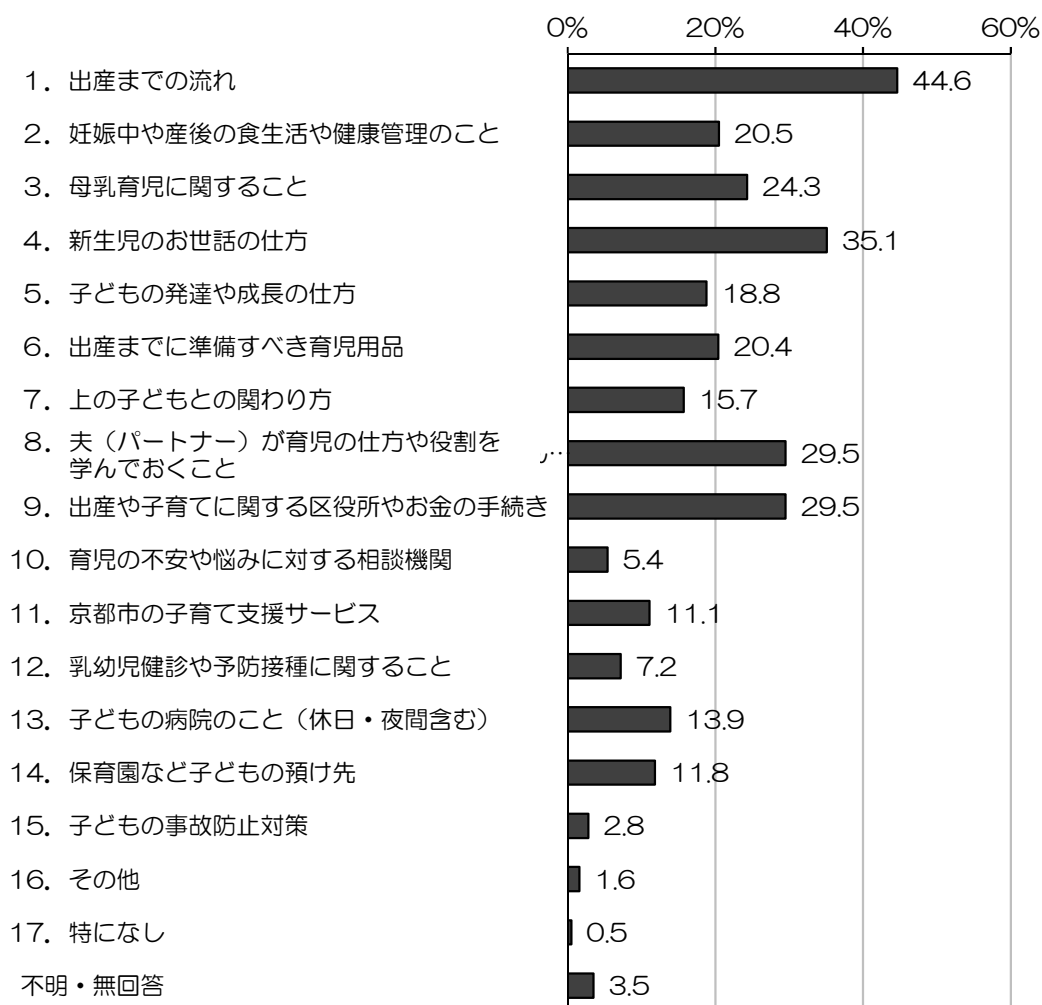
資料：京都市「母子保健に関する意識調査」（2018（平成30）年）

■ これまでの育児期間の中で、特に悩みや不安が大きかった時期



資料：京都市「母子保健に関する意識調査」（2018（平成30）年）

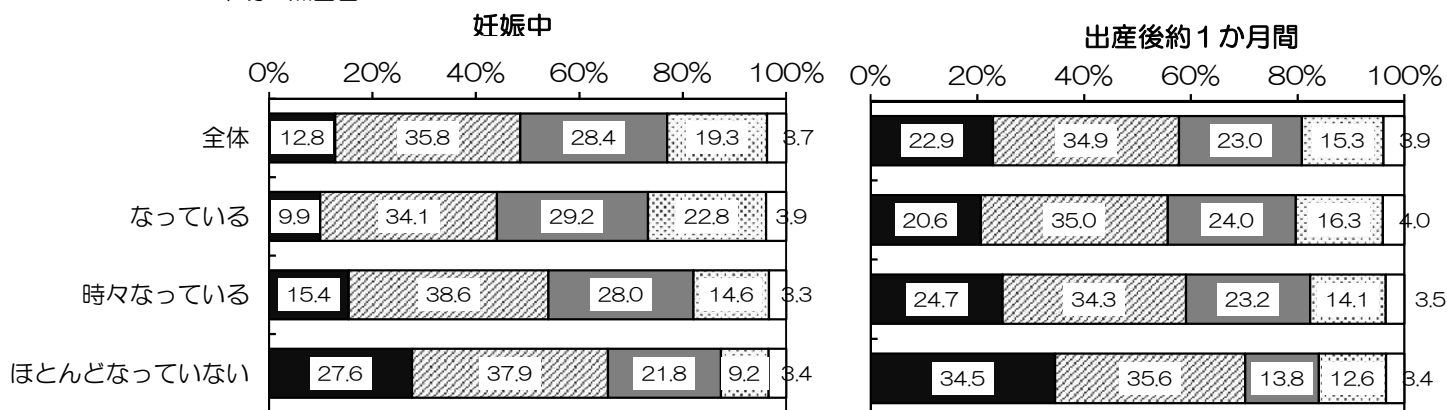
■ 妊娠や出産・子育てに関して、妊娠中に知っておくと役に立つと思うこと



資料：京都市「母子保健に関する意識調査」（2018（平成30）年）

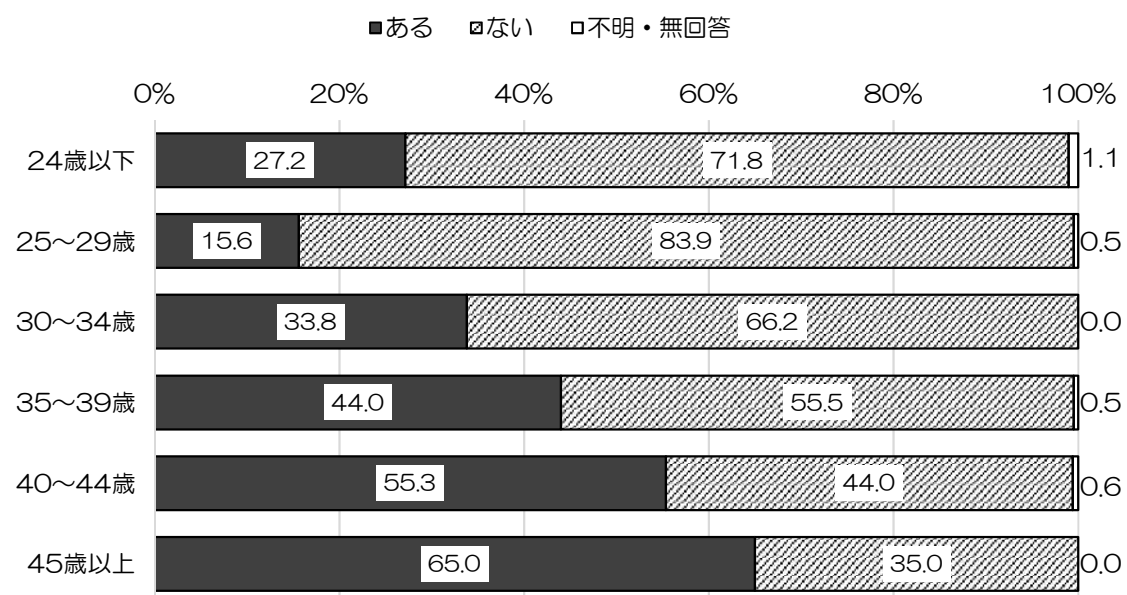
■ 精神的な落ち込みやイライラ感の頻度（夫（パートナー）の精神的な支え別）

- 1. よくあった □ 2. 時々あった
 ■ 3. ほとんどなかった □ 4. なかった
 □ 不明・無回答



資料：京都市「母子保健に関する意識調査」（2018（平成30）年）

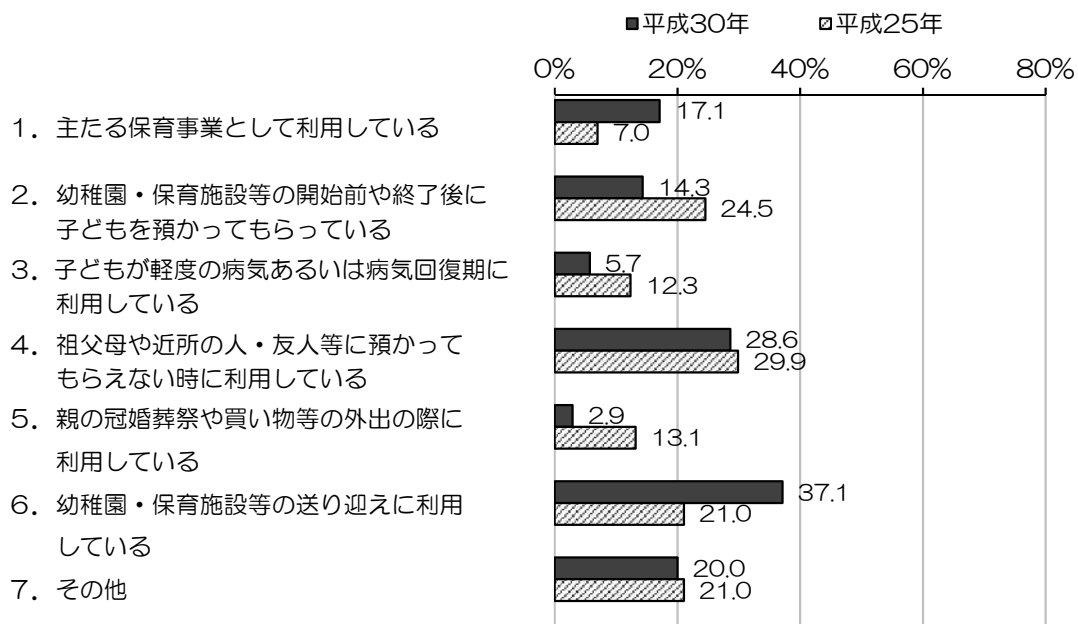
■ 不妊について悩んだことの有無（年齢別）



資料：京都市「母子保健に関する意識調査」（2018（平成30）年）

② 乳幼児期の子育て支援 **重点3 柱1**

■ ファミリーサポート事業を利用している目的

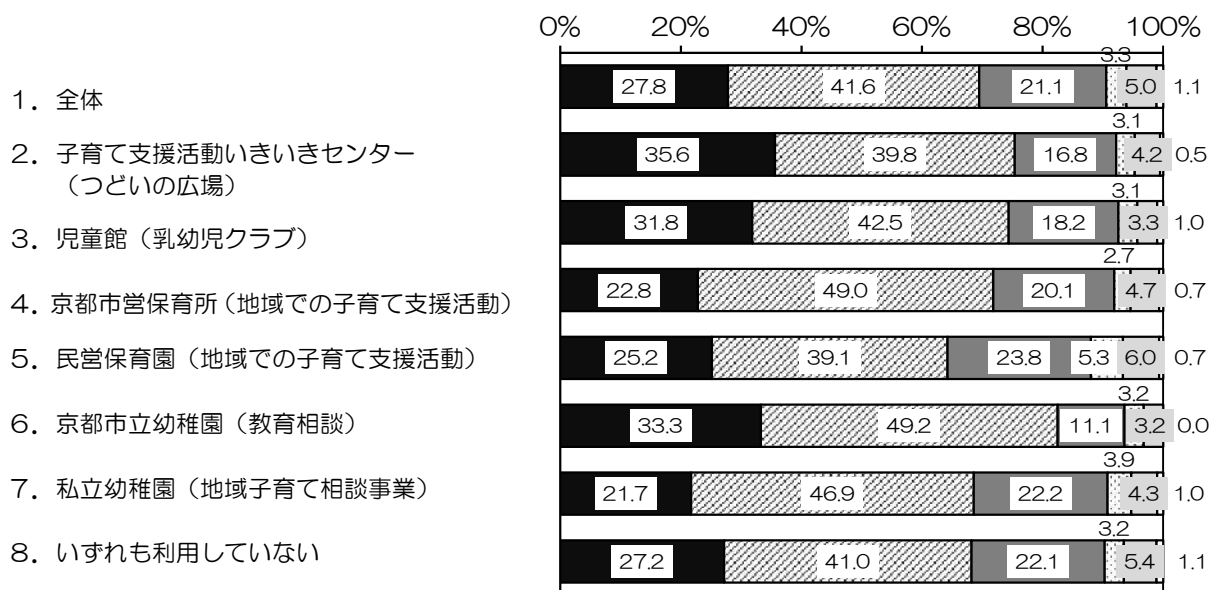


※不明・無回答除く

資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 子育てをしている今の気持ち（地域の子育て支援事業の利用状況別）

- 1. とても楽しい
- 2. 楽しい
- 3. 少し不安または負担を感じる
- 4. とても不安または負担を感じる
- 5. どちらともいえない
- 不明・無回答



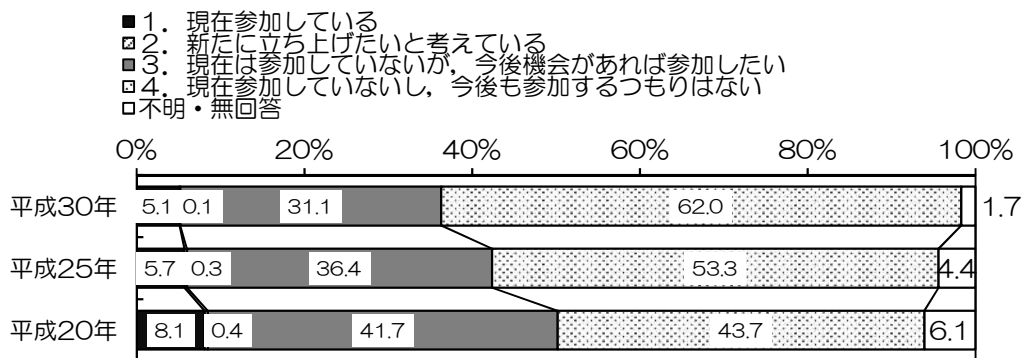
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 子どもを育てるうえで、日頃気になることをどこに、または誰に相談しているか



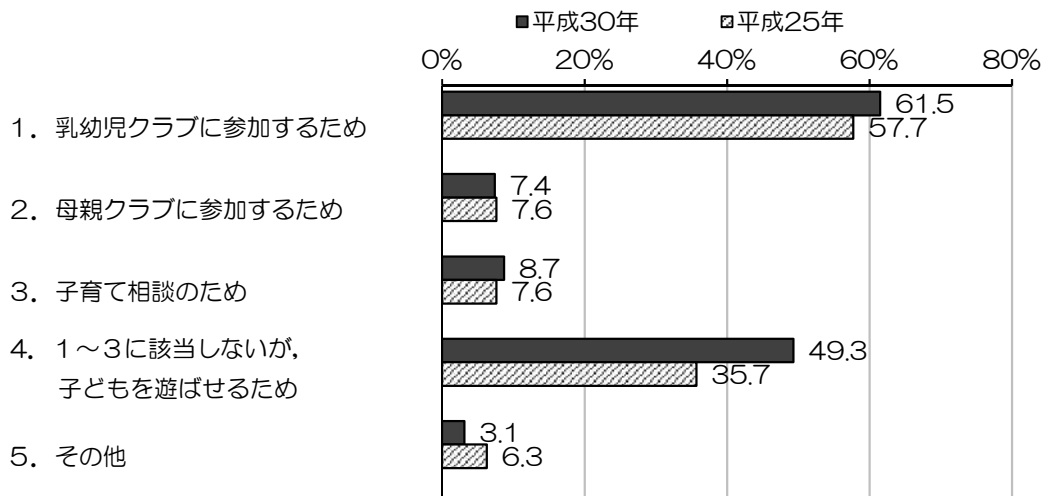
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 子育てサークル等の自主的な活動に参加しているか



資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 児童館をどのような目的で利用したか

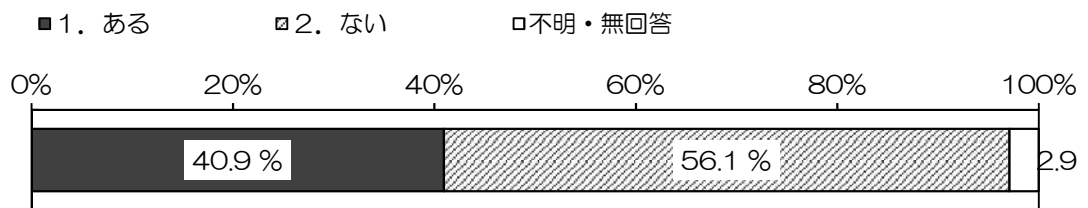


※不明・無回答除く

資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 今までに子どもが家庭内での事故にあったことがあるか

※ 家庭内での事故とは、転落、衝突、やけど、誤飲、溺れる、挟む、切る・刺すなどの事故を指します。



資料：京都市「母子保健に関する意識調査」（2018（平成30）年）

■ 子どもに対して育てにくさを感じるか

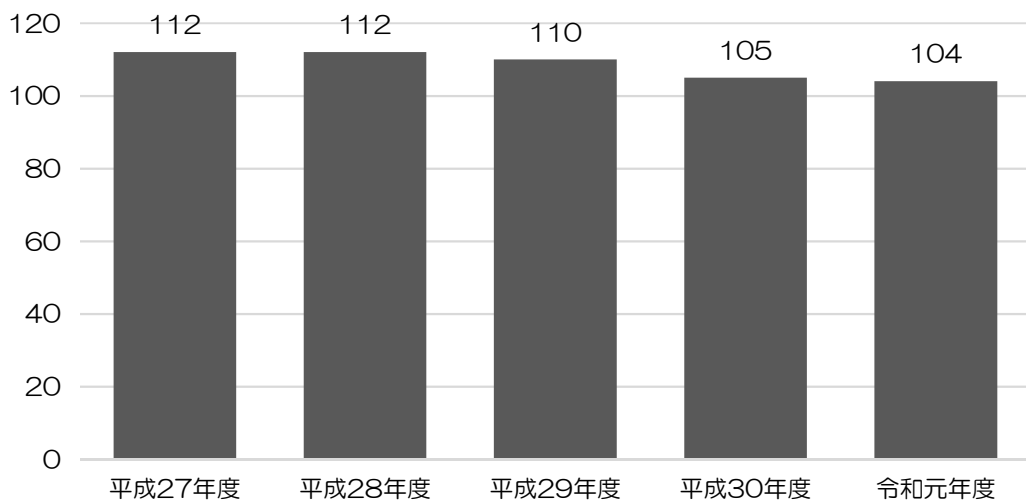
選択肢	合計		4か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. いつも感じる	287	1.0%	45	0.5%	75	0.8%	167	1.7%
2. 時々感じる	6,876	24.1%	1,192	12.9%	2,184	23.0%	3,500	35.4%
3. 感じない	21,409	74.9%	7,974	86.6%	7,225	76.2%	6,210	62.9%
9. 無回答	2,070		675		734		661	
合計(無回答除く)	28,572		9,211		9,484		9,877	

資料：京都市「健やか親子21（第2次）」アンケート（2018（平成30）年）

③ 幼児教育・保育 重点1 柱2・3

■ 幼稚園（市立・私立）の施設数（各年度5月1日時点の数値）

（箇所）

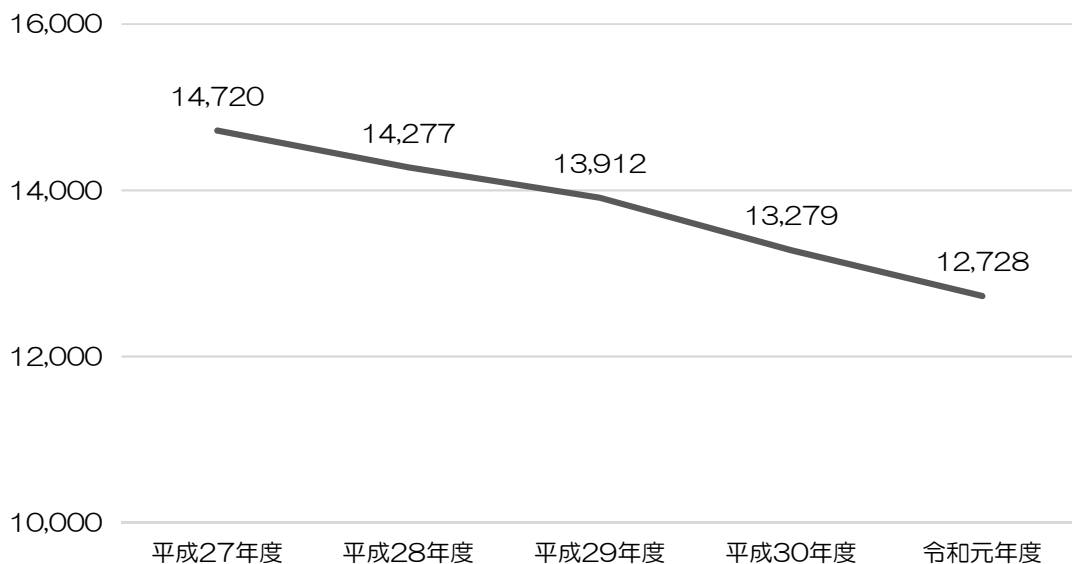


※ 休園中の施設（平成27～30年度：6園，元年度：5園）を除く。

※ 幼稚園型認定こども園を除く。

■ 幼稚園（市立・私立）の園児数（各年度5月1日時点の数値）

（人）

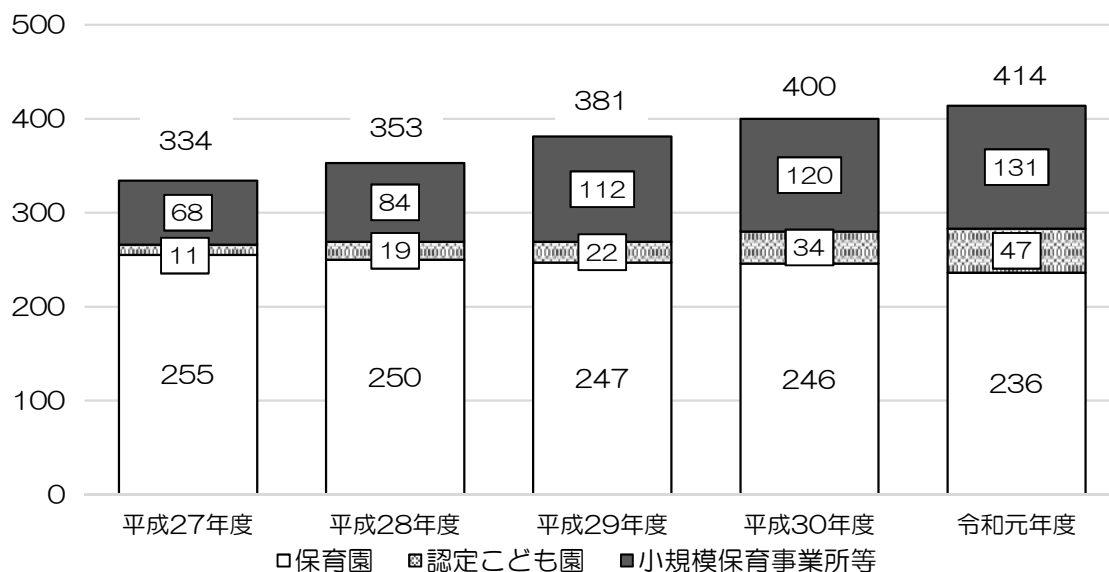


※ 休園中の施設（平成27～30年度：6園，元年度：5園）を除く。

※ 幼稚園型認定こども園を除く。

■ 保育園、認定こども園及び小規模保育事業所等の施設数(各年度4月1日時点)

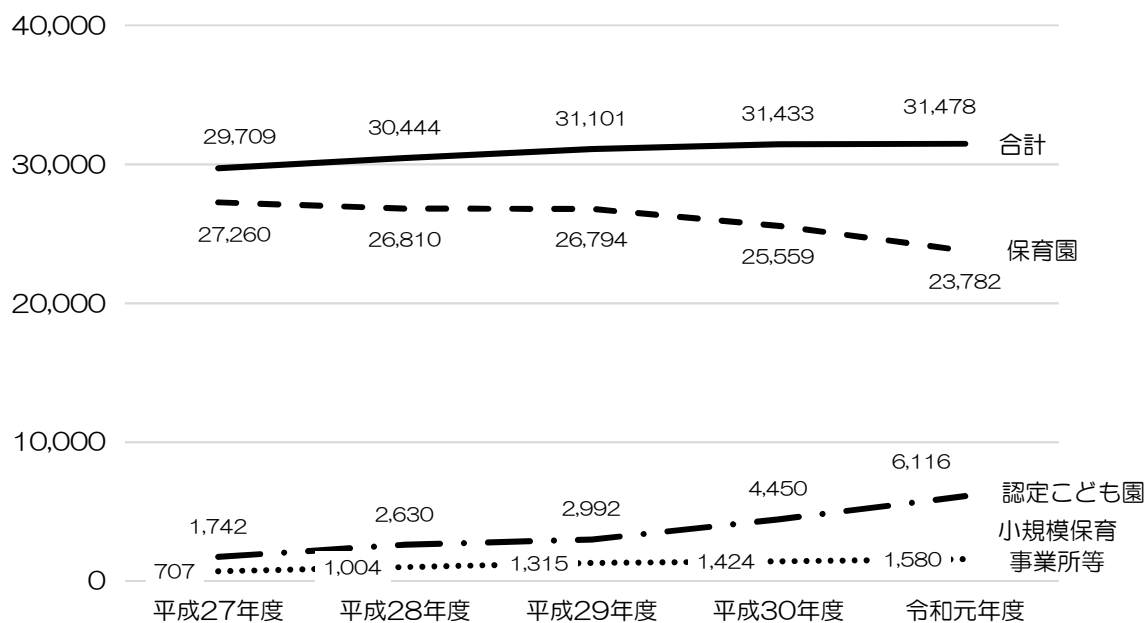
(箇所)



※ 休所中の施設（細野保育所）を除く。

■ 保育園、認定こども園及び小規模保育事業所等の利用児童数(各年度4月1日時点)

(人)



■ 小学校就学前児童数，待機児童数等（各年度4月1日時点）

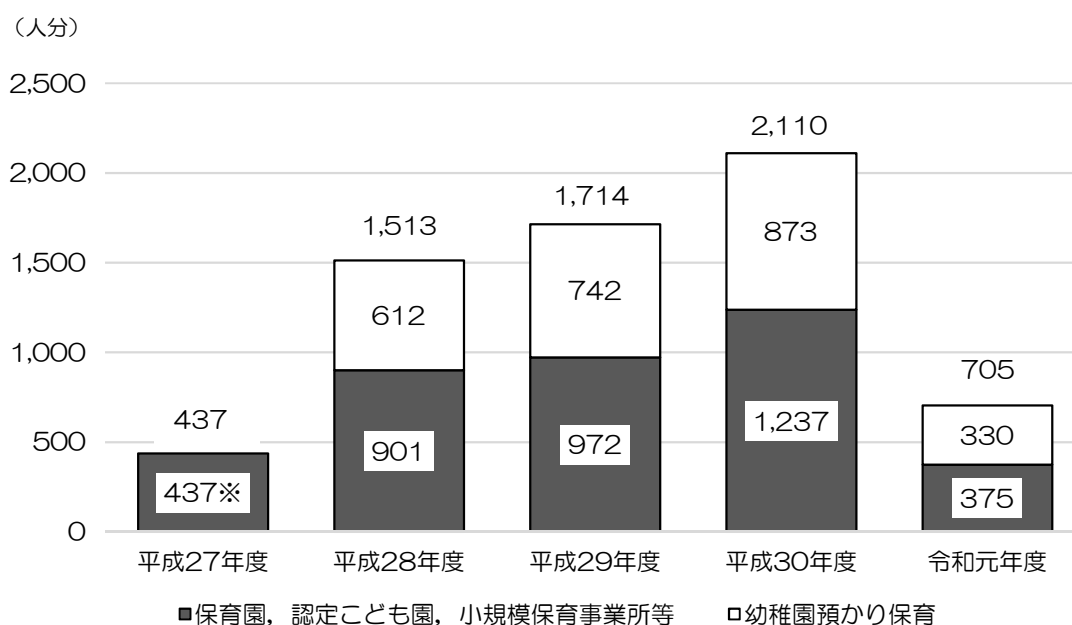
【単位：人】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学校就学前児童数（①）	65,779	65,503	64,748	63,762	62,197
保育所等利用申込児童数※1	30,346	31,027	31,647	31,939	32,048
保育所等利用児童数（②）※1	29,709	30,444	31,101	31,433	31,478
小学校就学前児童数に占める割合（②／①）※2	45.2%	46.5%	48.0%	49.3%	50.6%
待機児童数	0	0	0	0	0

※1 保育園，認定こども園，小規模保育事業所等

※2 2019（平成31）年4月1日時点の人口100万人を超える大都市・11市平均（40.5%）の約1.25倍で，11市中第1位（20政令市中第3位）

■ 第1期京都市子ども・子育て支援事業計画期間中における保育提供体制の確保実績（各年度4月1日時点）



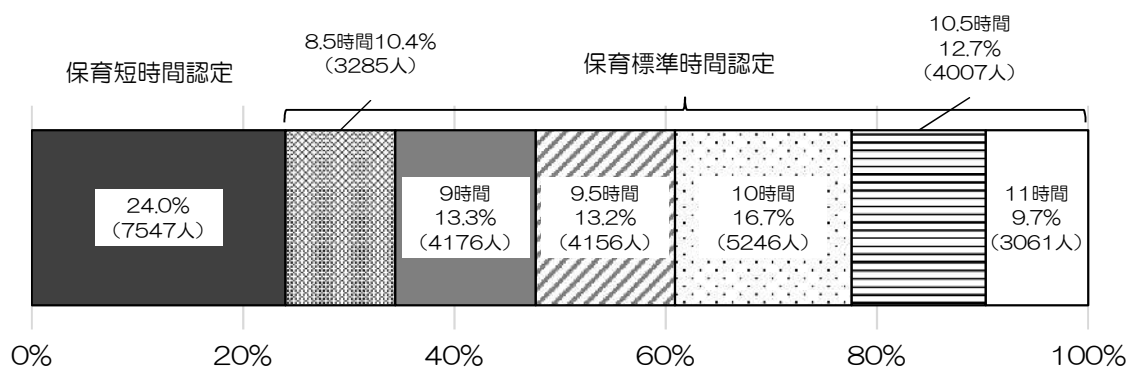
※ 2015（平成27）年度の整備量（1,112人分）のうち，2014（平成26）年5月補正予算までの整備量（675人分）を除いた数で，事業計画における確保実績

■ 幼稚園（市立・私立）預かり保育（各年度3月31日時点）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
施設数（園）	112	112	110	110
実施園数（園）	109	110	109	110
利用者数（人）	2,016	2,123	2,227	2,557
利用量（人日）	418,308	458,635	490,290	524,643

※ 京都市私立幼稚園協会加盟の認定こども園を含む

■ 保育利用時間（2019（平成31）年4月1日時点）



※ 保育園，認定こども園，小規模保育事業所等

※ 合計31,478人（100%）

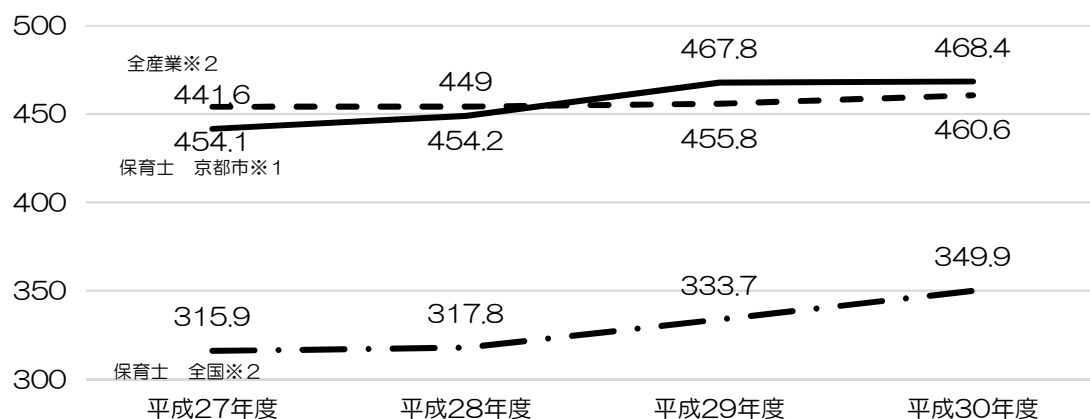
■ 保育士配置基準（歳児別保育士配置基準における京都市と国との比較）

歳児	京都市条例基準	国基準
0 歳児	3 : 1	3 : 1
1 歳児	<u>5 : 1</u> ※	6 : 1
2 歳児	6 : 1	6 : 1
3 歳児	<u>15 : 1</u>	20 : 1
4 歳児	<u>20 : 1</u>	30 : 1
5 歳児	<u>25 : 1</u>	30 : 1

※ 保育園，認定こども園（保育所型・幼保連携型）

※ 1歳7箇月未満の児童については，4：1の保育士配置（2016（平成28）年度から1歳6箇月未満を対象に実施していたところ，2020（令和2）年度から対象児童を拡充）

■ 保育士の平均年収



資料：※1 基本給，賞与，処遇改善等加算

(各年度3月末時点，公益社団法人京都市保育園連盟資料)

※2 厚生労働省 賃金構造基本統計調査（毎年度6月分賃金等）

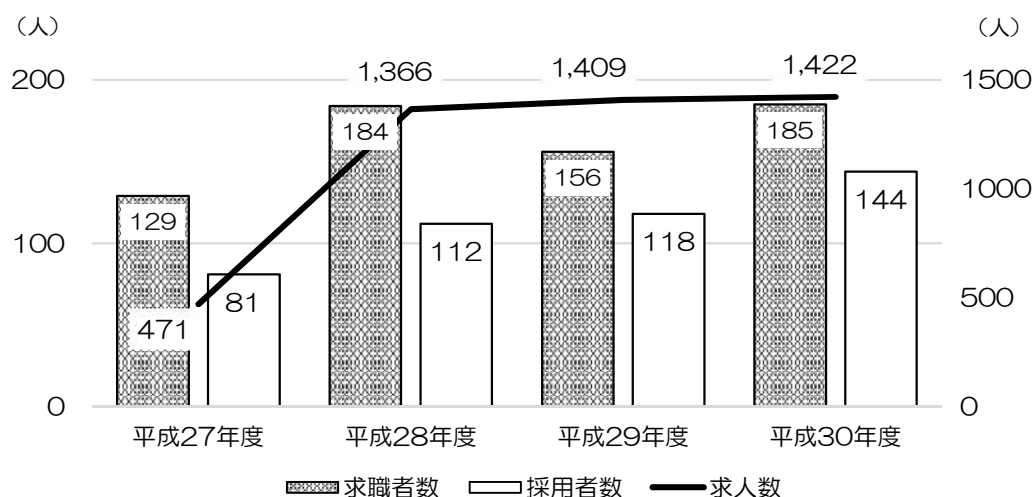
■ 保育士等有効求人倍率＜全国・東京都・近畿＞

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全国	1.81	2.11	2.61	2.88
東京都	4.82	4.86	5.39	5.54
京都府	1.29	1.64	2.53	2.76
滋賀県	2.15	2.13	2.65	2.75
大阪府	1.74	2.18	3.57	4.10
兵庫県	1.32	1.69	2.08	2.58
奈良県	1.45	1.43	1.69	2.51
和歌山県	2.20	1.87	2.01	2.00

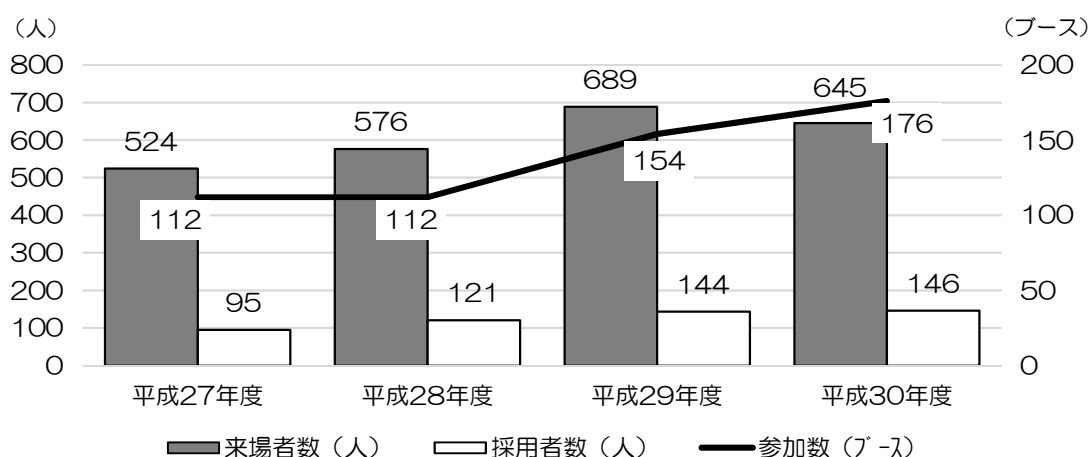
※ 厚生労働省 職業安定業務統計（年度平均）

【保育士等人材確保事業に係る事業実績】

■ 京都市保育人材サポートセンターにおける求人数等（各年度3月31日時点）



■ 就職フェアへの参加数等（各年度3月31日時点）



※ブース数は市内園のみ

■ 保育士宿舎借り上げ支援事業への申請数等（各年度3月31日時点）

	平成29年度	平成30年度
申請数（園）	5	21
対象保育士（人）	7	34

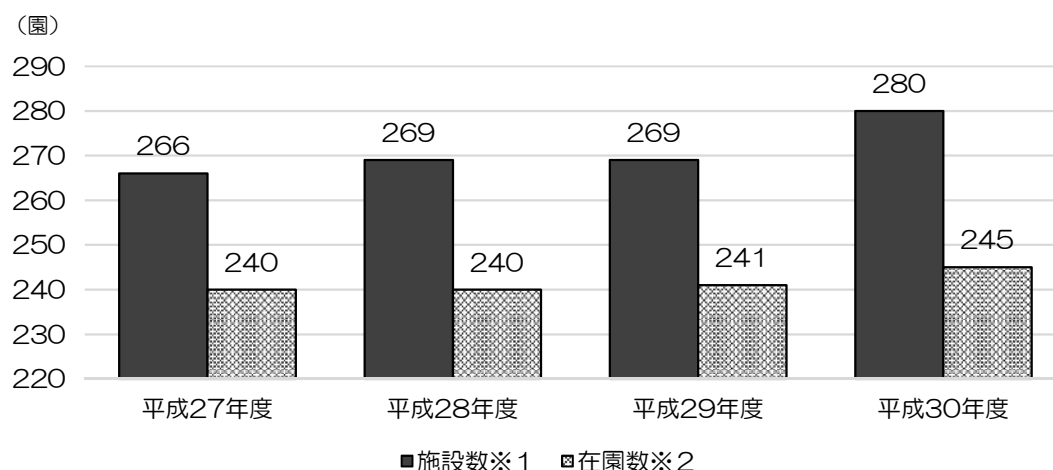
※2017（平成29）年度から実施

■ 保育士等キャリアアップ研修（パッケージ型研修）の開催回数（各年度3月31日時点）

	平成29年度	平成30年度
開催回数（回）	26	89
受講者数（人）	487	1,877

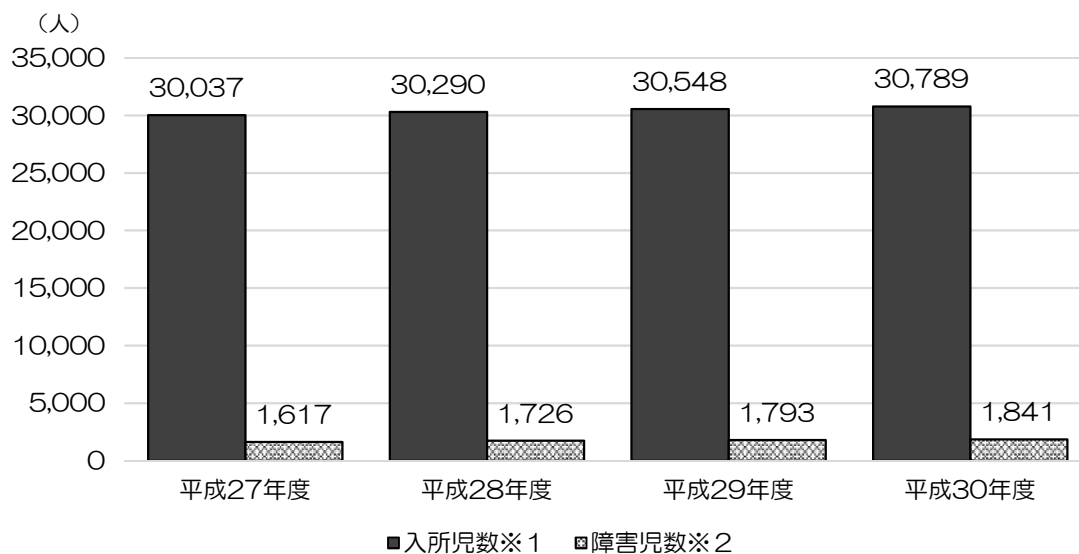
※2017（平成29）年度から実施

■ 障害児保育（保育園，認定こども園（保育所型・幼保連携型））の利用状況等
＜施設数及び在園数＞



※1 各年度3月1日時点 ※2 各年度3月末時点の延べ数

＜入所児数及び障害児数＞



※1 各年度3月1日時点 ※2 各年度3月末時点の延べ数

■ 医療的ケア児保育支援事業の実施施設数及び利用児童数

	平成30年度※1	令和元年度※2
実施施設（園）	7	12
利用児童数（人）	11	20

※1 2019（平成31）年3月31日時点の延べ数

※2 2020（令和2）年1月1日時点の延べ数

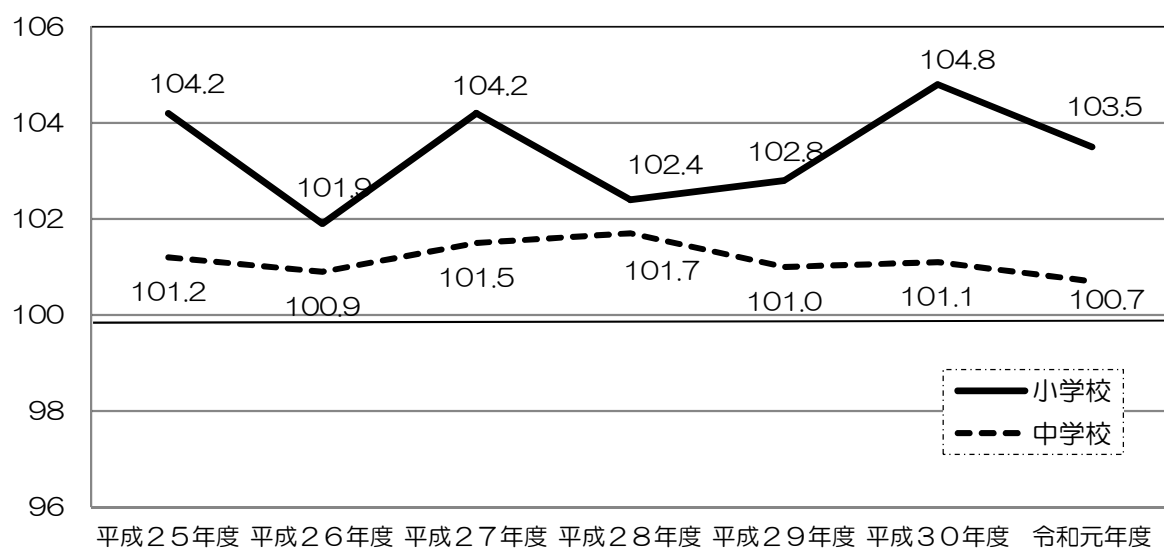
■ 病児・病後児保育の箇所数及び利用者数等（各年度3月31日時点）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
病後児	箇所数（園）※1	3	2	1	1
	定員（人）※1	9	6	3	3
	利用者数（人）※2	215	158	112	62
病児	箇所数（園）※1	0	0	0	1
	定員（人）※1	0	0	0	3
	利用者数（人）※2	0	0	0	8
病児 ・病後児	箇所数（園）※1	5	5	5	5
	定員（人）※1	24	27	30	33
	利用者数（人）※2	3,369	3,925	3,943	3,469

※1 各年度の累計数 ※2 各年度の延べ数

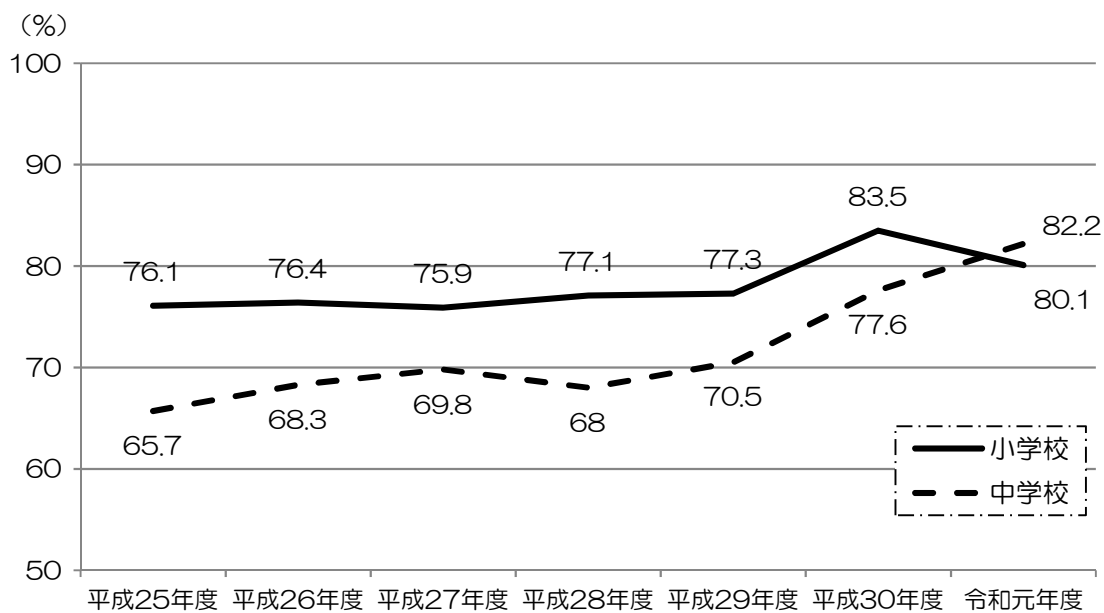
④ 子どもの教育環境

■ 全国学力・学習状況調査における本市の結果（小6・中3） （全教科合計の全国平均を100としたときの京都市の値の推移）



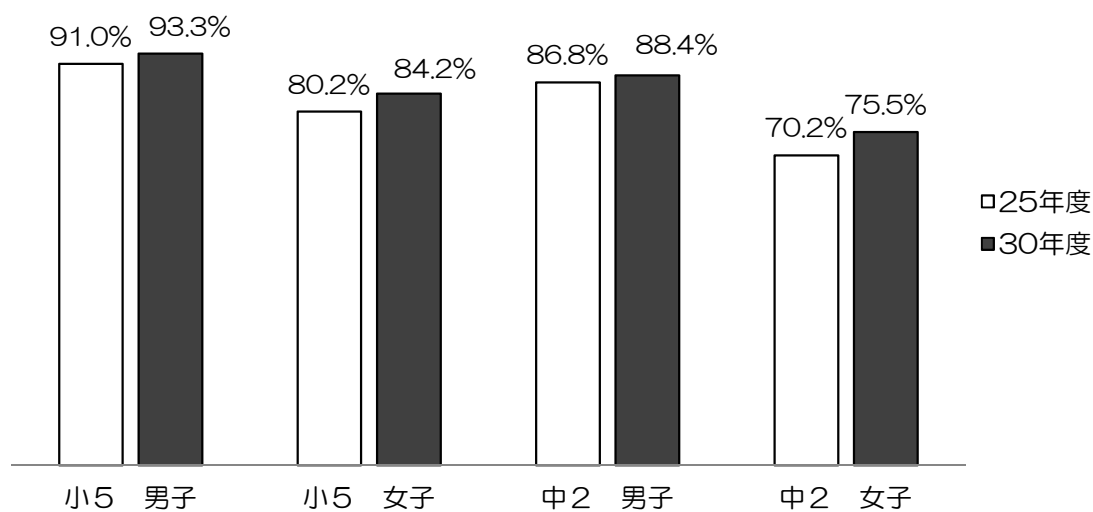
資料：全国学力・学習状況調査

■ 自分には良いところがあると思う児童生徒の割合



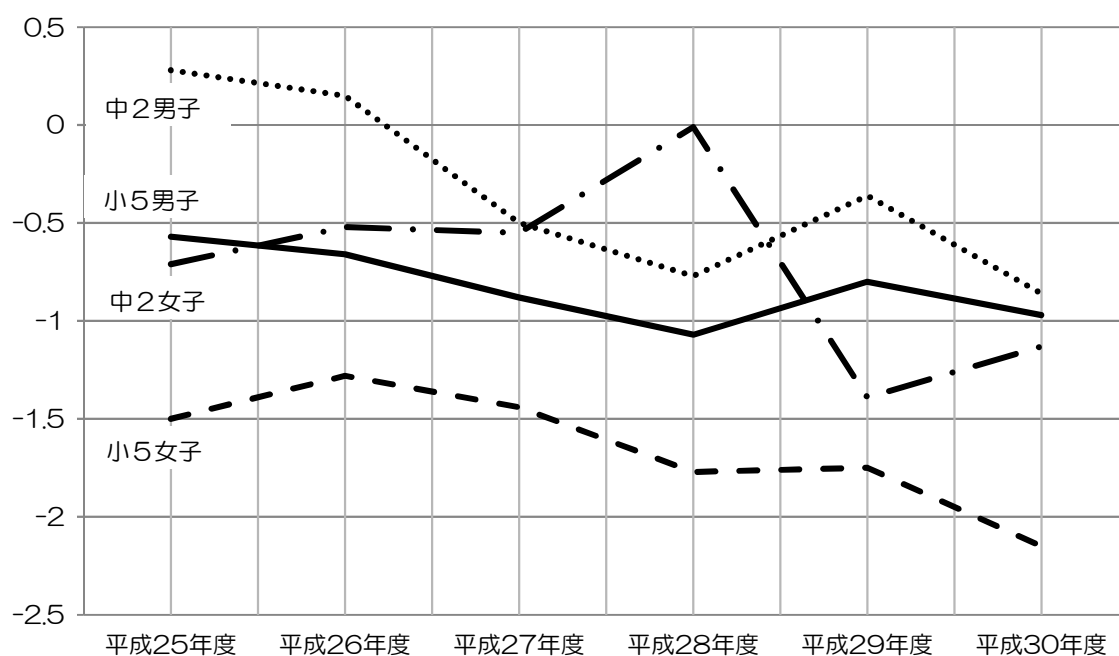
資料：全国学力・学習状況調査

■ 「運動をすることが好き」と答えた子どもの割合



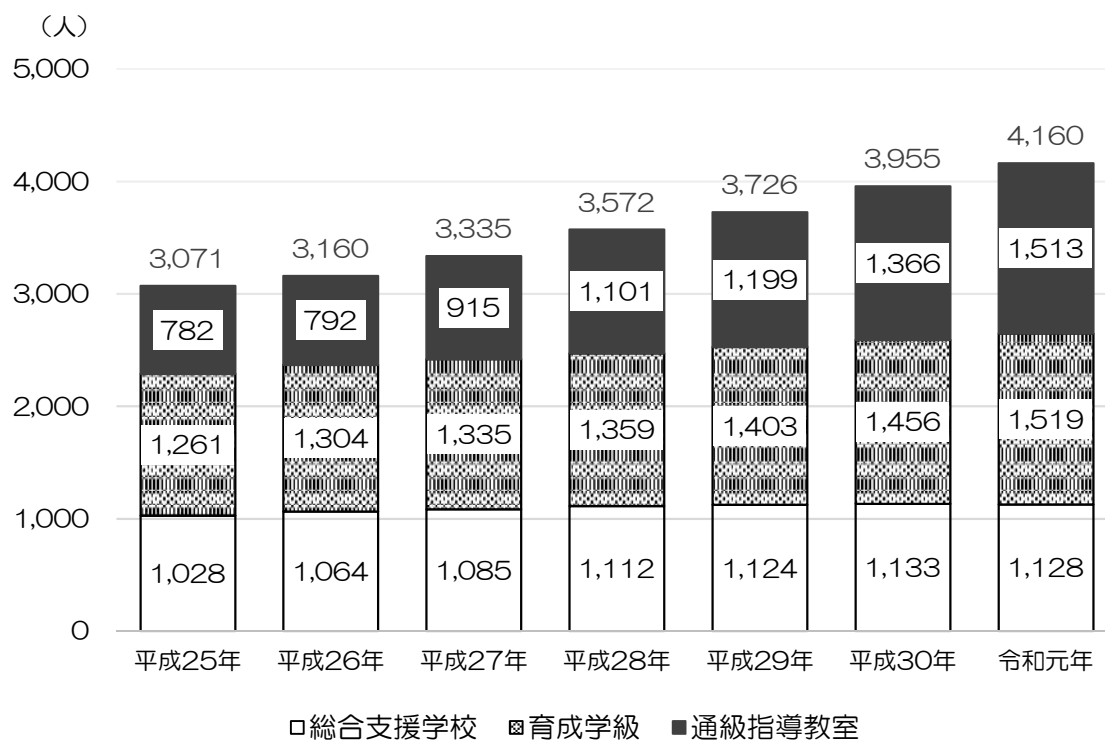
資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査

■ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点平均値の推移（京都市と全国との差）

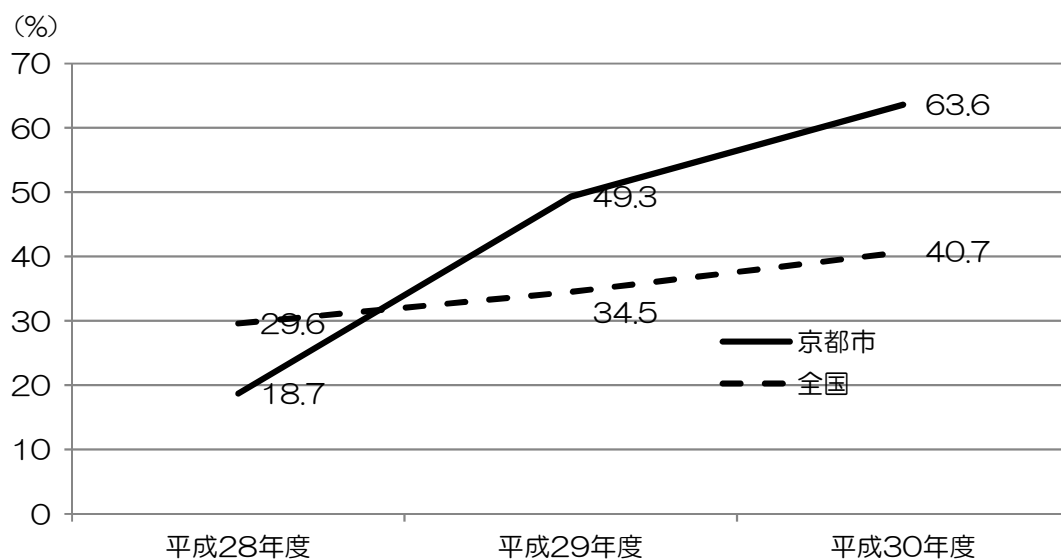


資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査

■ 総合支援学校・育成学級・通級指導教室の児童生徒数（各年度5月1日時点）

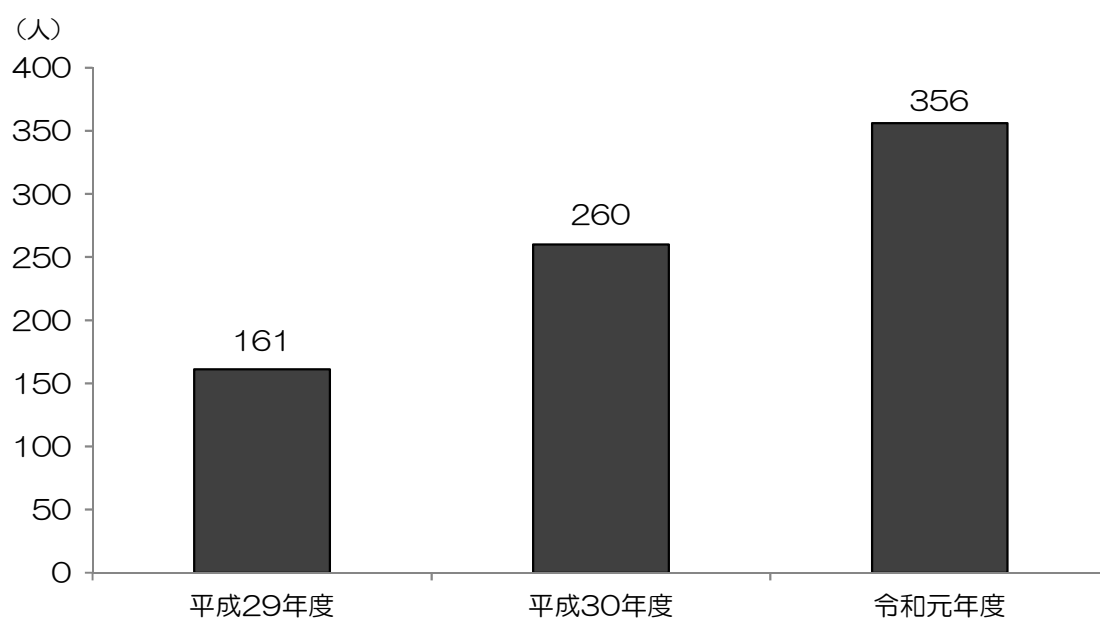


■ 普通教室の無線 LAN 整備率（全校種）



資料：文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

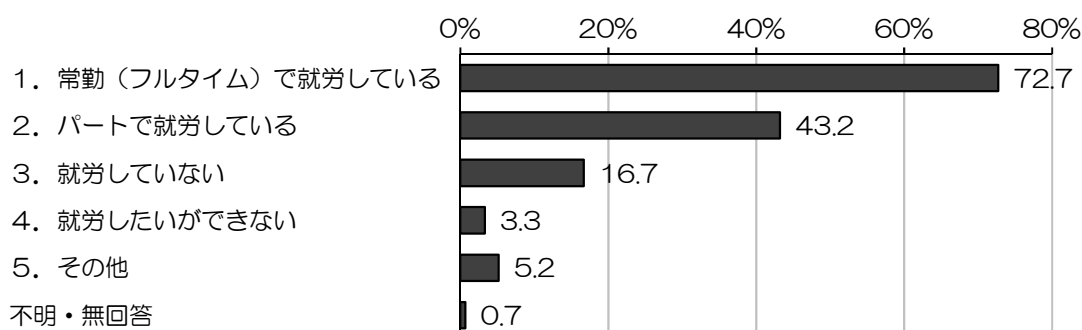
■ 「学校における働き方改革」推進のための人員配置数（※）の推移



※ 教務主任補佐，専科教員，校務支援員，部活動指導員の合計値

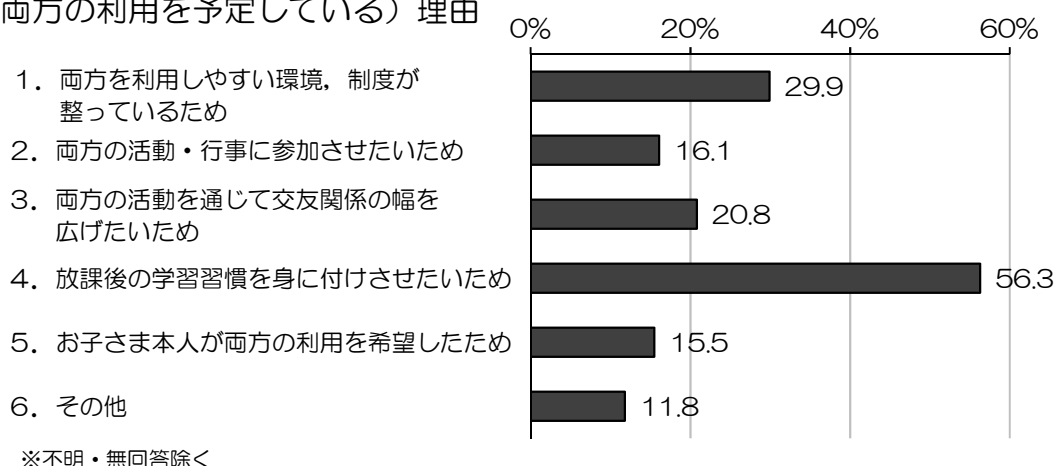
⑤ 放課後の子どもたちの居場所づくり 重点3 柱2

■ 保護者の方の就労状況



資料：京都市「放課後の過ごし方に関する調査」（2018（平成30）年）

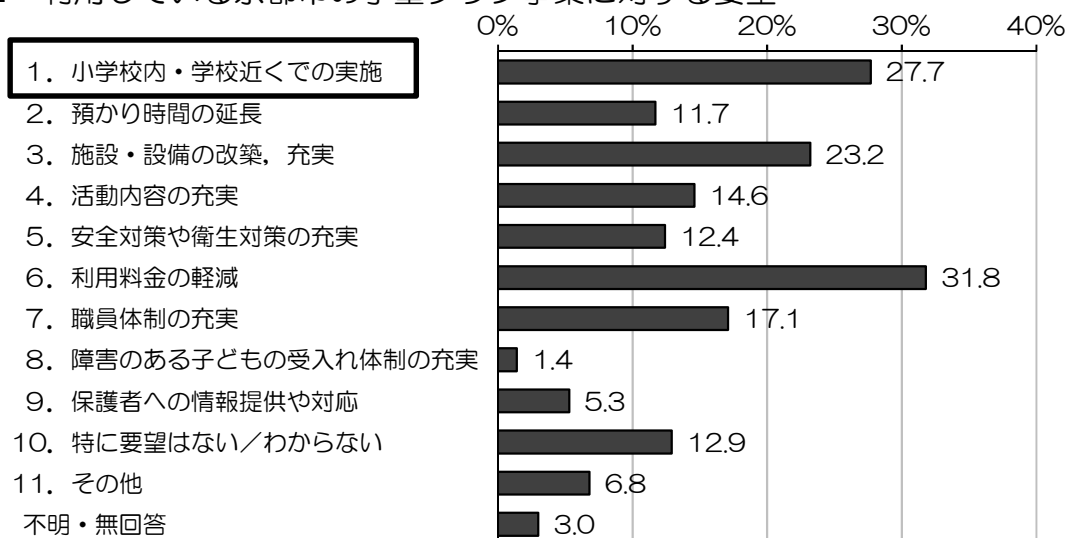
■ 京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室を両方利用している（または両方の利用を予定している）理由



※不明・無回答除く

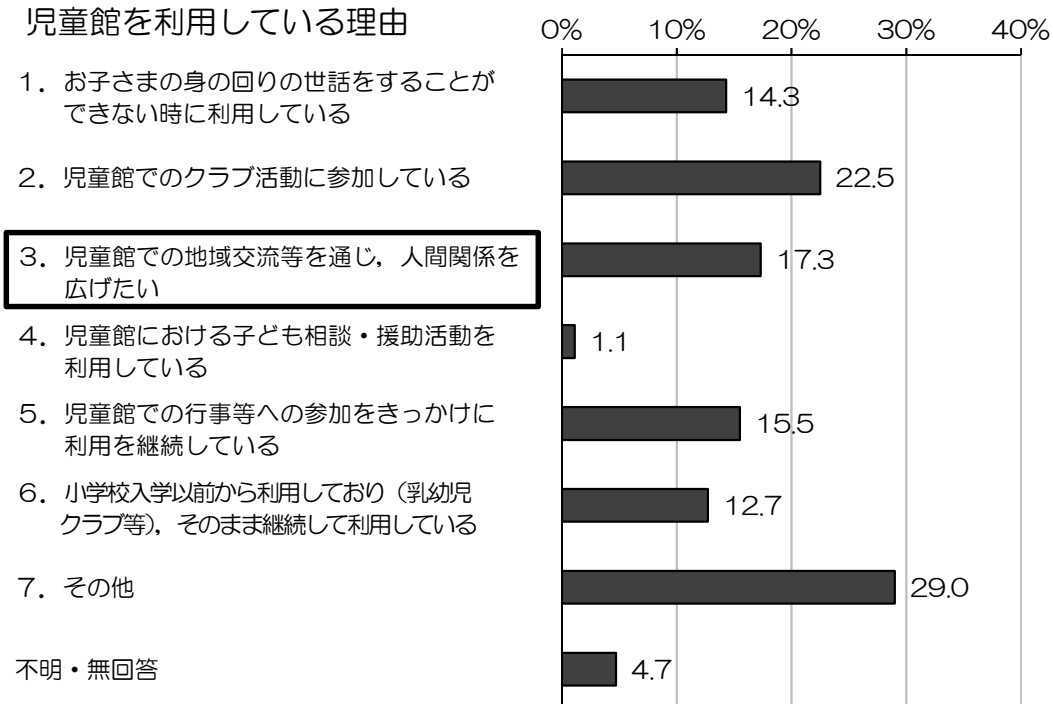
資料：京都市「放課後の過ごし方に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 利用している京都市の学童クラブ事業に対する要望



資料：京都市「放課後の過ごし方に関する調査」（2018（平成30）年）

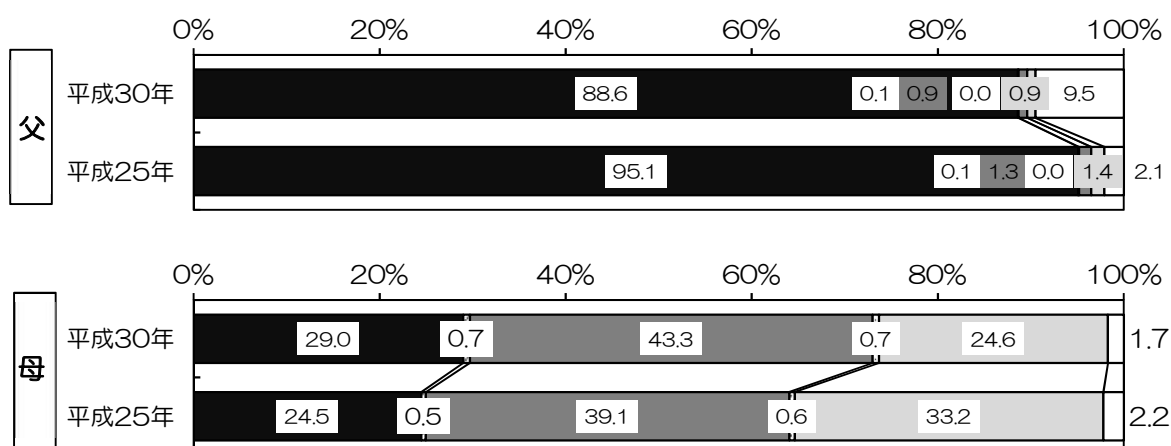
■ 児童館を利用している理由



資料：京都市「放課後の過ごし方に関する調査」（2018（平成30）年）

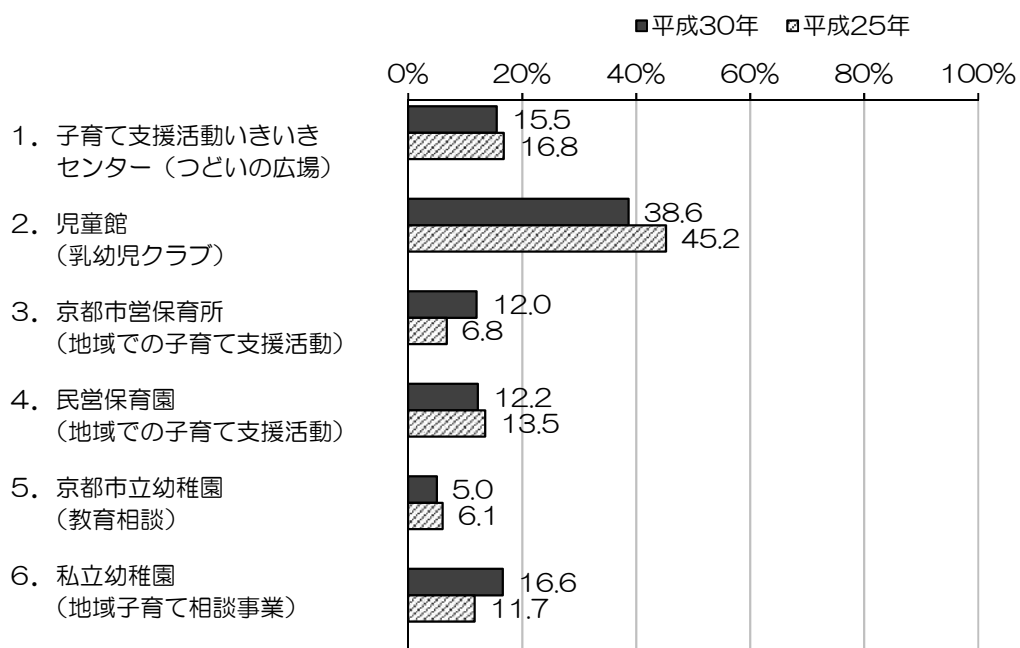
■ 父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）

- 1. 就労している（フルタイム）
- ▣ 2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中
- 3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
- ▣ 4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中
- 5. 現在就労していない
- 不明・無回答



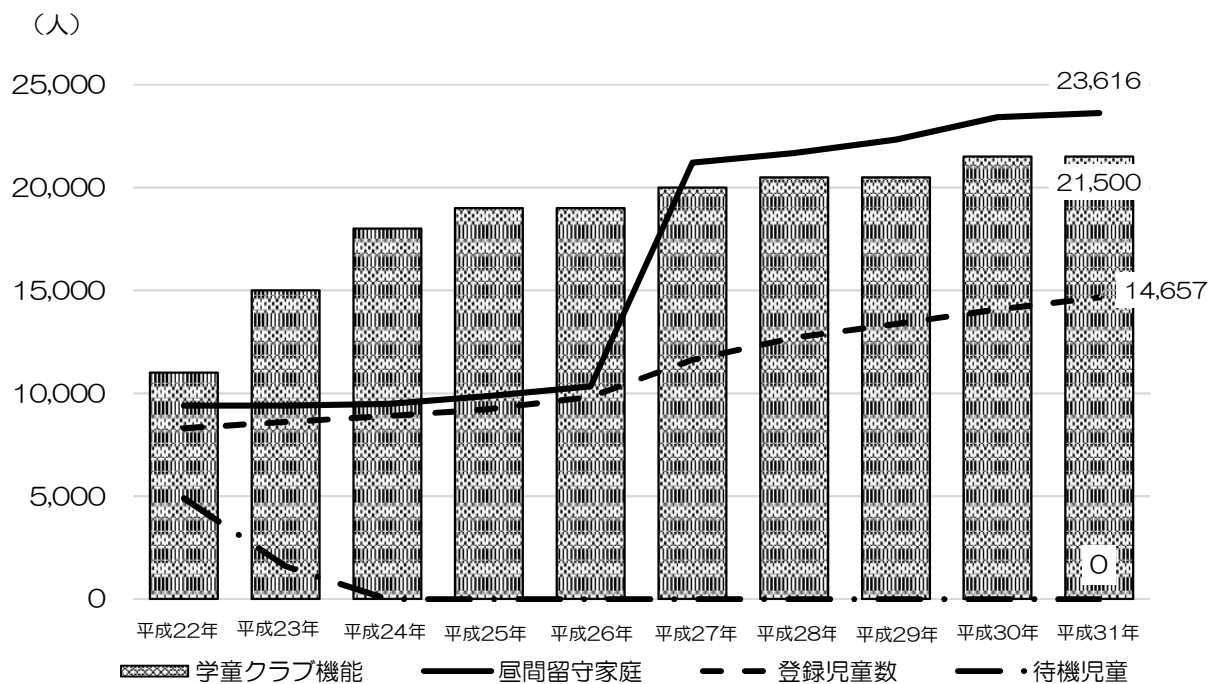
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 利用している地域の子育て支援事業

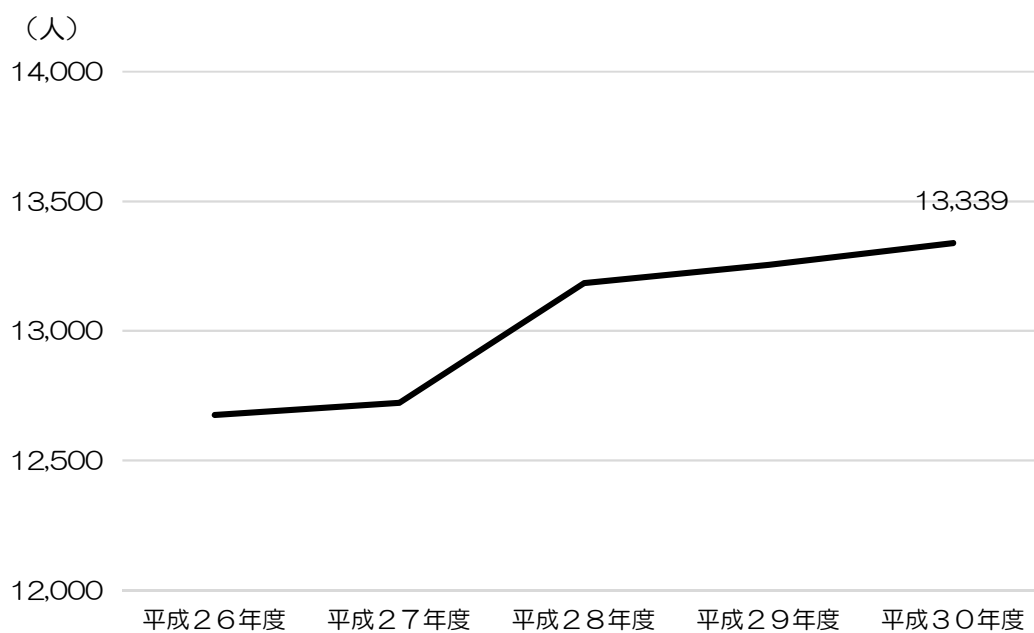


資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

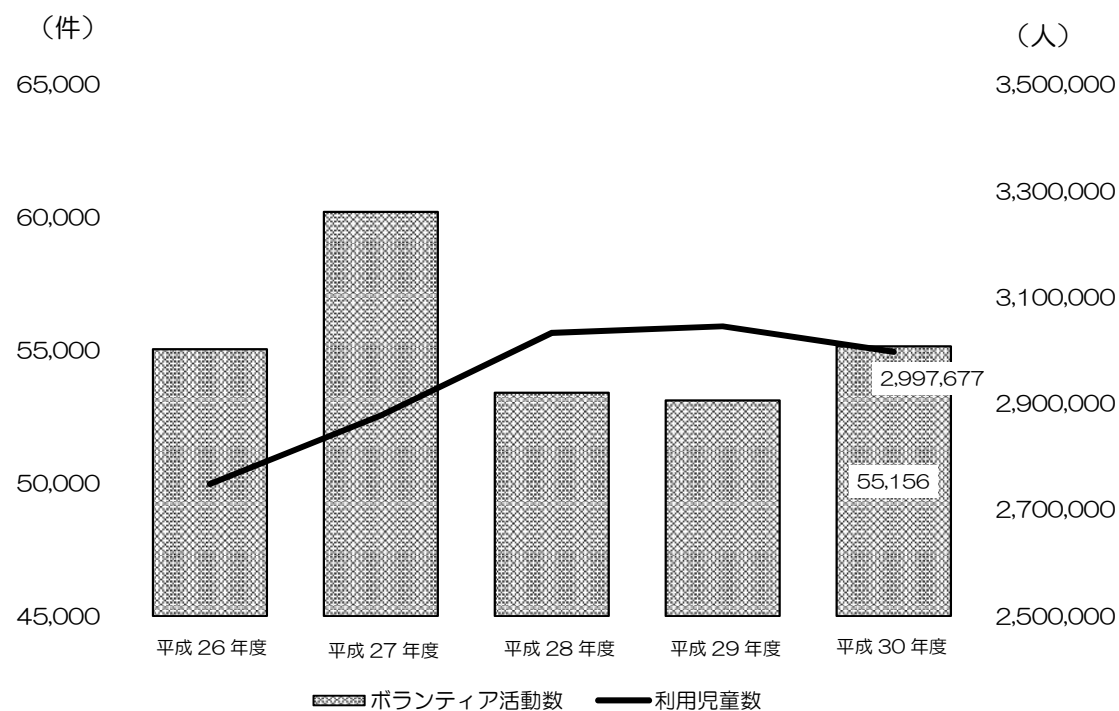
■ 学童クラブ事業の実施箇所数及び登録児童数等の推移



■ 放課後まなび教室登録児童数の推移

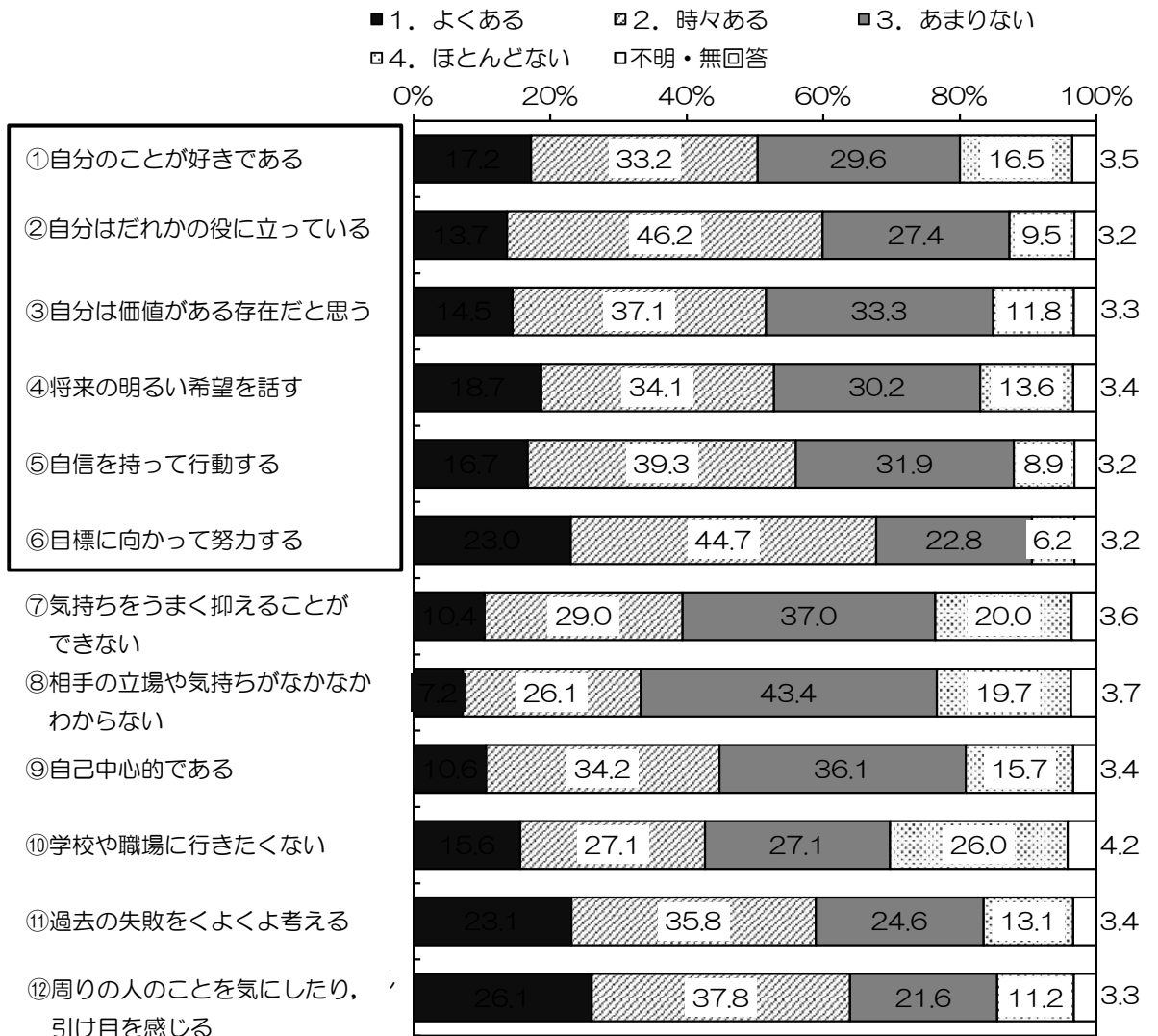


■ 児童館事業に係るボランティア活動実績



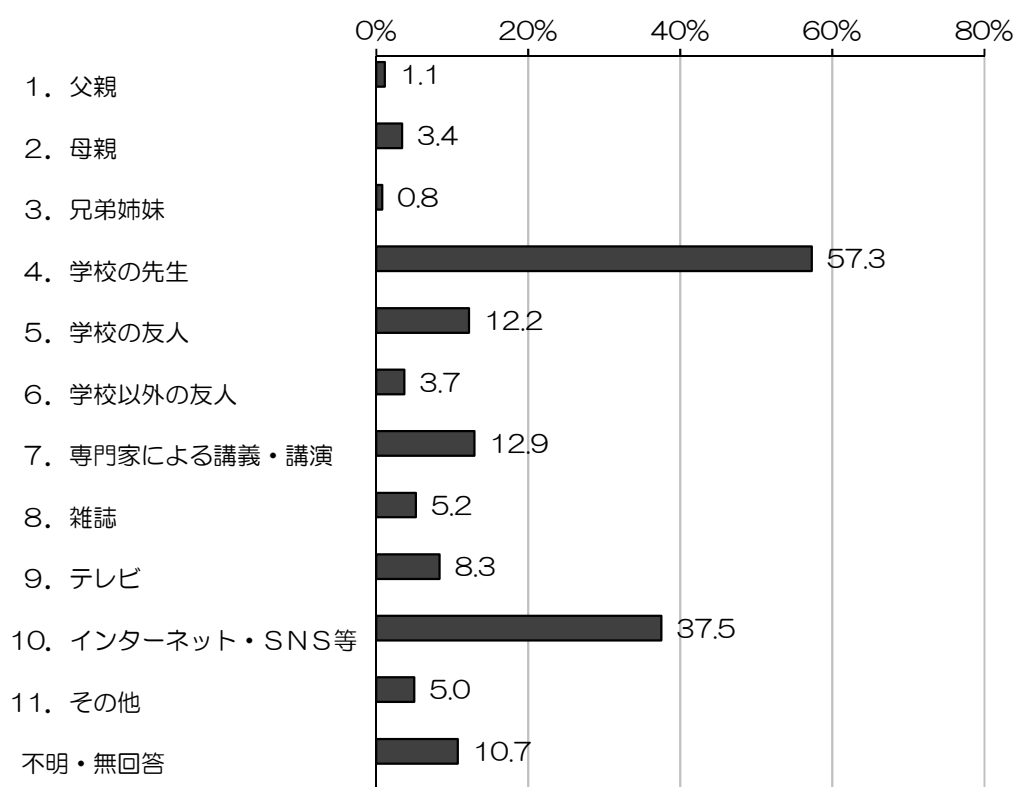
⑥ 思春期保健 重点2 柱3

■ 普段次のような気持ちや状況になることがあるか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

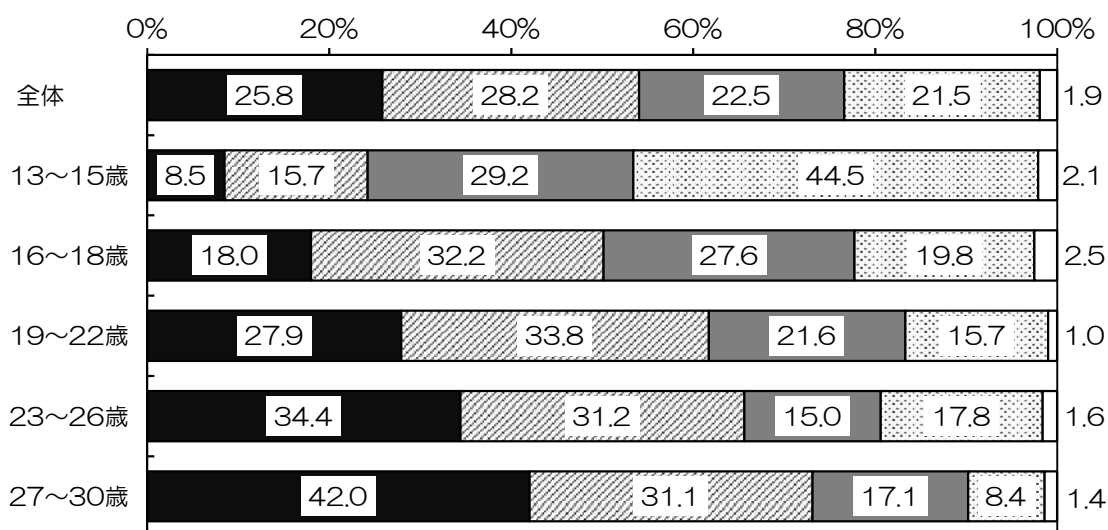
■ 性感染症や避妊方法について、何から情報を得ているか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

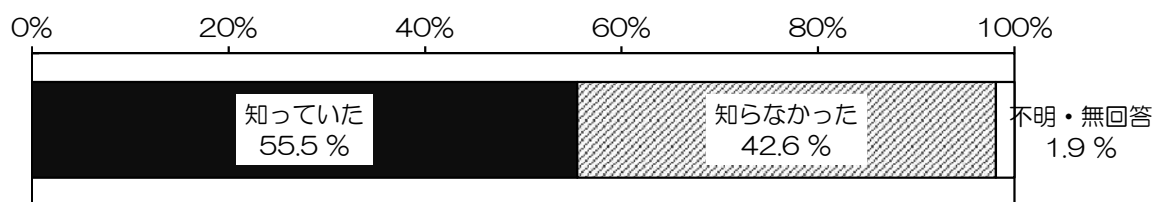
■ 将来の自分のライフデザインを考えているか（年齢別）

■ 1. 考えている □ 2. 少し考えている ■ 3. あまり考えていない
□ 4. まったく考えていない □ 不明・無回答



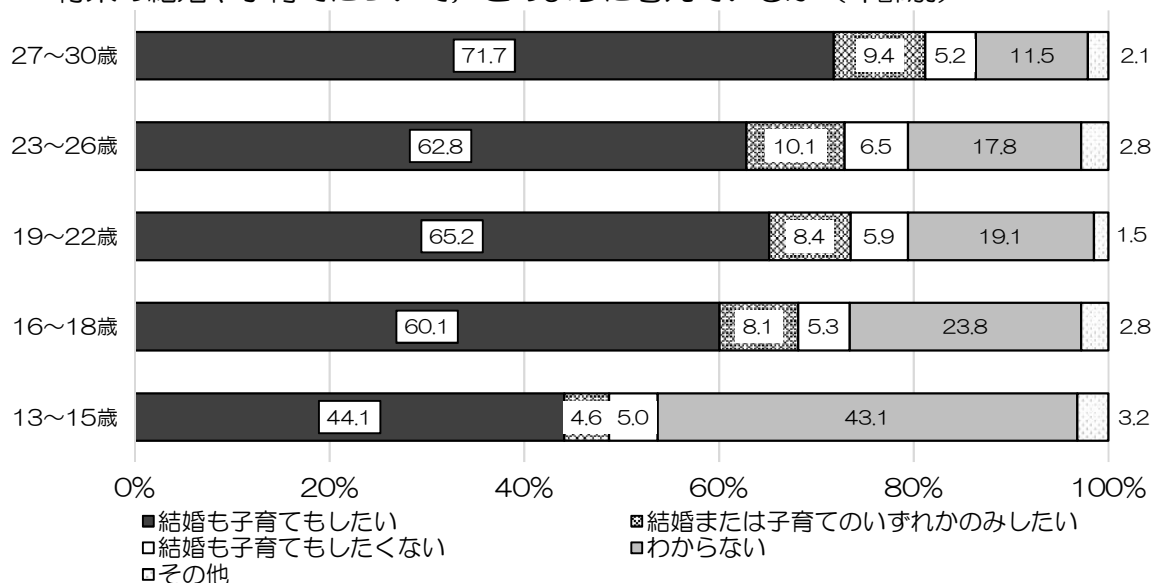
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 男性・女性ともに医学的に妊娠しやすい時期があると言われていることを知っているか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

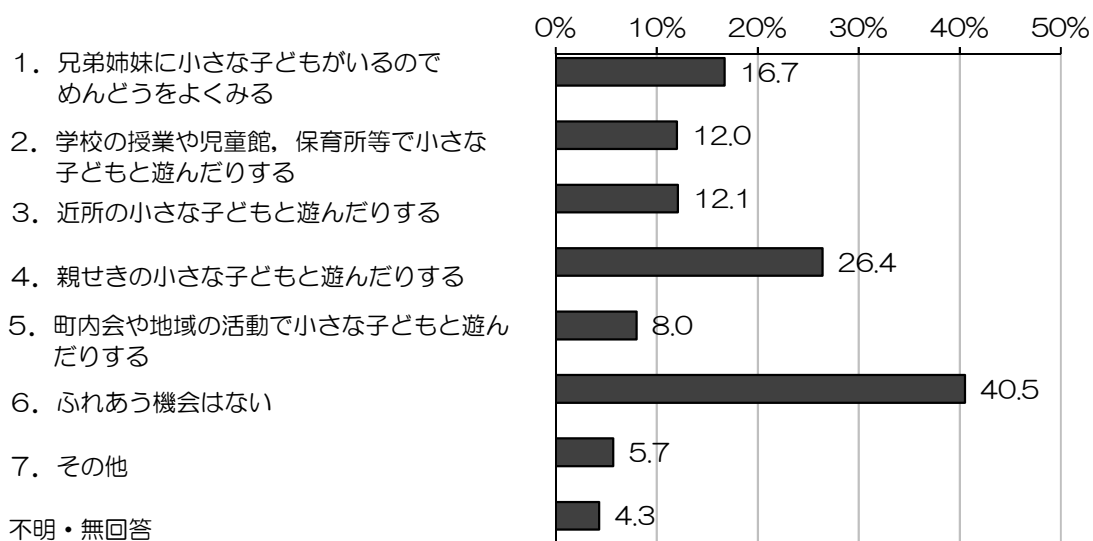
■ 将来の結婚や子育てについて、どのように考えているか（年齢別）



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

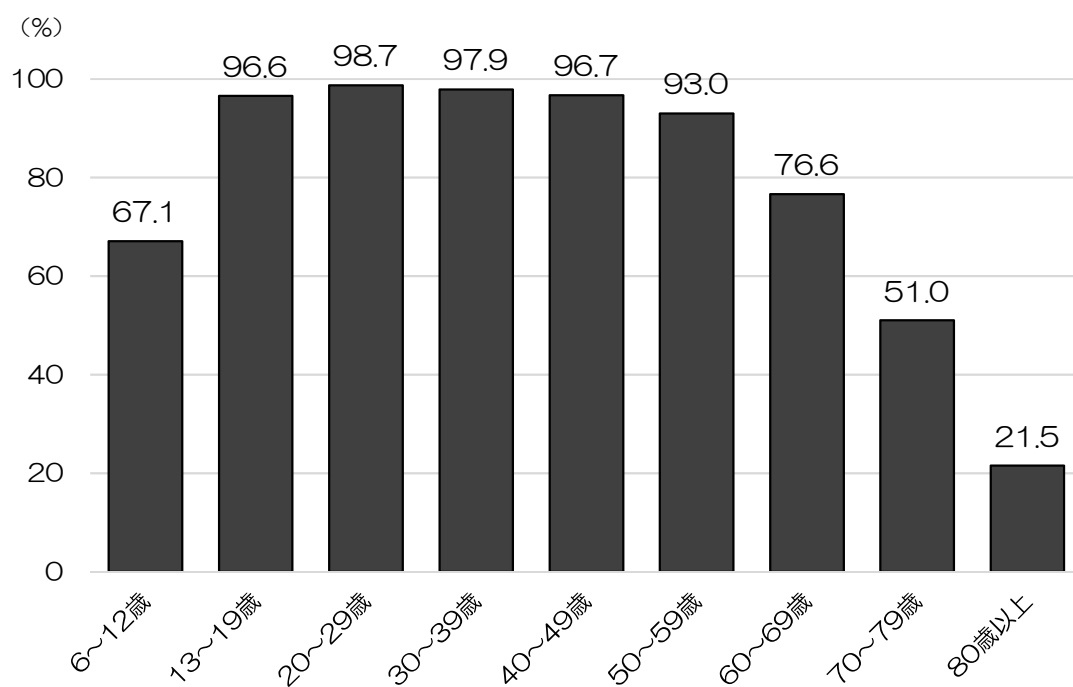
■ 小さな子どもとふれあう機会があるか

※19歳以上の方は18歳までにふれあう機会があったか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

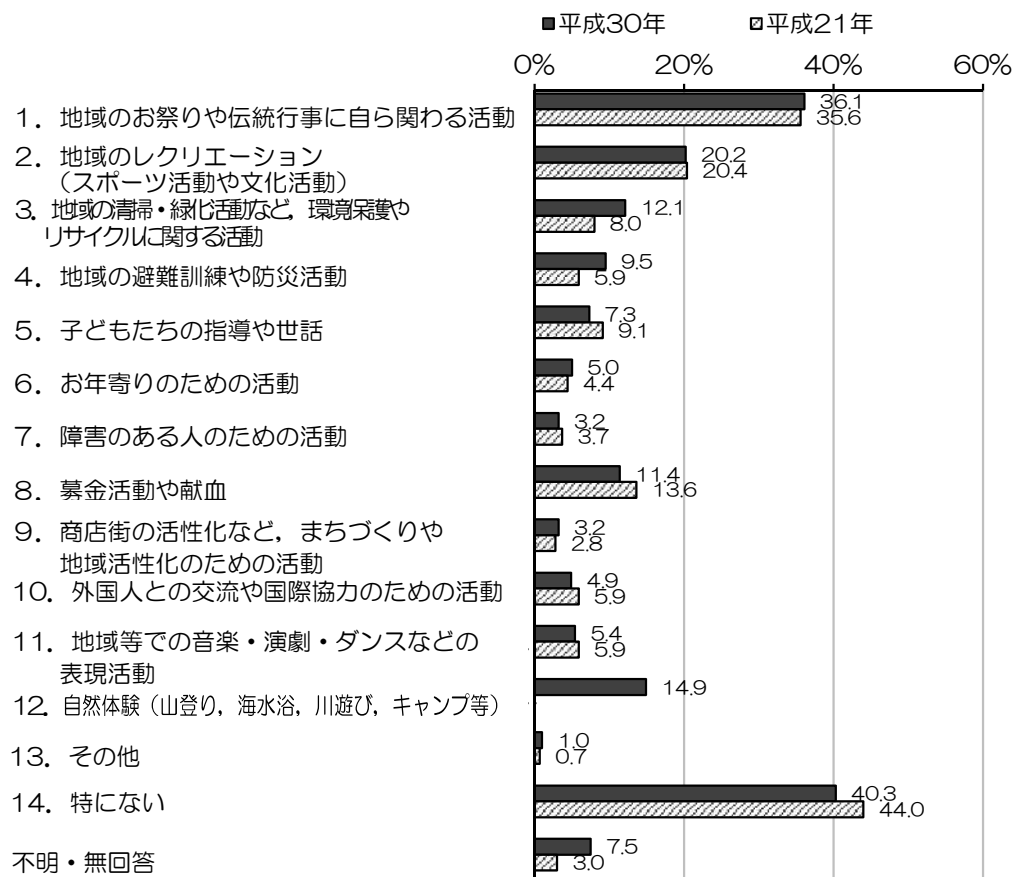
■ 年齢階層別インターネット利用状況の推移



資料：総務省「通信利用動向調査」（2018（平成30）年）

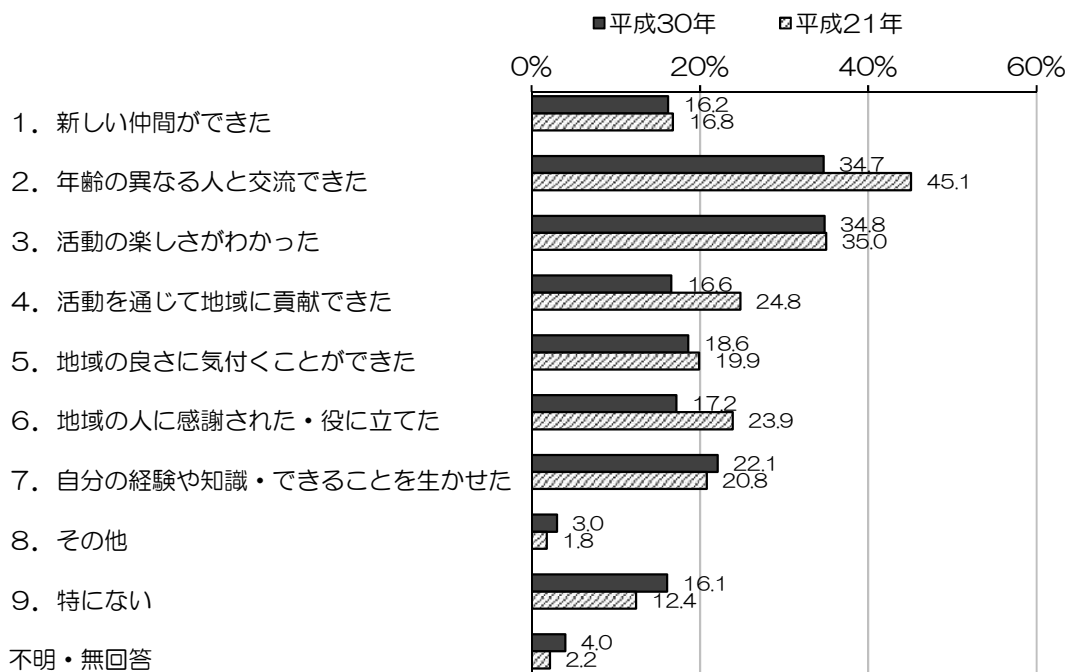
⑦ 若者の自己成長と社会参加 重点2 柱1～3 重点3 柱3

■ この3年間で、学校や仕事以外で、1～13の活動に参加したことがあるか



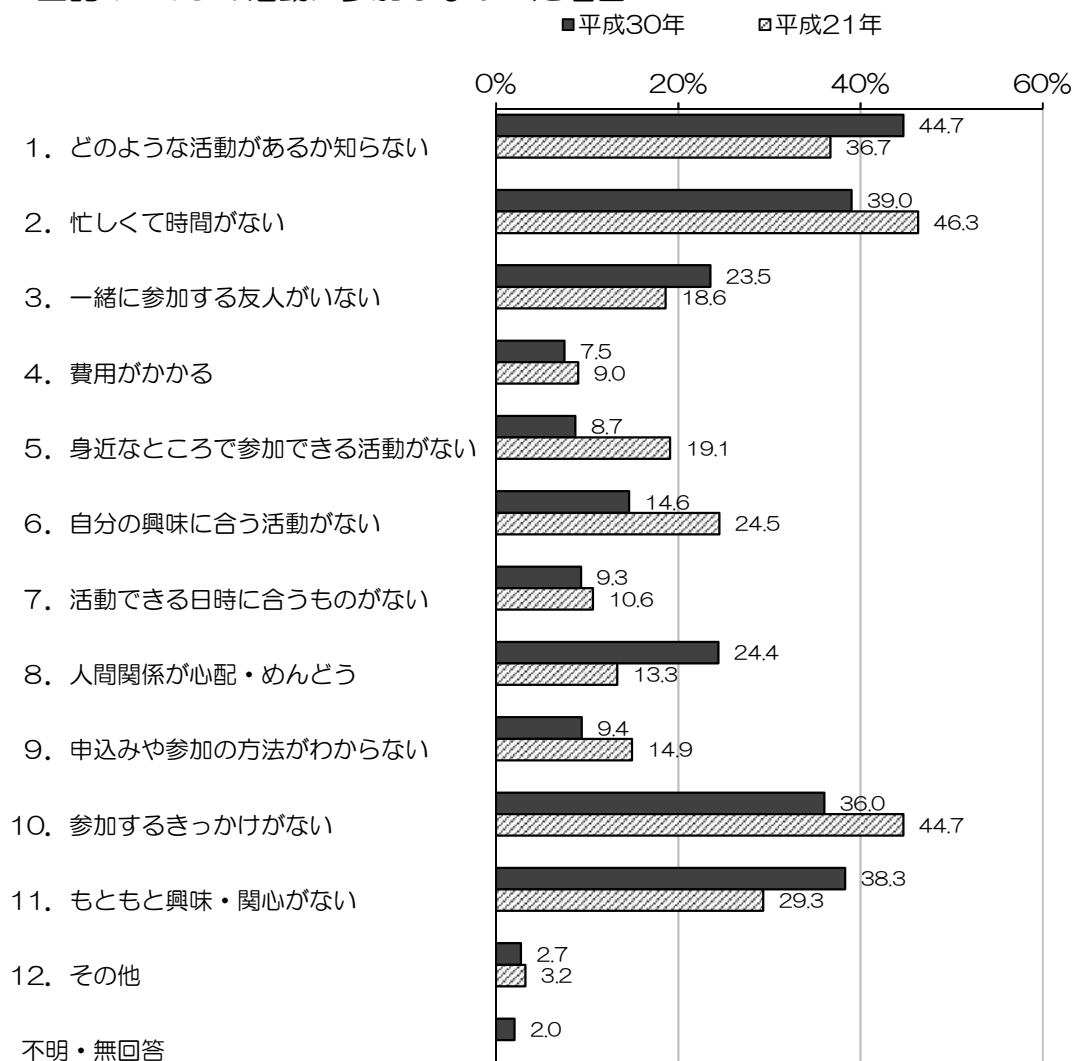
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」(2018(平成30)年)

■ 上記1～13の活動に参加して良かったと思うこと



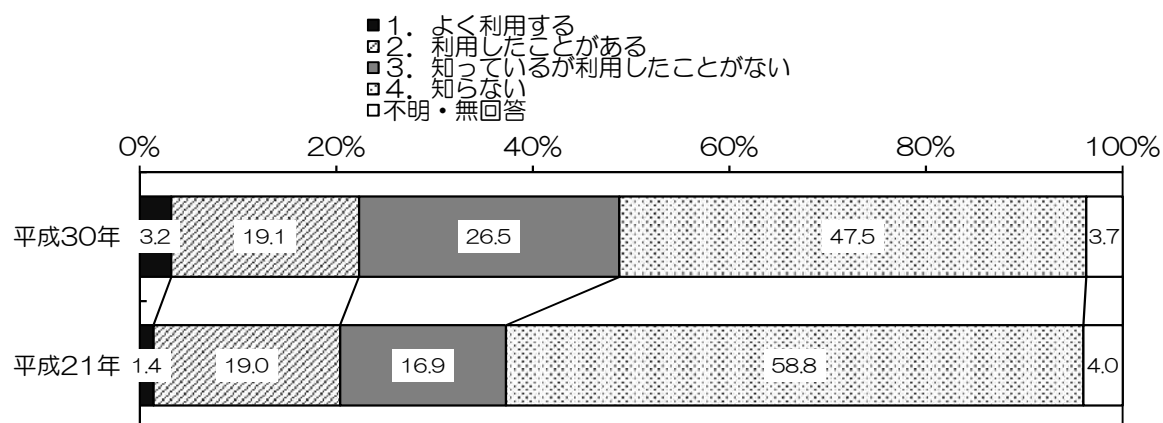
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」(2018(平成30)年)

■ 上記1～13の活動に参加しなかった理由



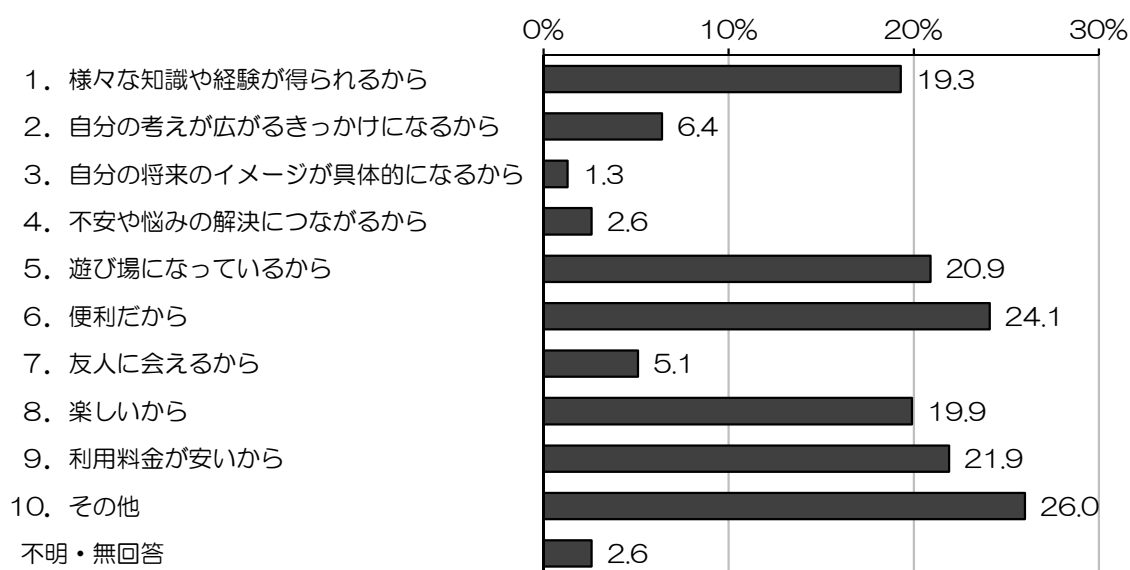
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 京都市青少年活動センターを利用したことがあるか



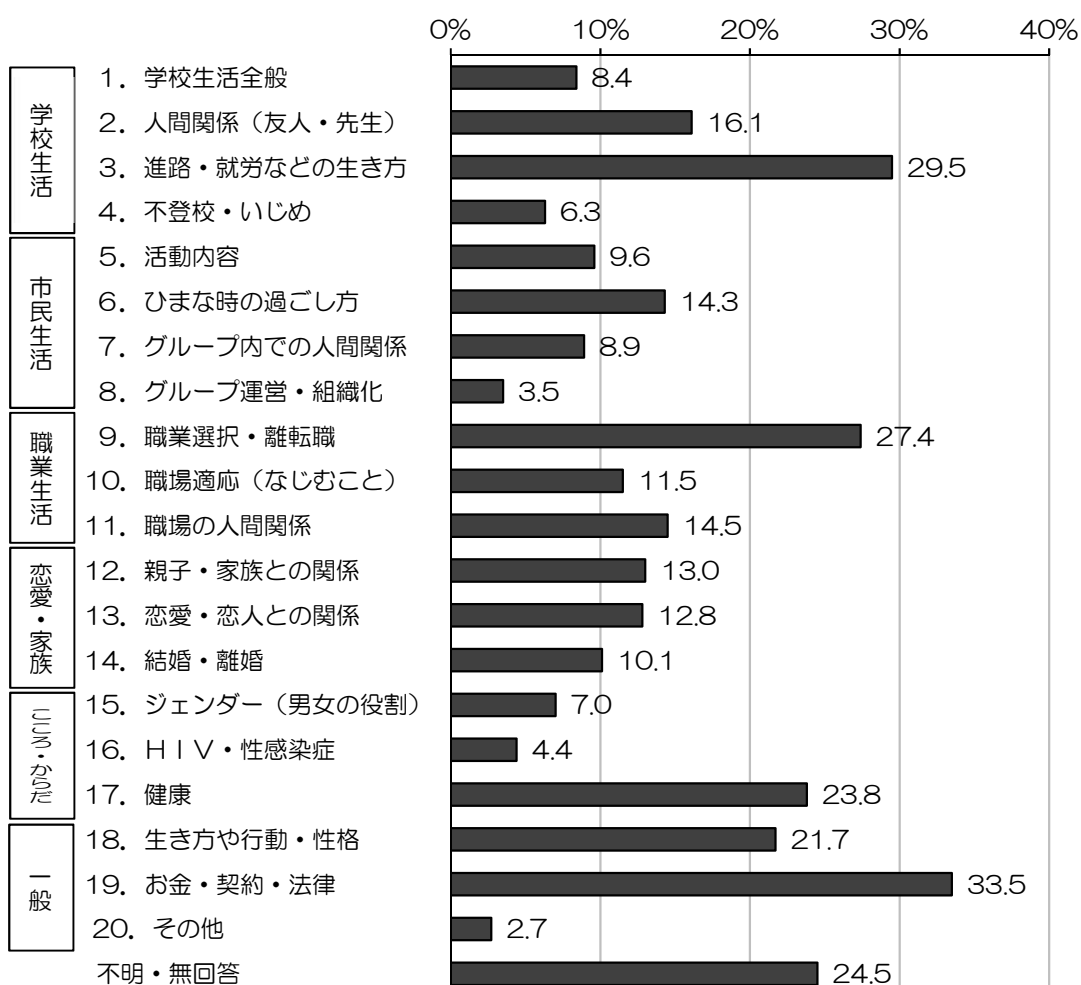
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 青少年活動センターを利用している理由



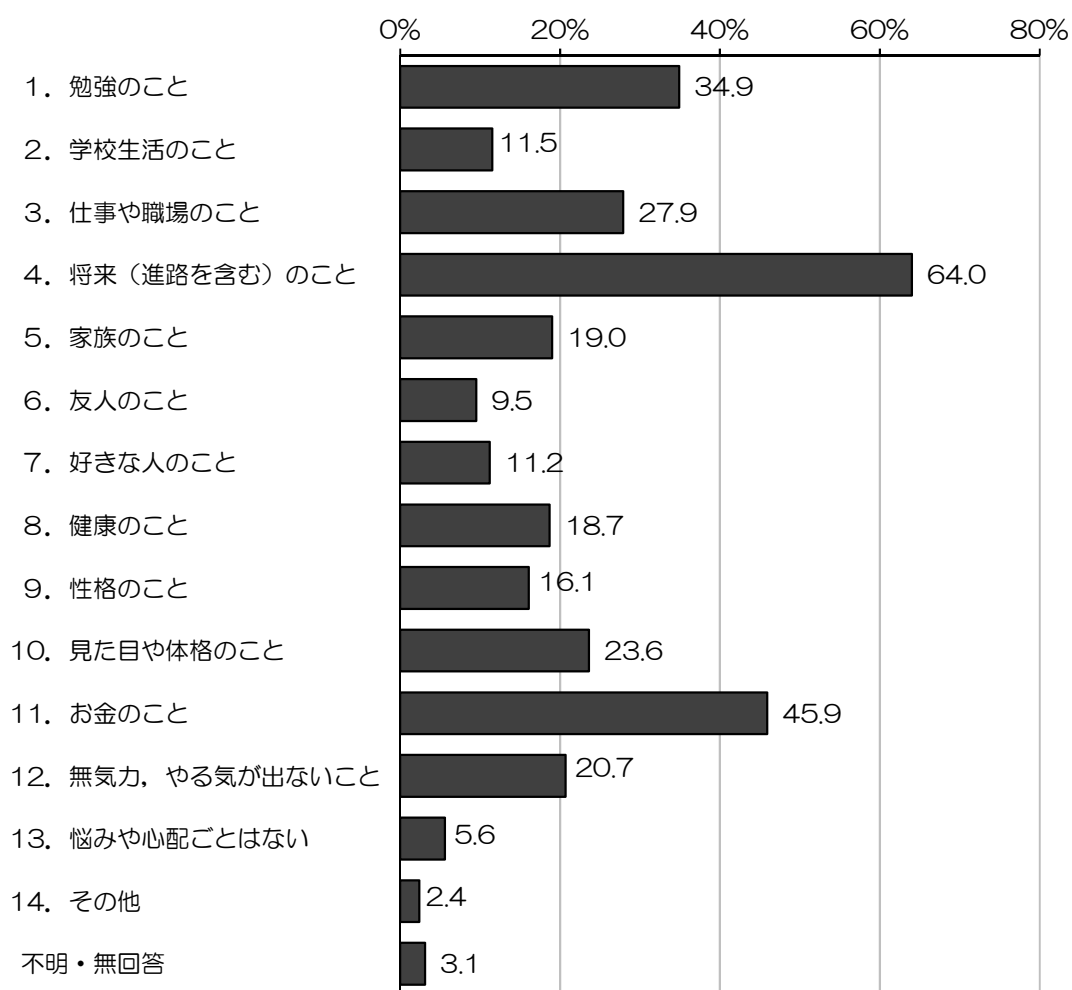
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 京都市青少年活動センターでは青少年から相談を受ける取組を実施しているが、どのような相談をしてみたいか



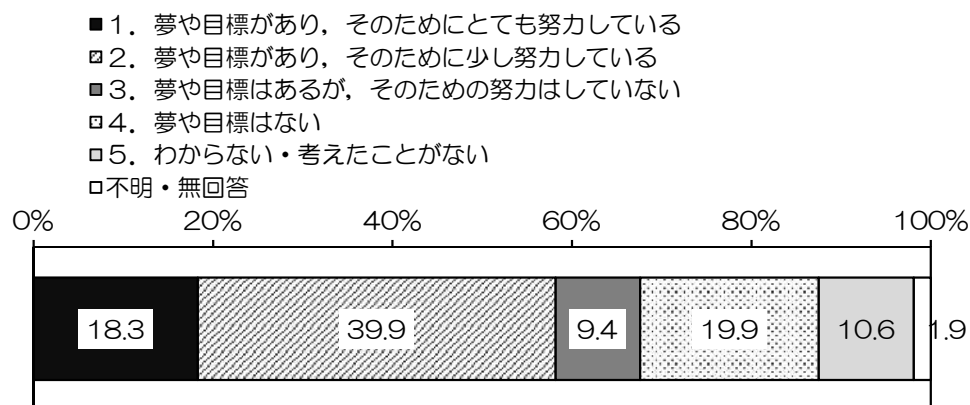
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ どのような悩みや心配ごとがあるか



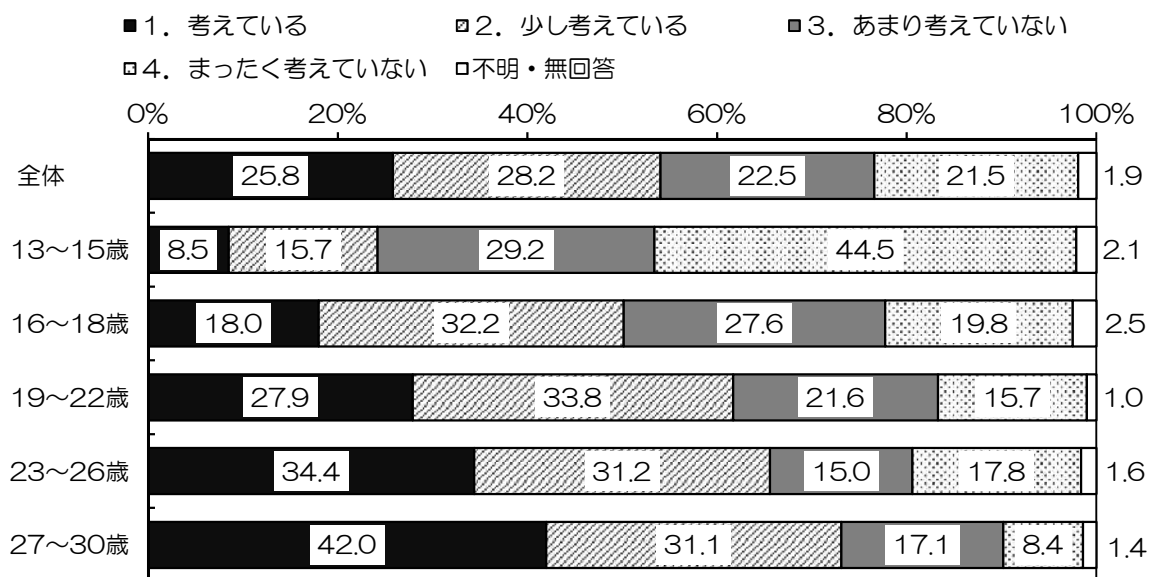
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 将来の夢や目標を持っているか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

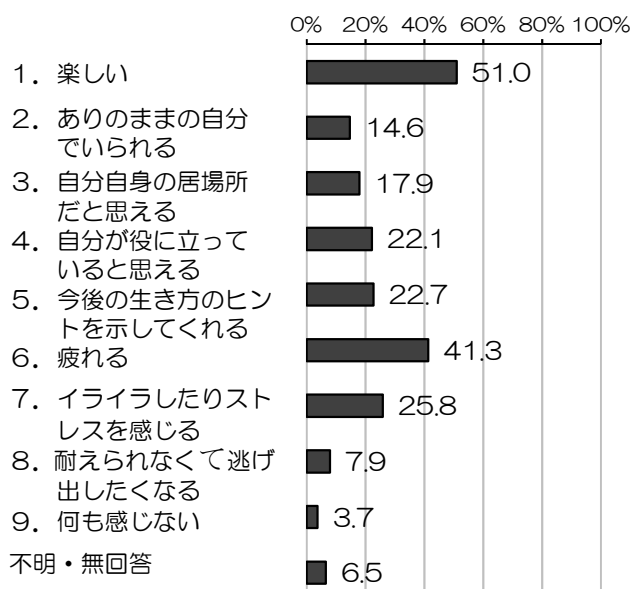
■ 将来の自分のライフデザインを考えているか（年齢別）



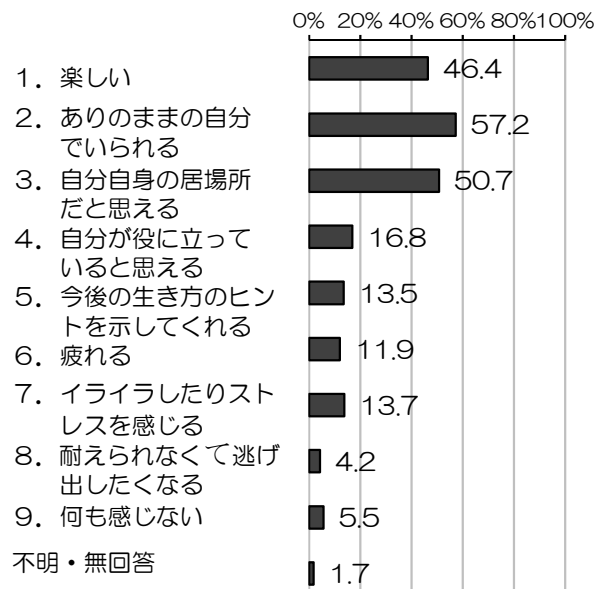
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ ①～⑥の場所や場面で普段感じる気持ち

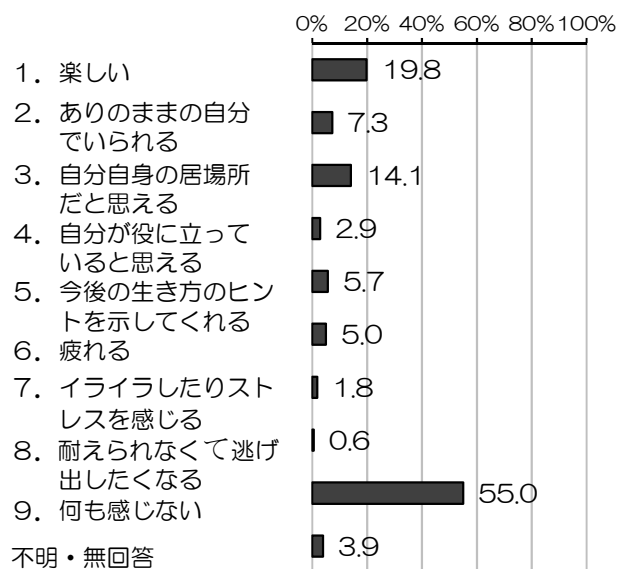
① 現在の学校・職場



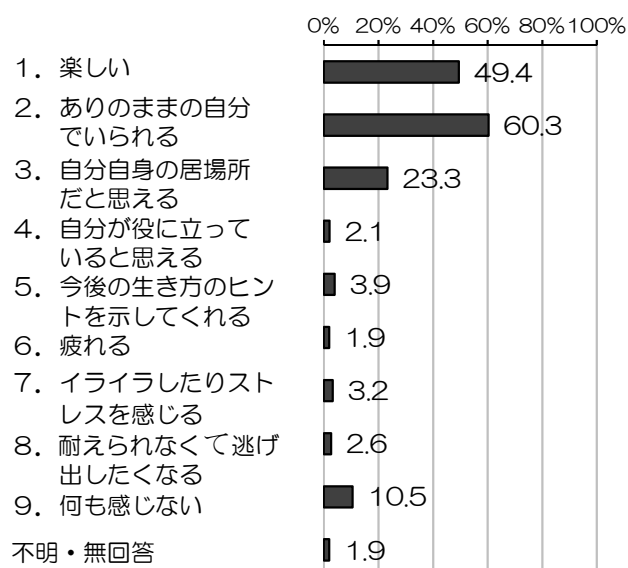
② 家庭



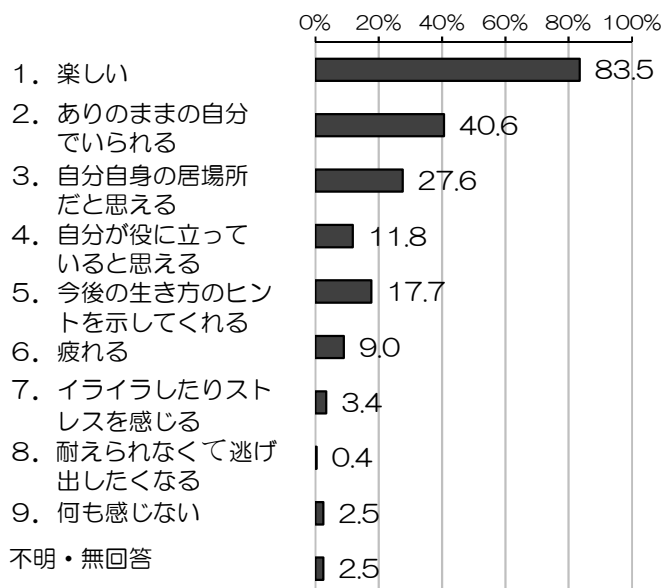
③ 地域



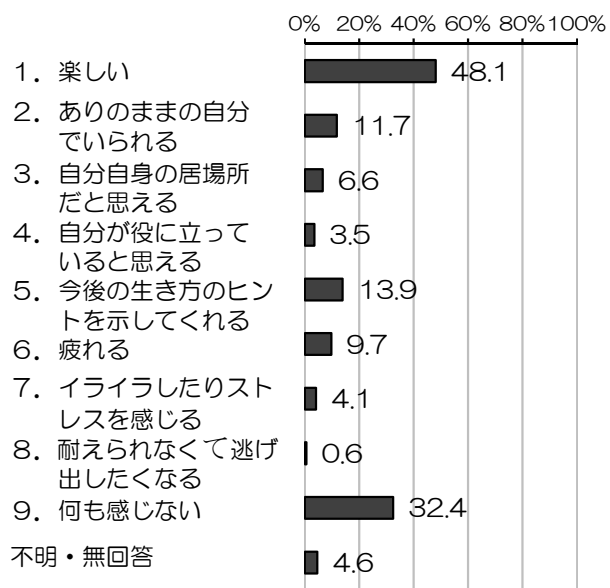
④ 一人にいる時



⑤ 友人という時

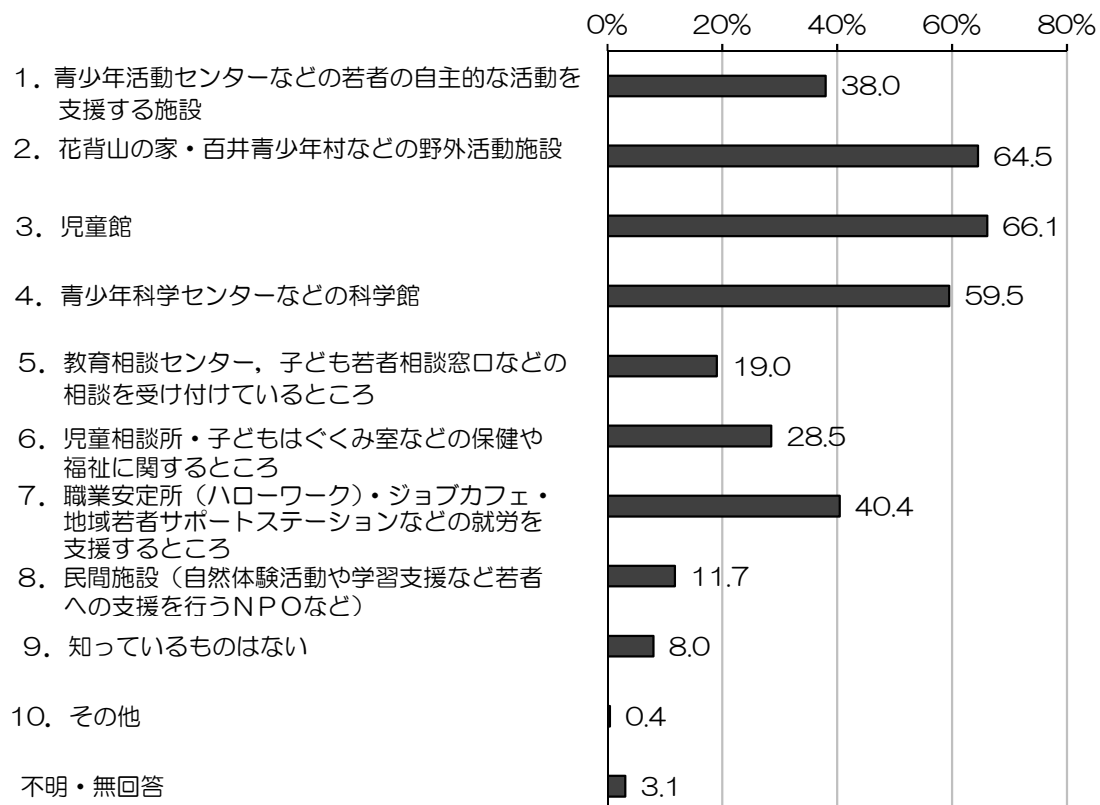


⑥ インターネット空間



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

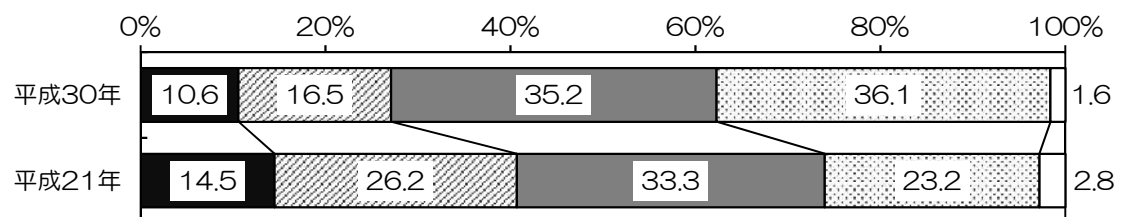
■ 以下の子ども・若者を対象に支援する施設等を知っているか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

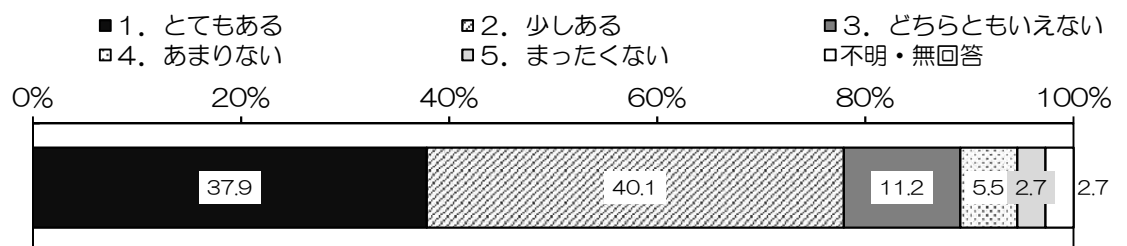
■ 京都市や地域のまちづくりについて意見を述べる機会があれば、述べてみたいと思うか

■ 1. 思う □ 2. 少し思う ■ 3. あまり思わない □ 4. 思わない □ 不明・無回答



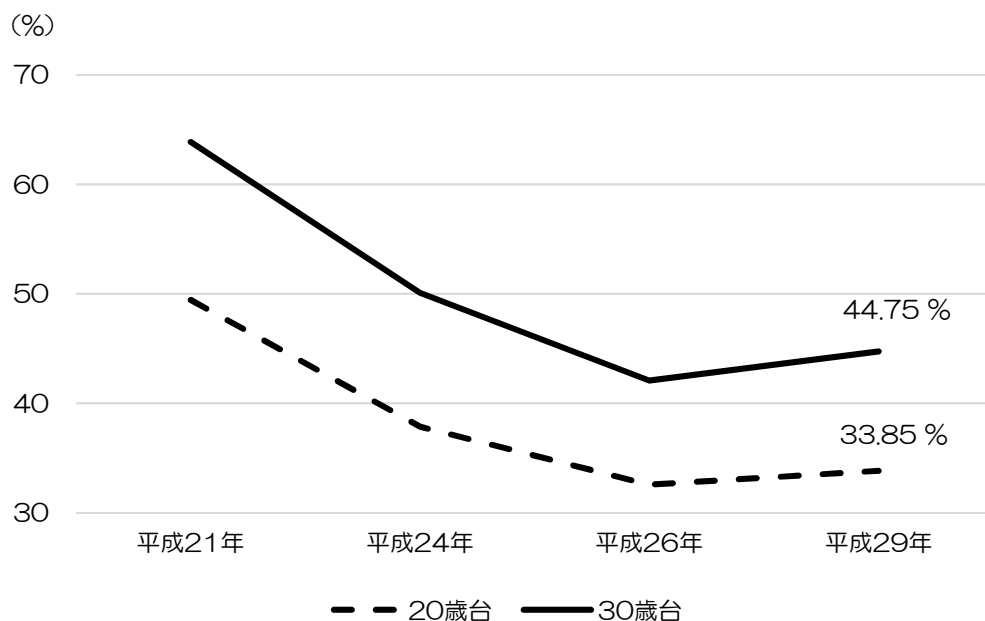
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 京都に愛着があるか



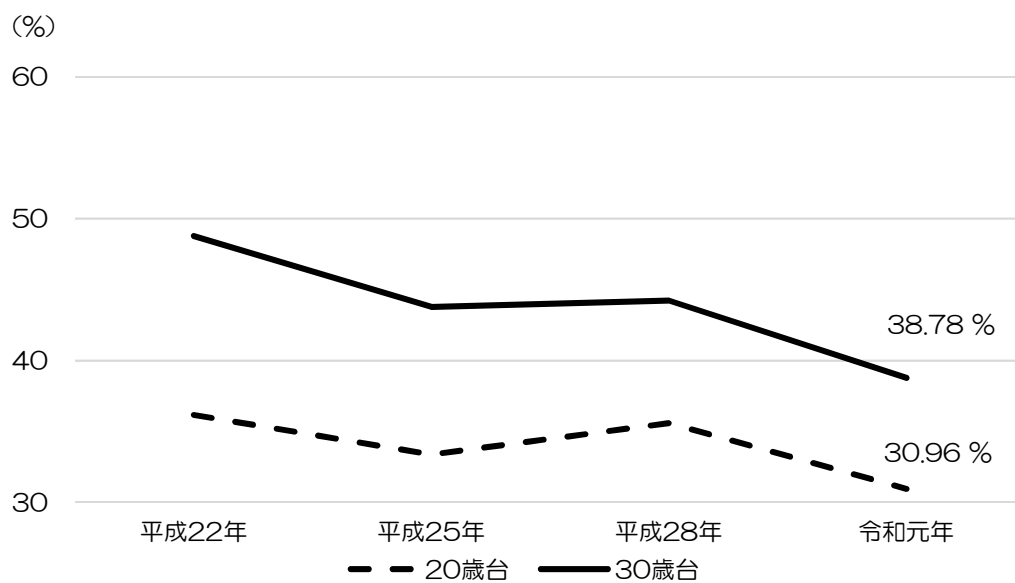
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移



資料：総務省「国政選挙の年代別投票率の推移について」

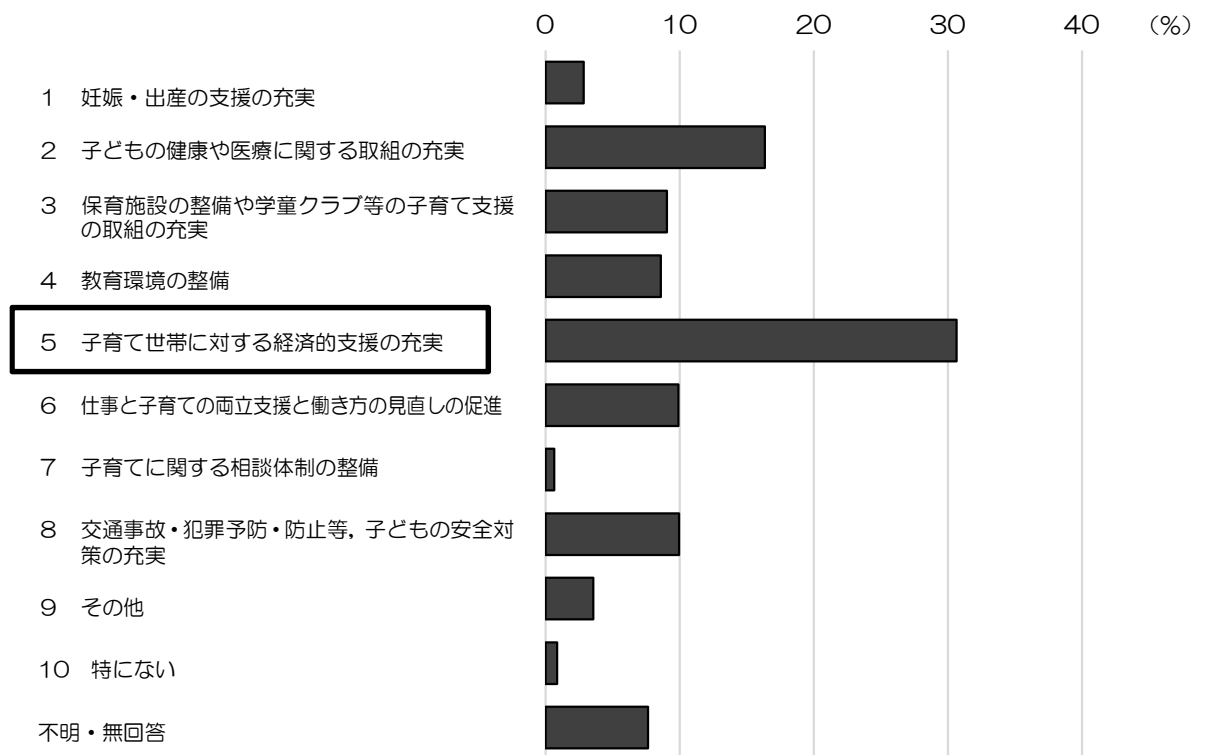
■ 参議院議員総選挙における年代別投票率の推移



資料：総務省「国政選挙の年代別投票率の推移について」

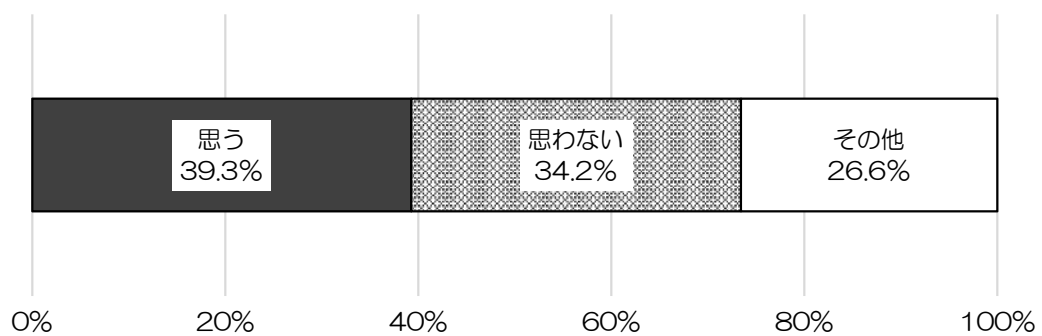
⑧ 子育て家庭の生活の安定や子ども・若者の健やかな成長に資する継続的な取組

■ 今後、京都市・京都府・国に最も期待すること



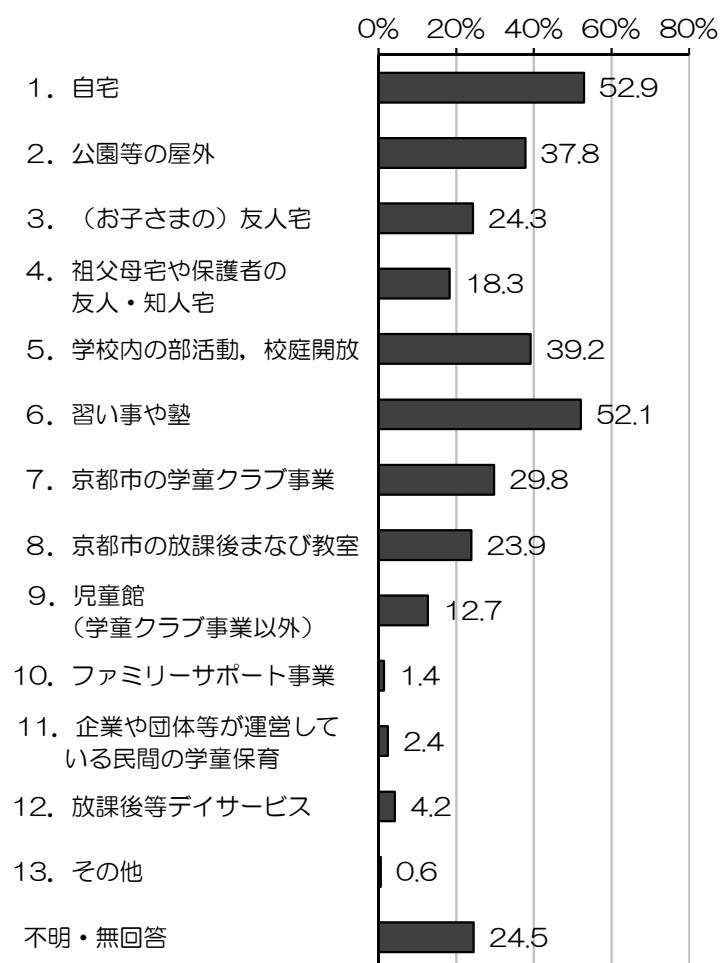
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 現在の京都市について、身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場があると思うか



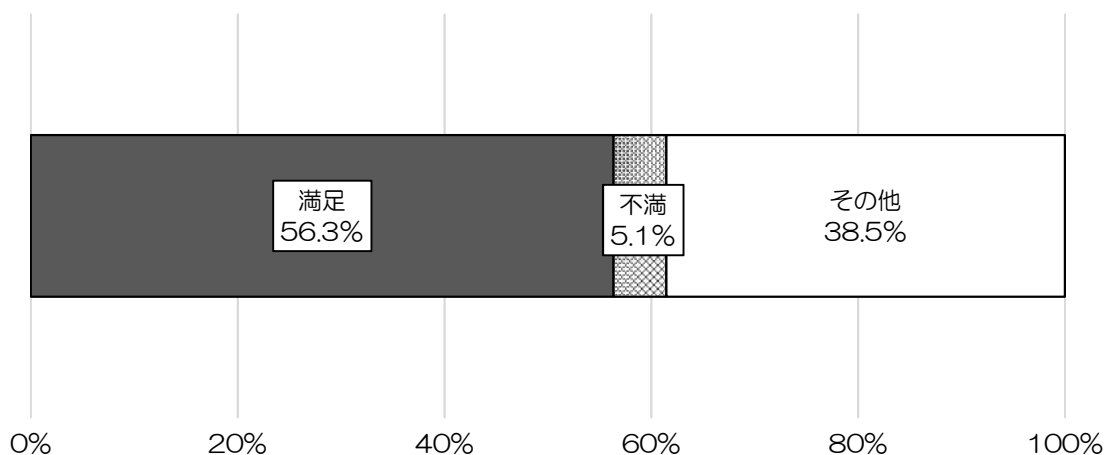
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 子どもの小学校入学後、平日の放課後をどのような場所で過ごさせたいか



資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 子どもの遊び場としての安心感、安全性に関する公園の満足度（全国）



資料：都市公園利用実態調査報告書（抄）（2014（平成26）年度）

（２）特に支援を要する子ども・若者やその家庭への支援

① 貧困家庭の子ども・若者への支援 重点４ 柱１

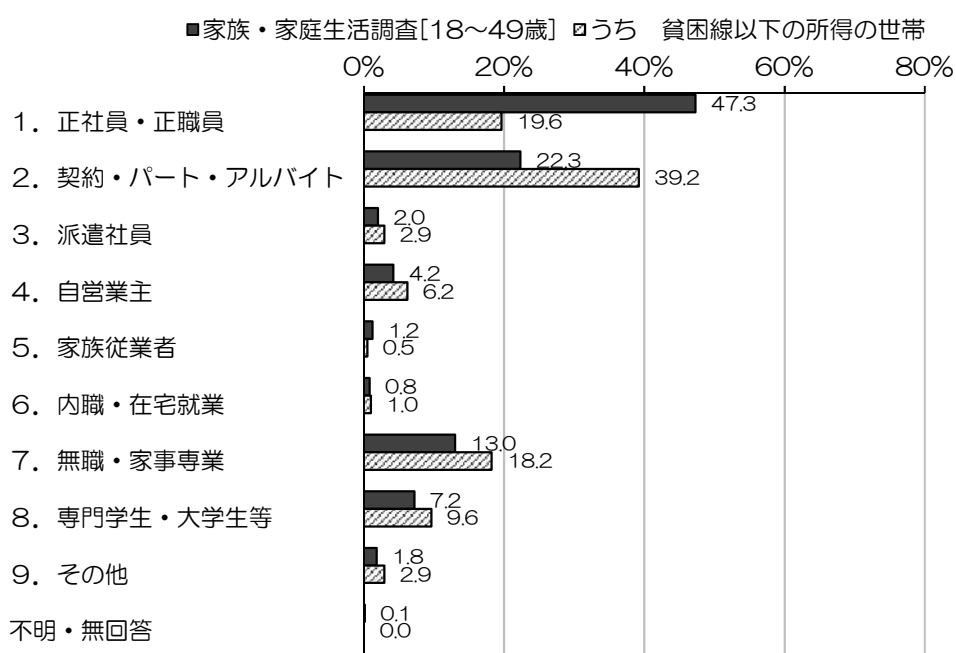
【世帯の所得が「貧困線」を下回るとする基準の算定方法】

貧困線の都道府県，市町村別の数値が出されていないため，便宜的に，全国の貧困線を基準に，世帯の経済状況を判断しています。

貧困線の基準（国の基準（２０１６（平成２８）年度国民生活基礎調査）に基づき算出したもの

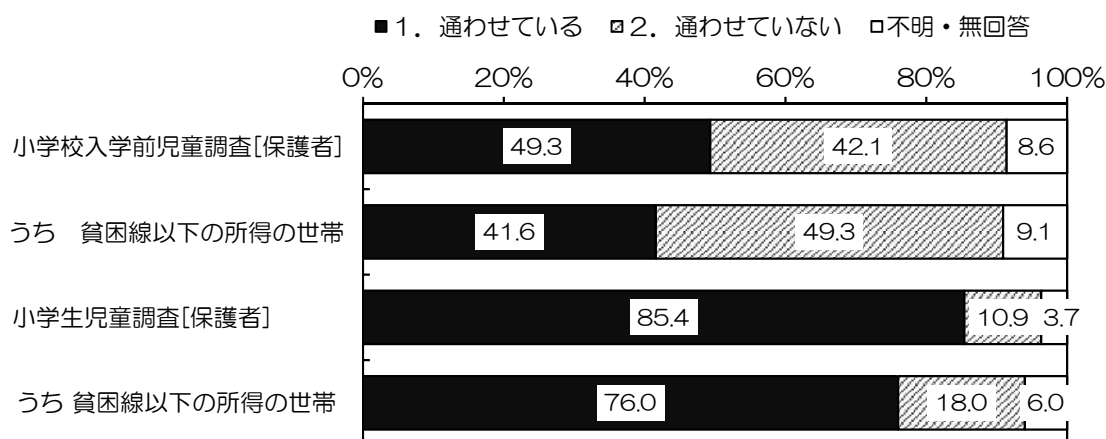
世帯人員	２人	３人	４人	５人	６人	７人	８人
世帯人員当たりの概ねの可処分所得	１７３万 円	２１２万 円	２４４万 円	２７３万 円	２９９万 円	３２３万 円	３４５万 円

■ 就労形態



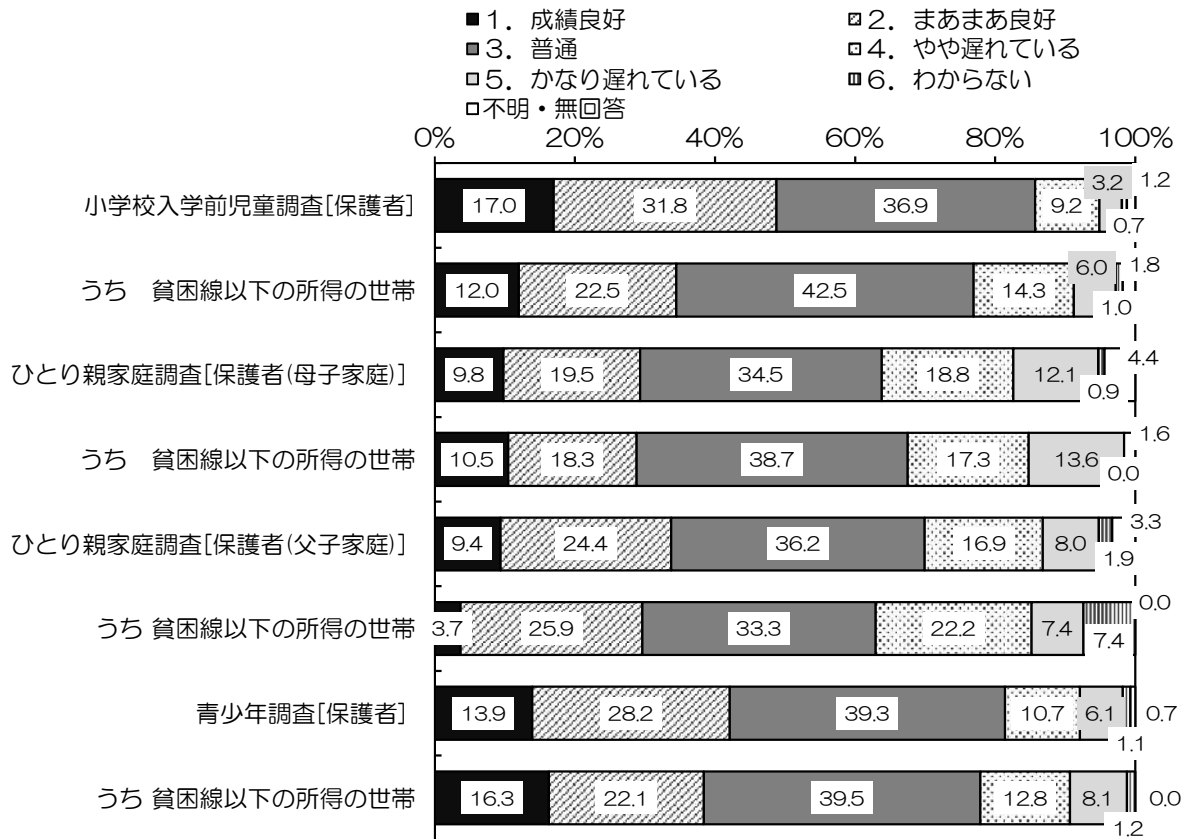
資料：京都市「子どもの生活状況調査」（２０１８（平成３０）年）

■ 子どもを習い事や学習塾に通わせているか



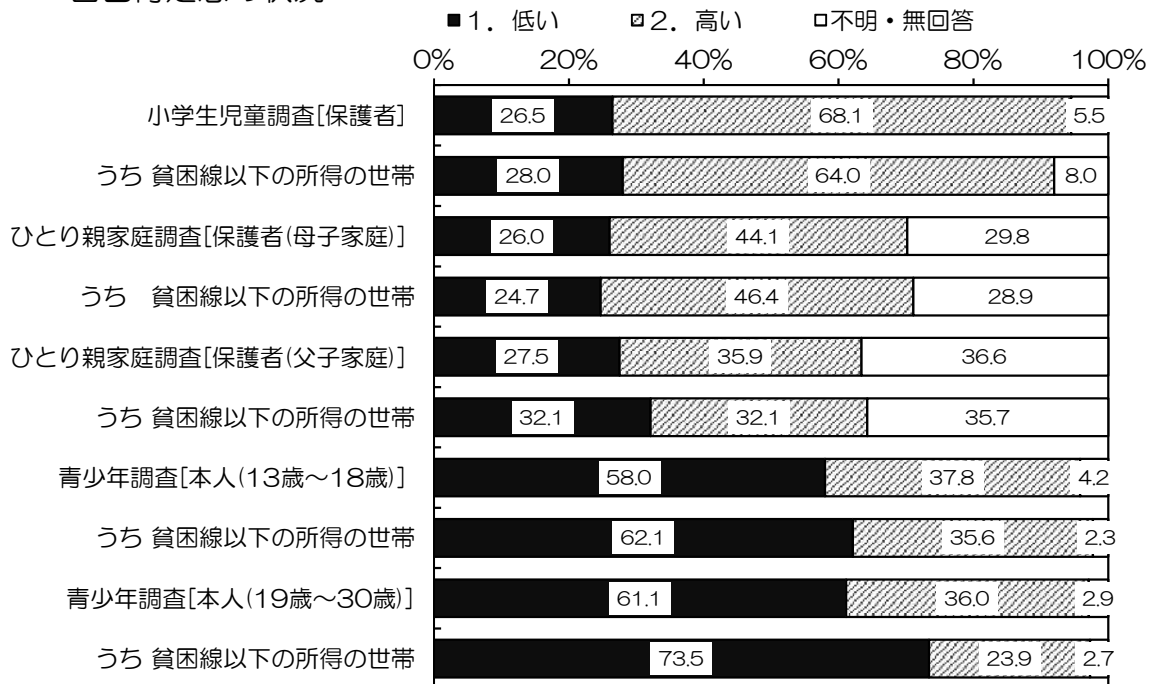
資料：京都市「子どもの生活状況調査」（２０１８（平成３０）年）

■ 子どもの学校での勉強の成績



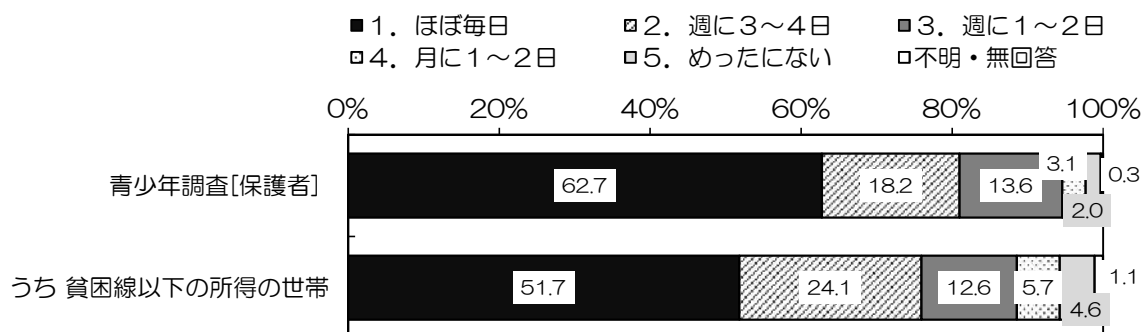
資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

■ 自己肯定感の状況



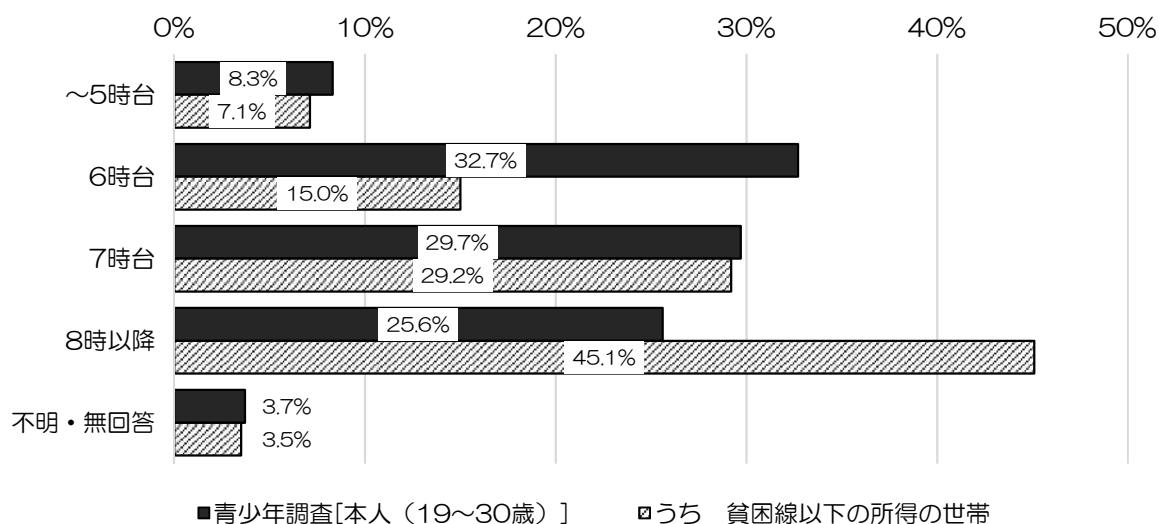
資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

■ 子どもと生活状況について話をする頻度



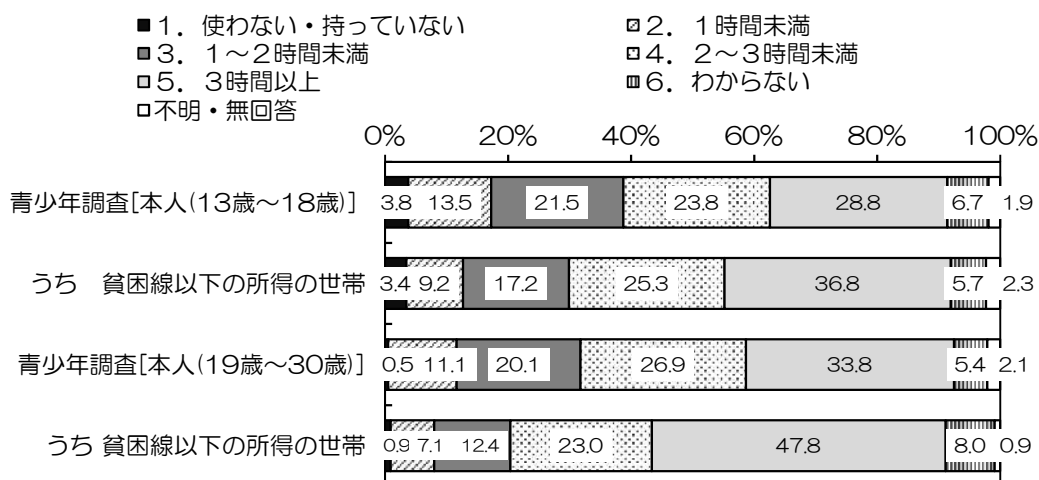
資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

■ 平日の起床時間



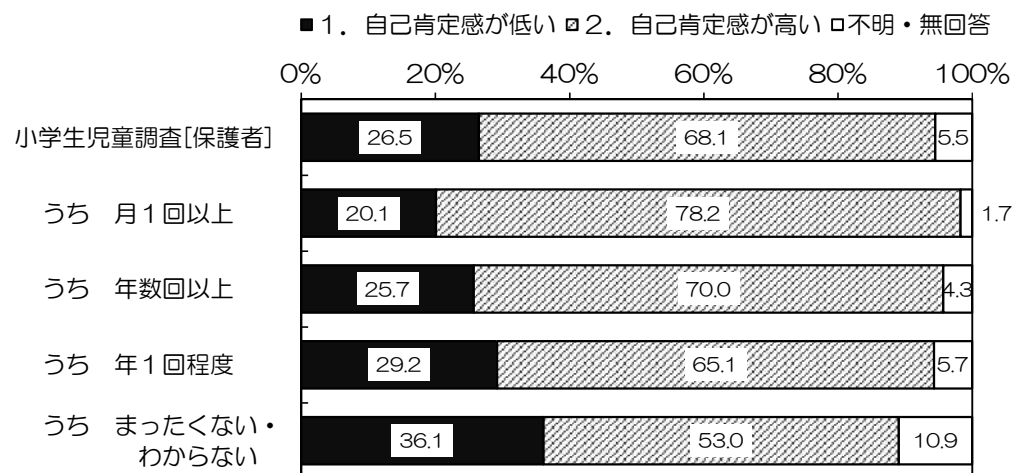
資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

■ 平日のスマートフォンや携帯電話、タブレット端末（インターネット利用含む）の利用時間

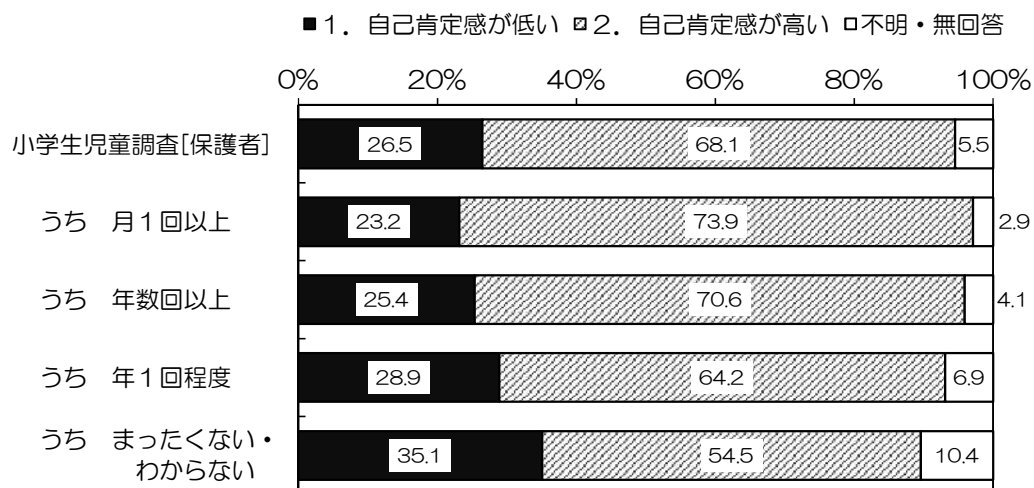


資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

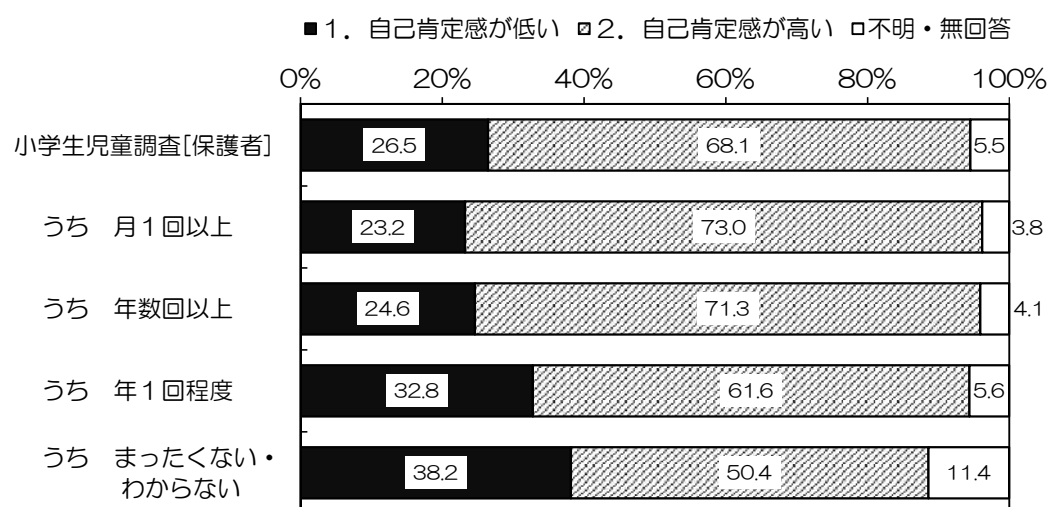
■ 自己肯定感の状況
(文化芸術活動の頻度別)



(自然体験の頻度別)

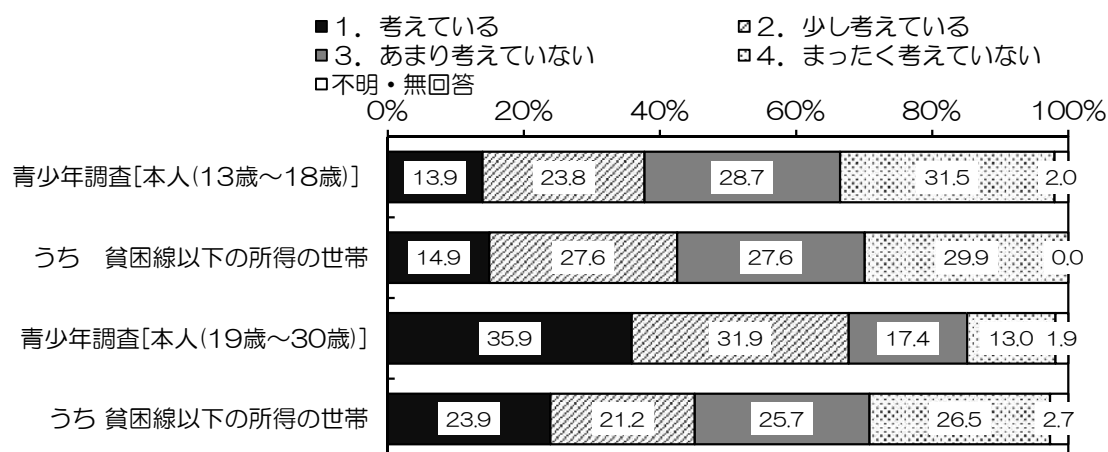


(スポーツ活動の頻度別)



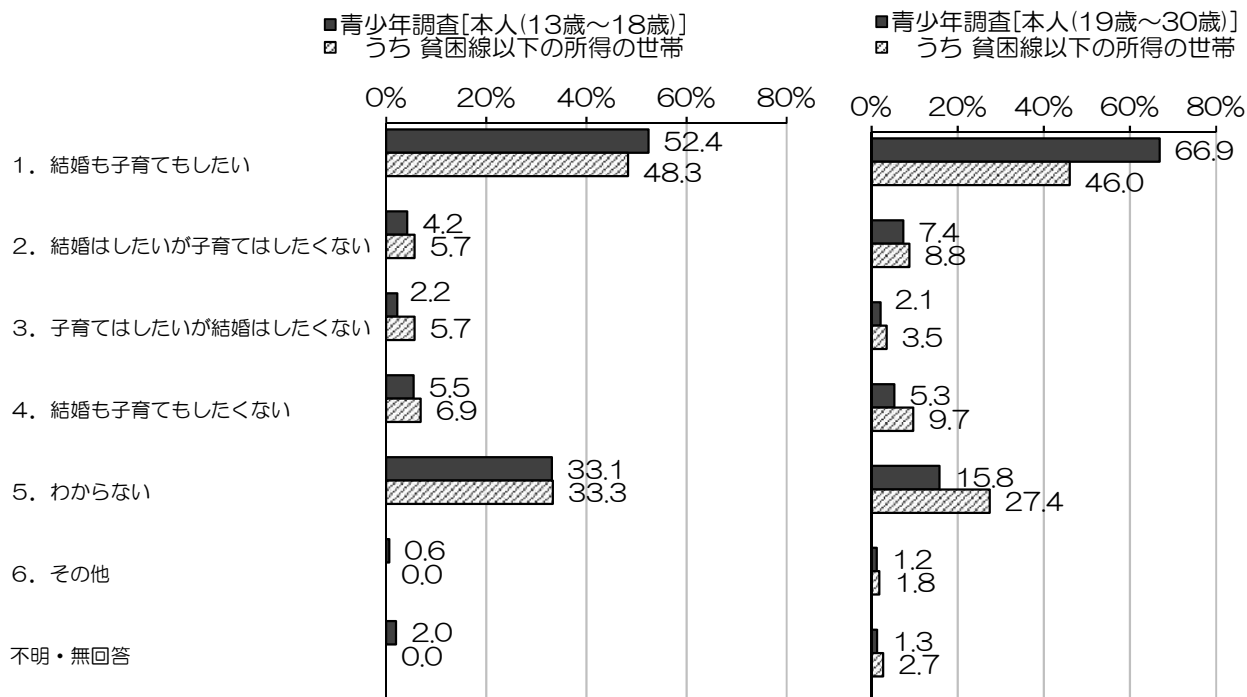
資料：京都市「子どもの生活状況調査」(2018(平成30)年)

■ 将来の自分のライフデザインの有無



資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

■ 将来の結婚や子育てについての考え

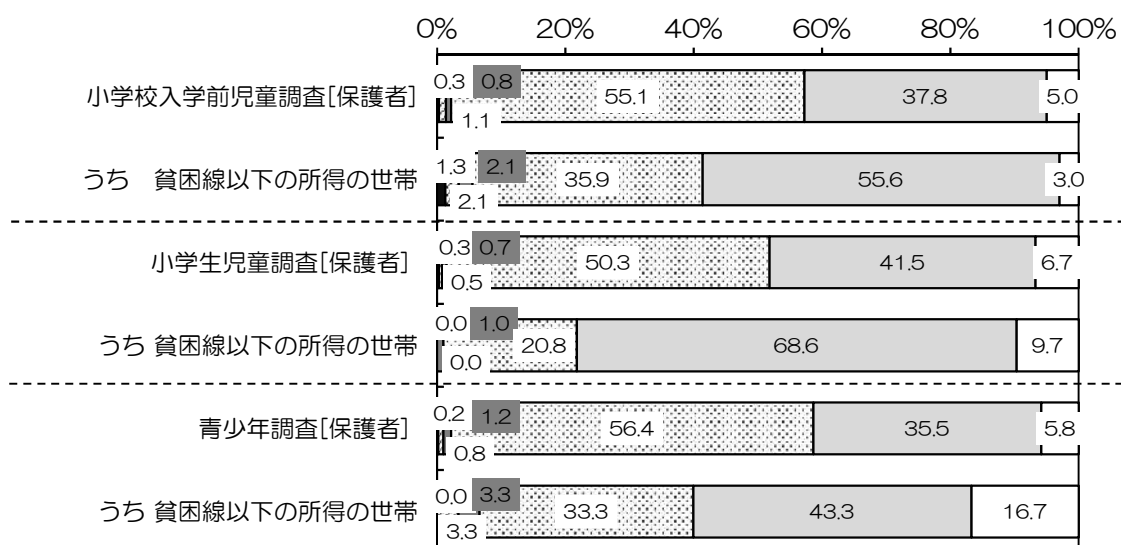


資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

■ 就労日数

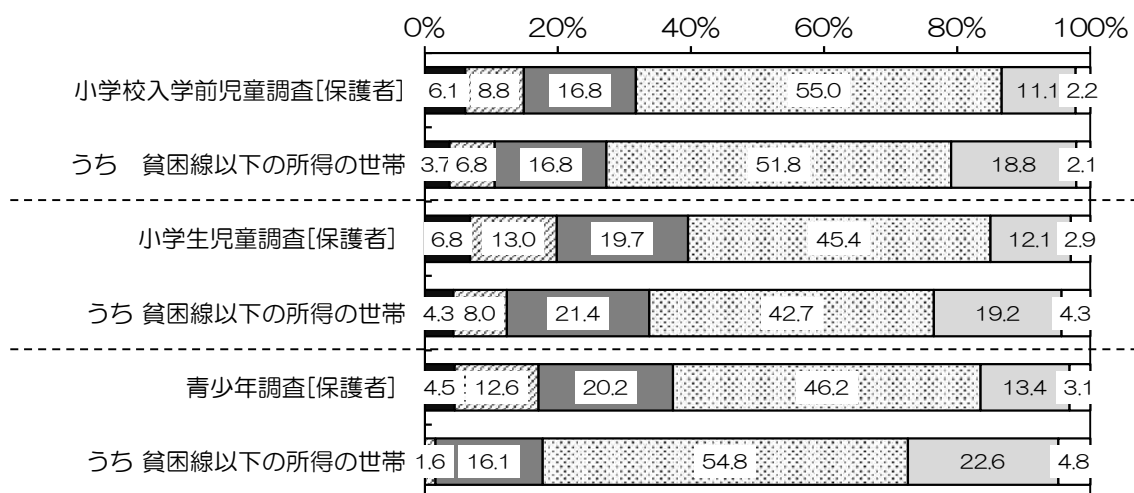
【父親】

■ 1. 2日以下 □ 2. 3日 ■ 3. 4日 □ 4. 5日
□ 5. 6日以上 □ 不明・無回答



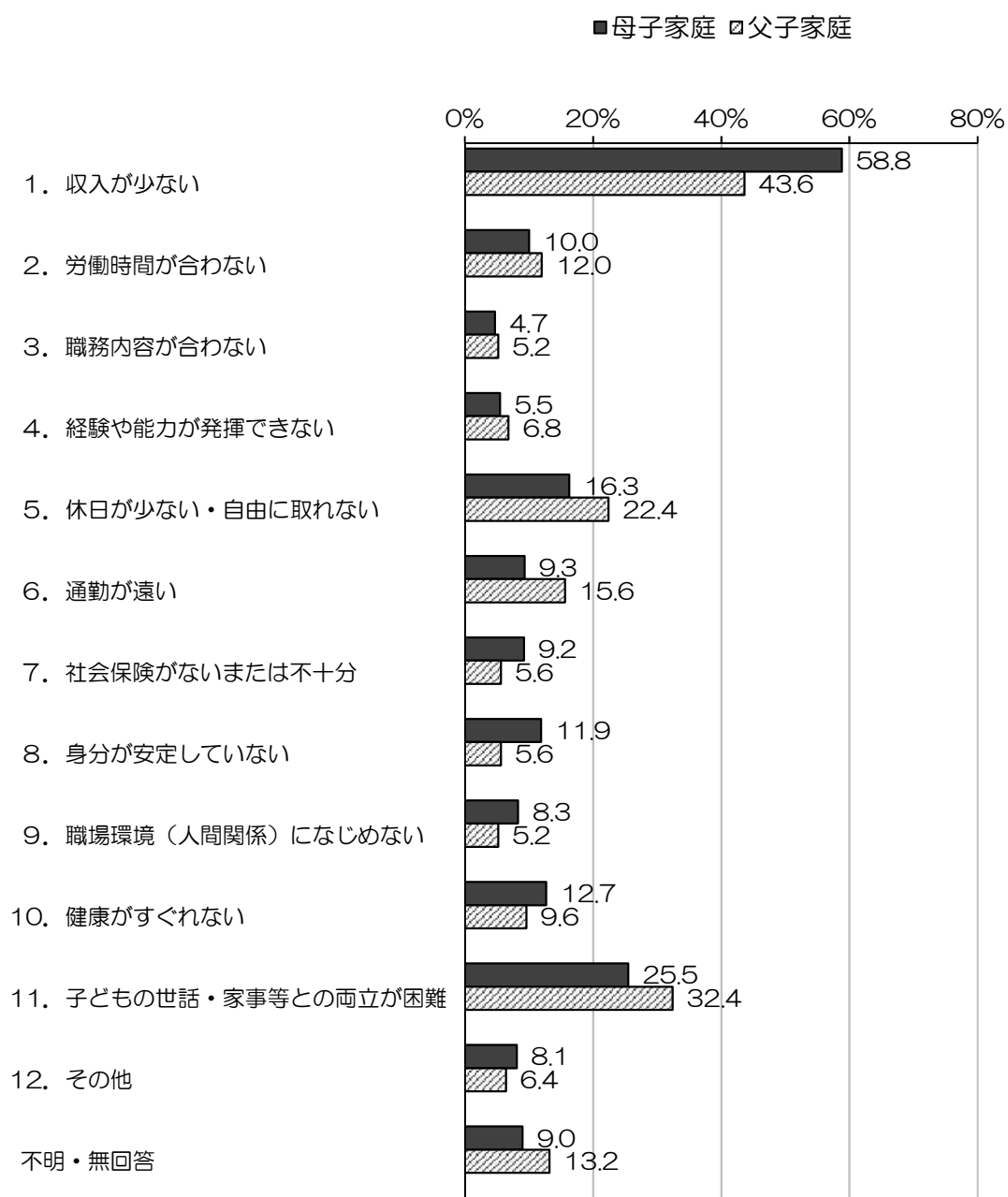
【母親】

■ 1. 2日以下 □ 2. 3日 ■ 3. 4日 □ 4. 5日
□ 5. 6日以上 □ 不明・無回答



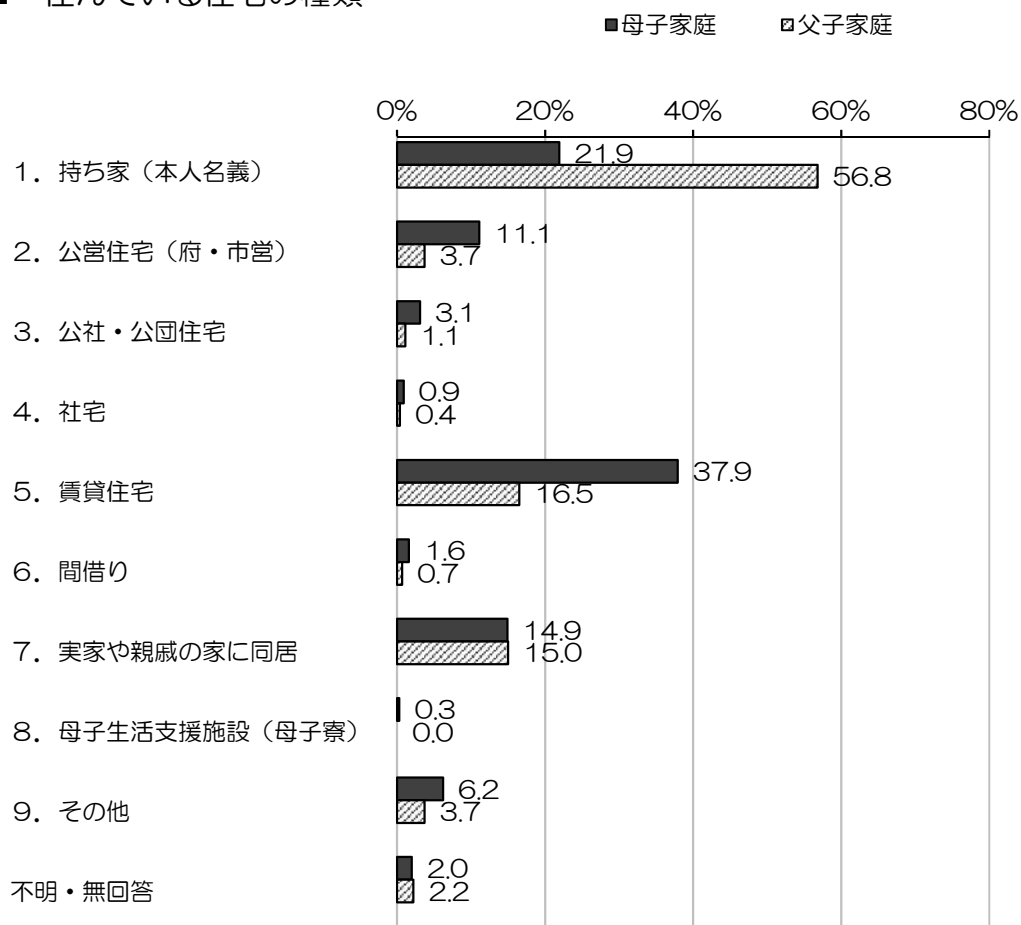
資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

■ 仕事上の悩みについて



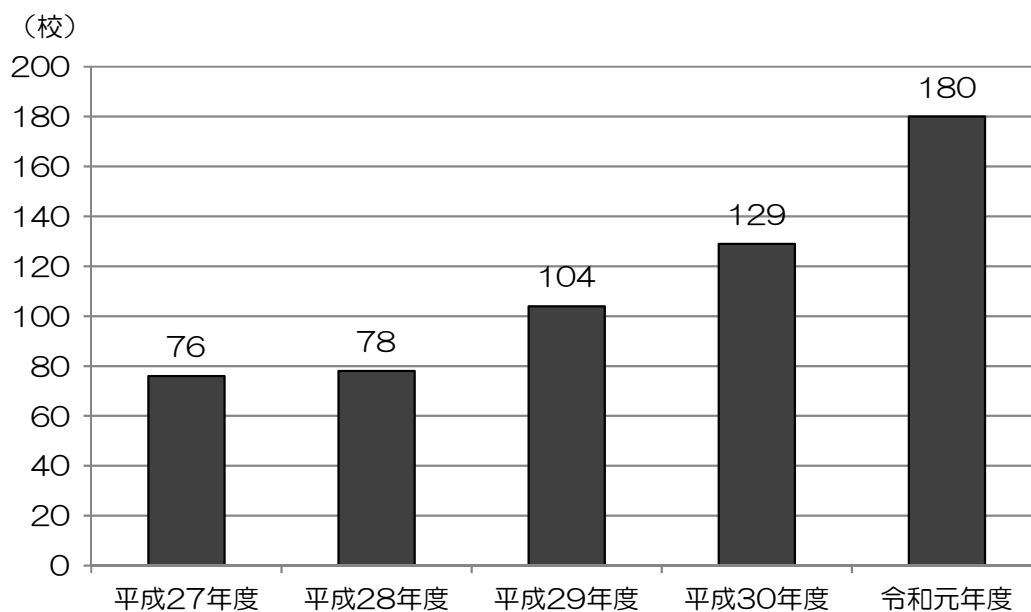
資料：京都市「ひとり親家庭に関する実態調査」（2018（平成30）年）

■ 住んでいる住宅の種類

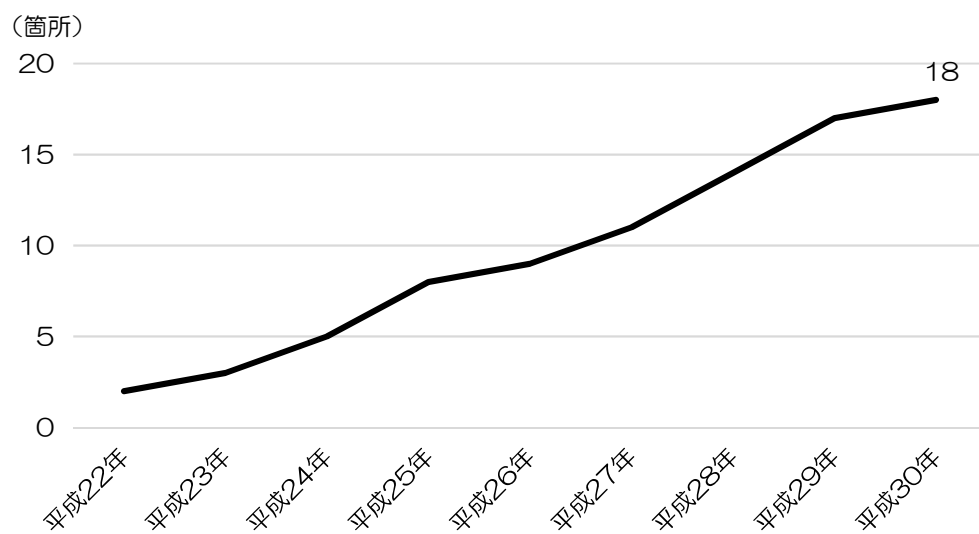


資料：京都市「ひとり親家庭に関する実態調査」（2018（平成30）年）

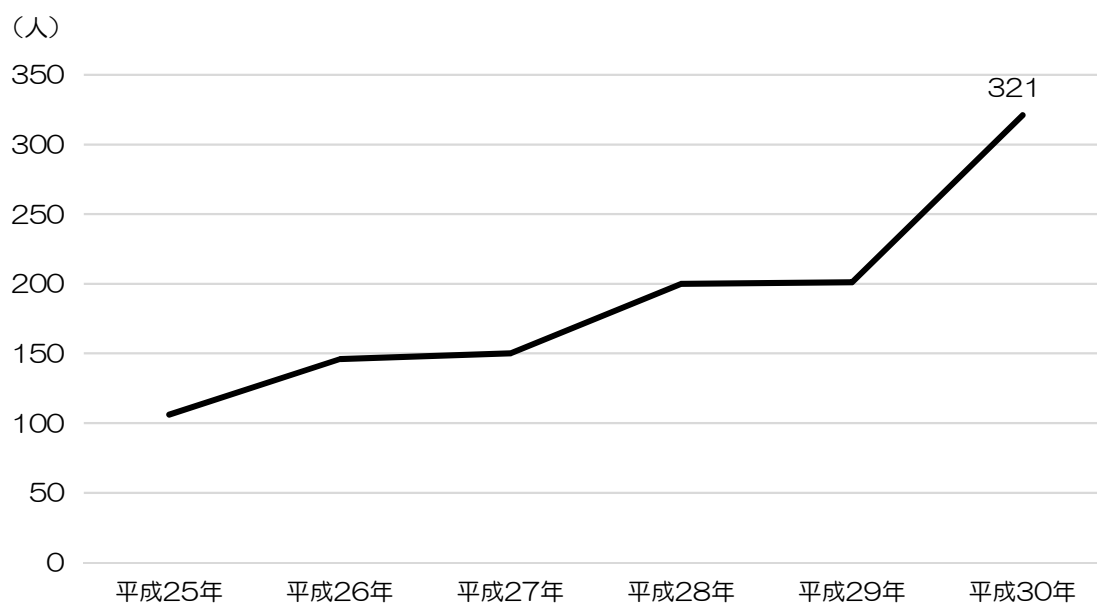
■ スクールカウンセラーを年間280時間以上配置する学校数



■ 学習支援事業の箇所数



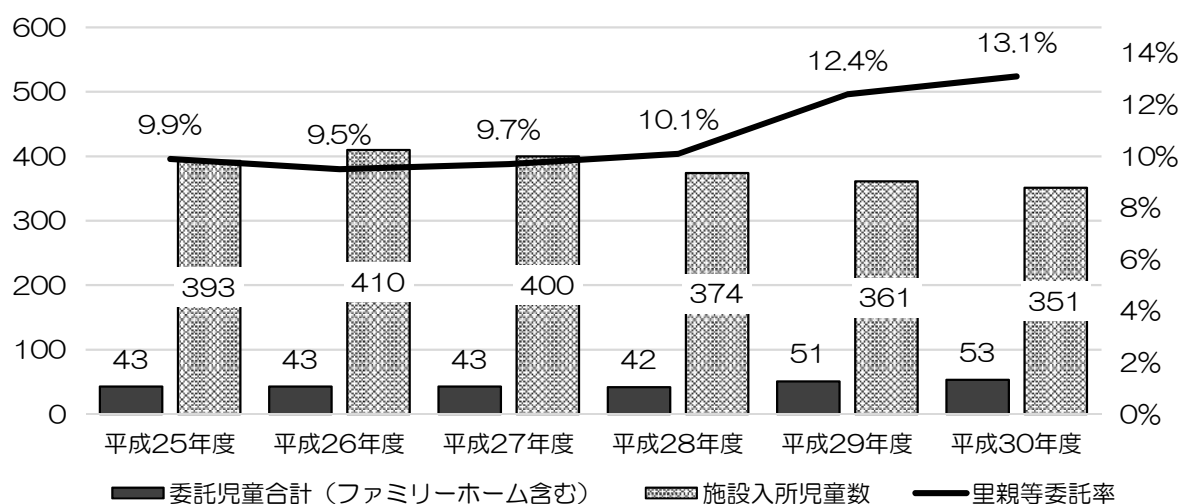
■ 学習支援事業の登録者数



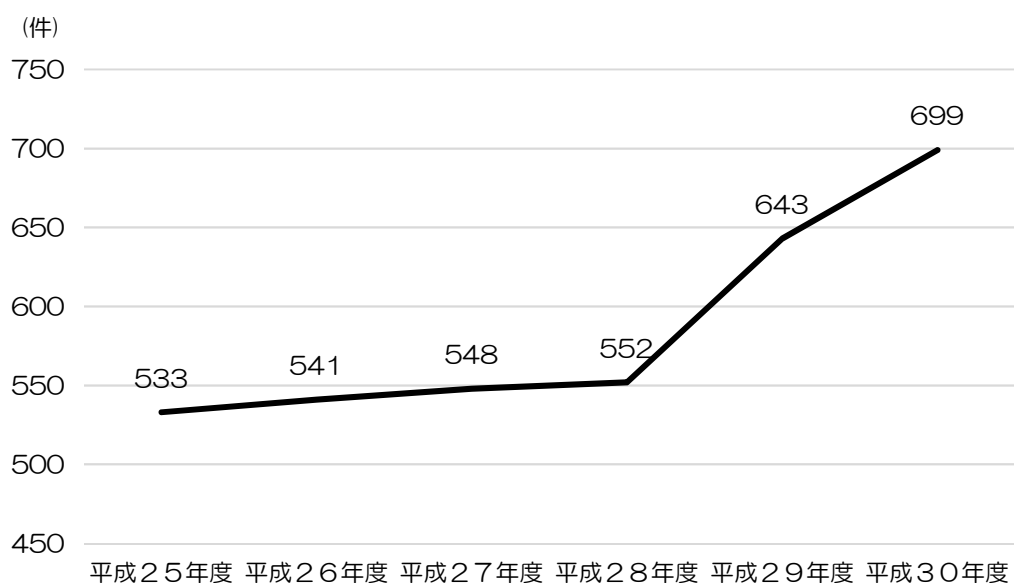
② 児童虐待対策・少年非行対策，社会的養育の推進 **重点4 柱2**

■ 代替養育（施設入所・里親等への委託）が必要な児童数

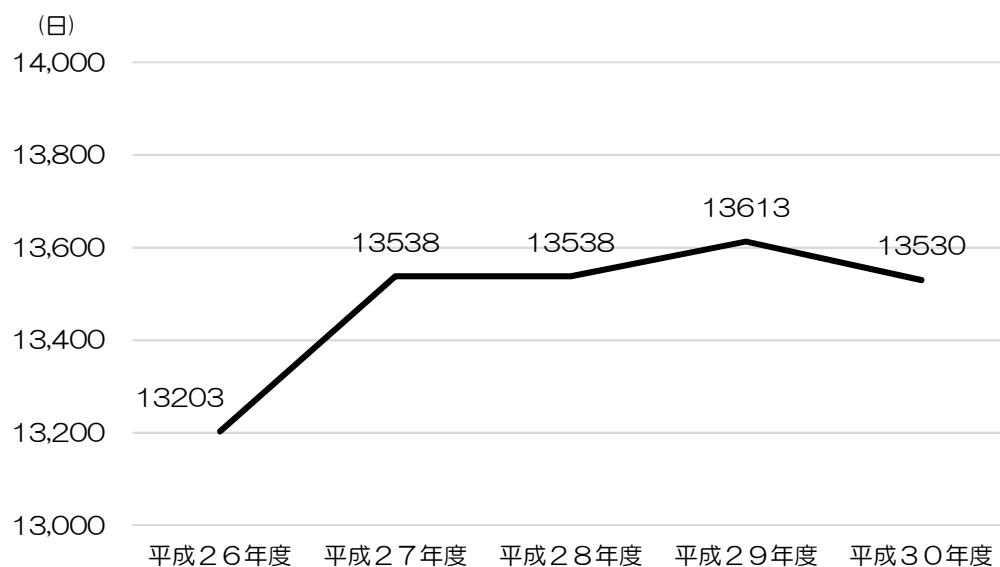
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
乳児院	35	38	39	38	34
児童養護	375	362	335	323	317
里親等	43	43	42	51	53
合計	453	443	416	412	404
里親等委託率	9.5%	9.7%	10.1%	12.4%	13.1%



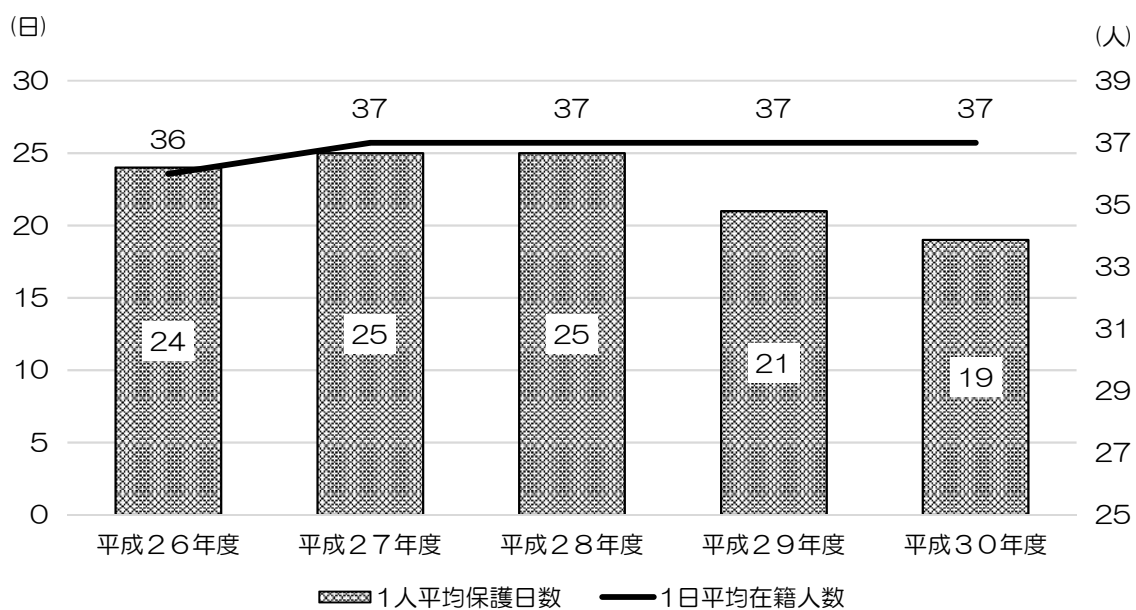
■ 一時保護延べ件数の推移



■ 一時保護延べ日数推移

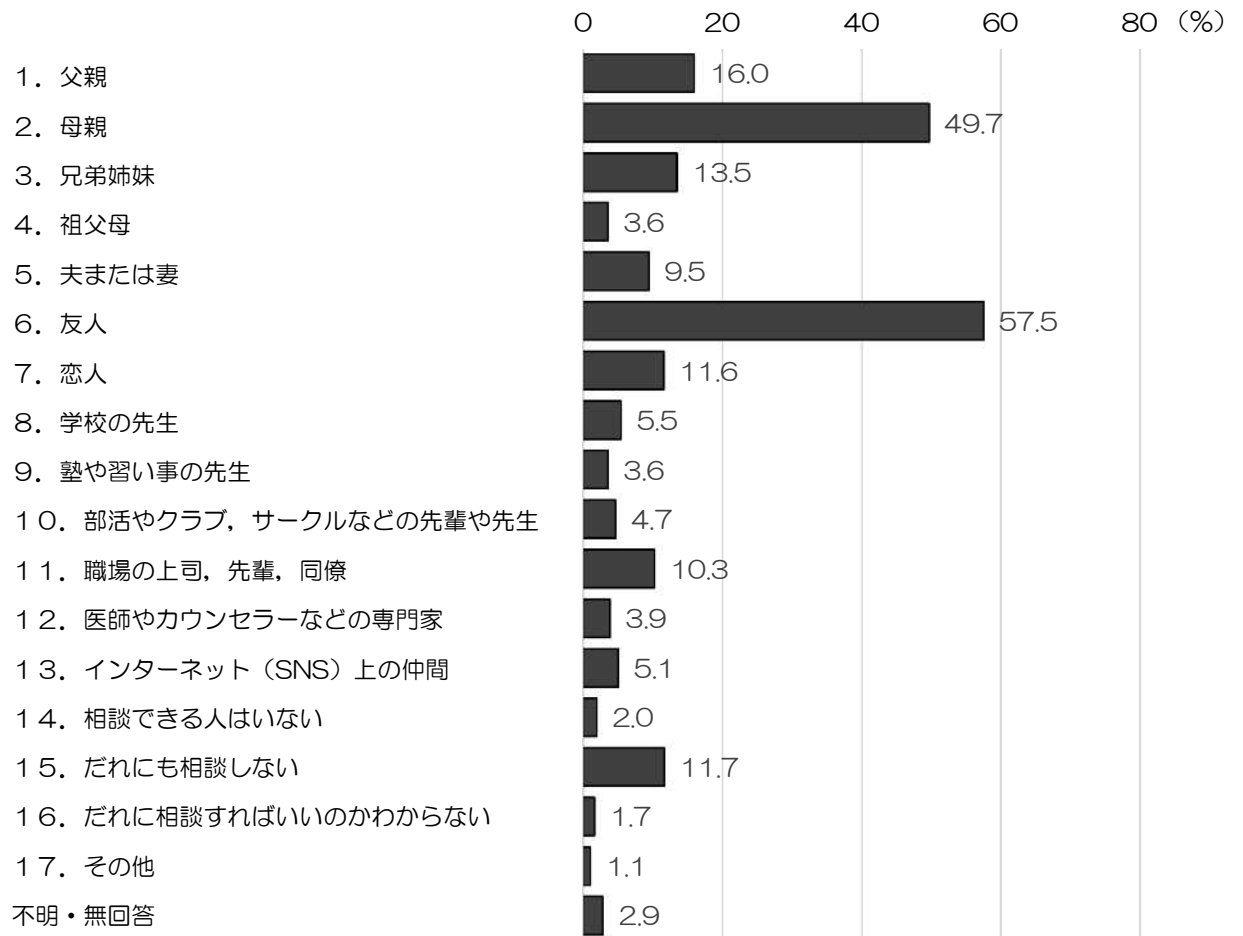


■ 過去5年間の一日平均在籍者数・一人平均保護日数の推移



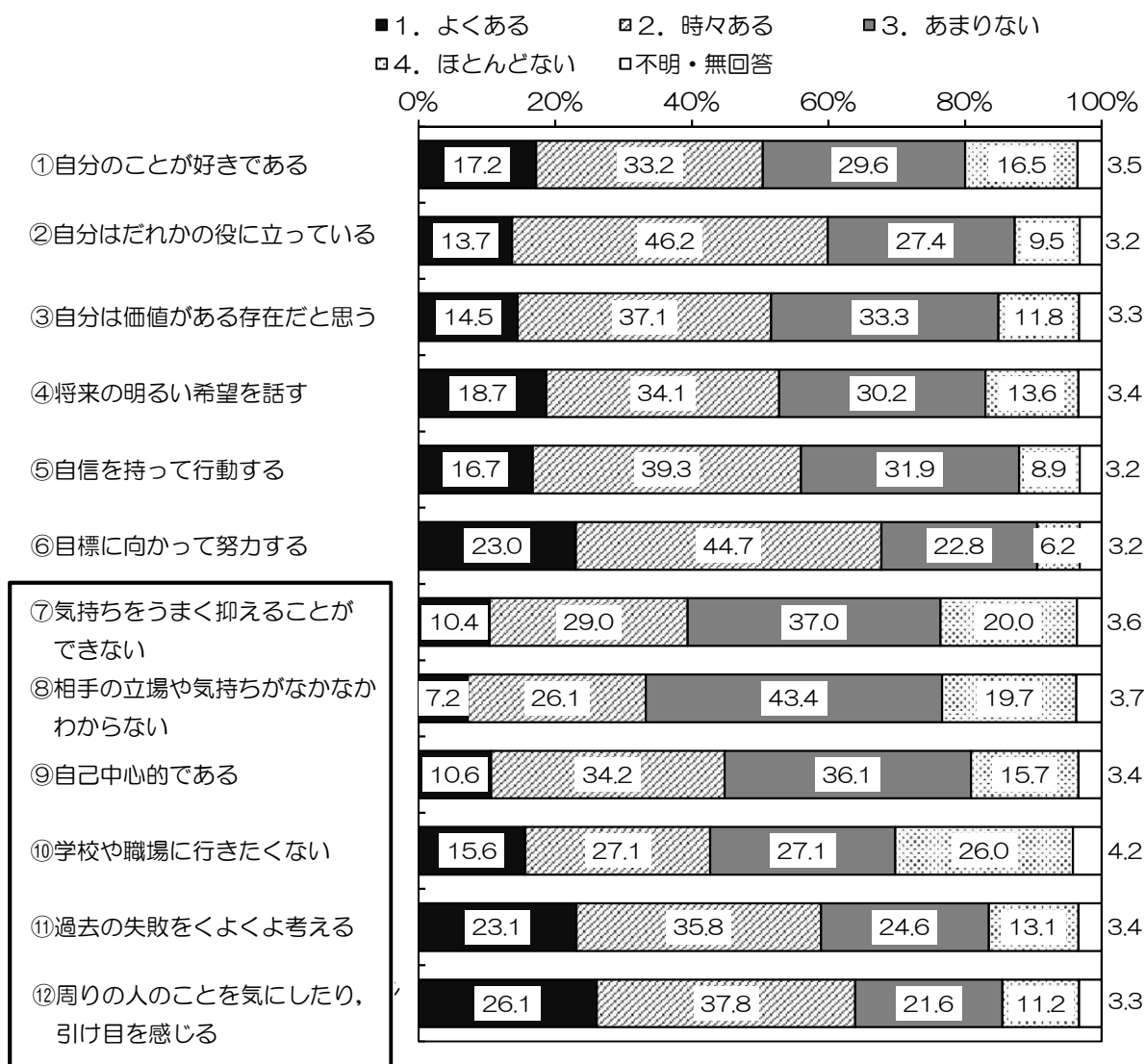
③ 困難を有する若者への支援 重点4 柱3

■ 悩みや心配ごとがある時はだれに相談しているか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 普段次のような気持ちや状況になることがあるか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ ひきこもり状態の方の推計（※１）

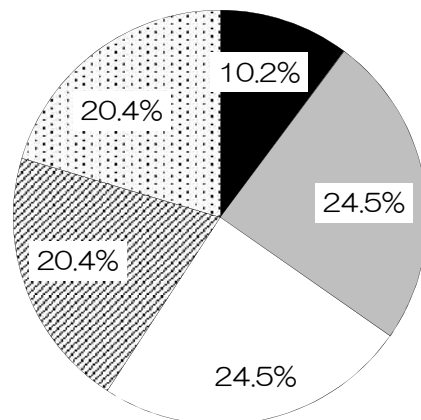
	15～39歳	40～64歳	合計
全国	54.1万人	61.3万人	115.4万人
【参考】京都市（※２）	6.6千人	6.9千人	13.5千人

（※１） 狭義のひきこもり（家から出ない、近所のコンビニ等には出かけるが普段は家にいる。）
及び準ひきこもり（趣味に関する用事の時だけ外出するが普段は家にいる。）の状態が6箇月
以上続いている方の合計値（推計）

（※２） 全国の推計値に基づき、本市の各年代の推計人口から算出

資料：内閣府「若者の生活に関する調査報告書」（2016（平成28）年）
内閣府「生活状況に関する調査報告書」（2019（平成31）年）

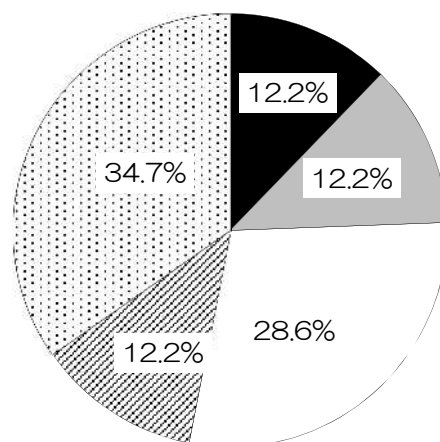
■ 15歳～39歳のひきこもりの方の状況



■15～19歳 ■20～24歳 □25～29歳 ▨30～34歳 ▩35～39歳

資料：内閣府「若者の生活に関する調査報告書」（2016（平成28）年）

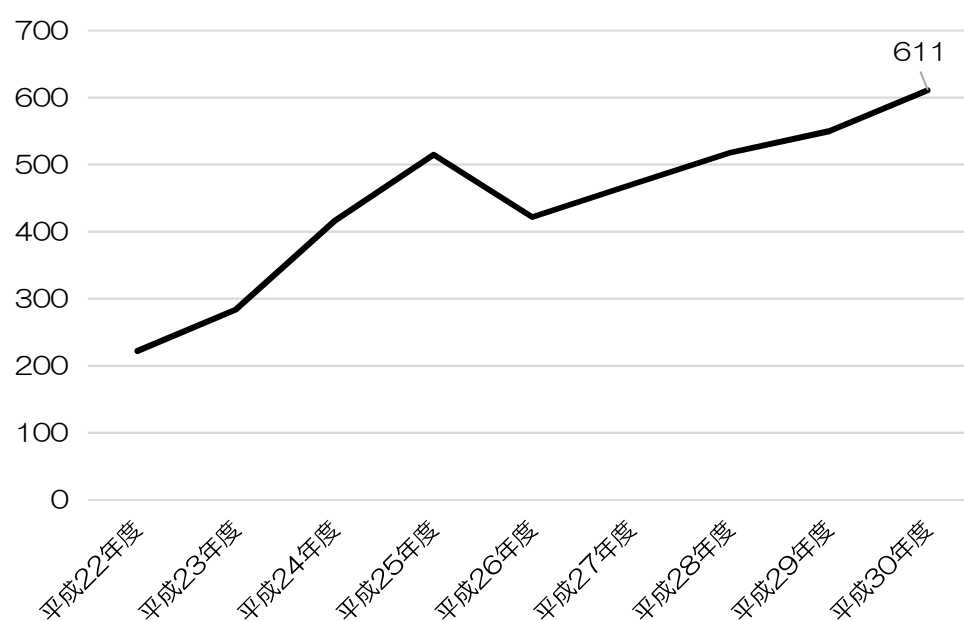
■ ひきこもり状態になってからの期間（15～39歳）



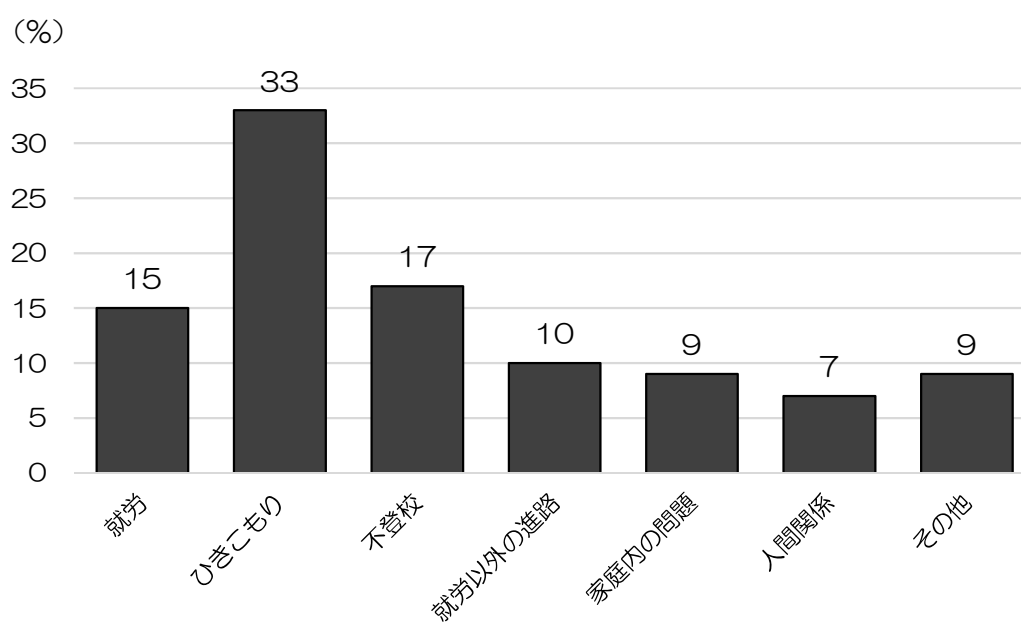
■6箇月～1年 ■1～3年 □3～5年 ▨5～7年 ▩7年以上

資料：内閣府「若者の生活に関する調査報告書」（2016（平成28）年）

■ 2018（平成30）年度子ども・若者総合相談窓口への相談種別内訳
（件）

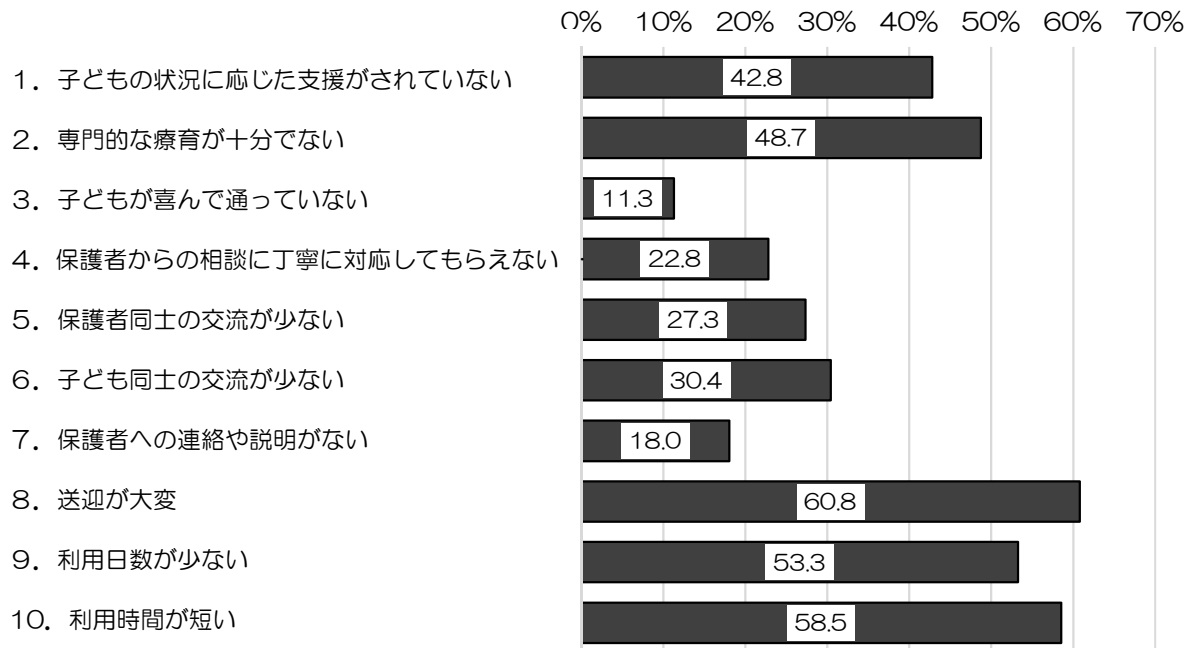


■ 2018（平成30）年度子ども・若者総合相談窓口への相談内容



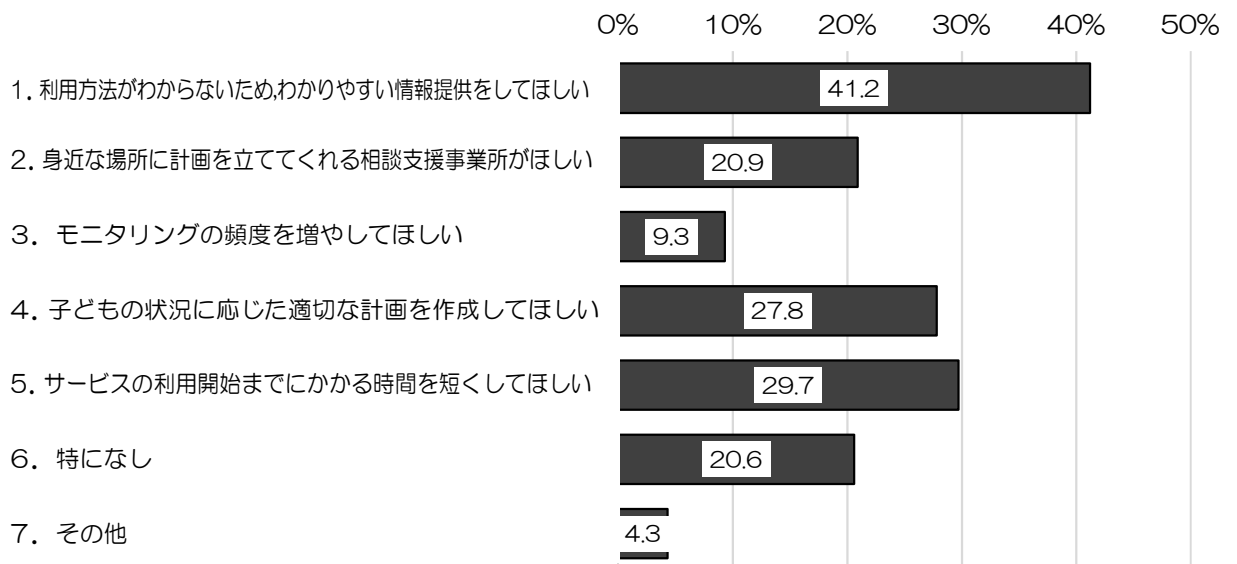
④ 障害のある子どもへの支援

■ 児童発達支援事業所に通う児童の保護者が感じる不満



資料：京都市「障害のある児童にかかる実態把握」（２０１８（平成３０）年）

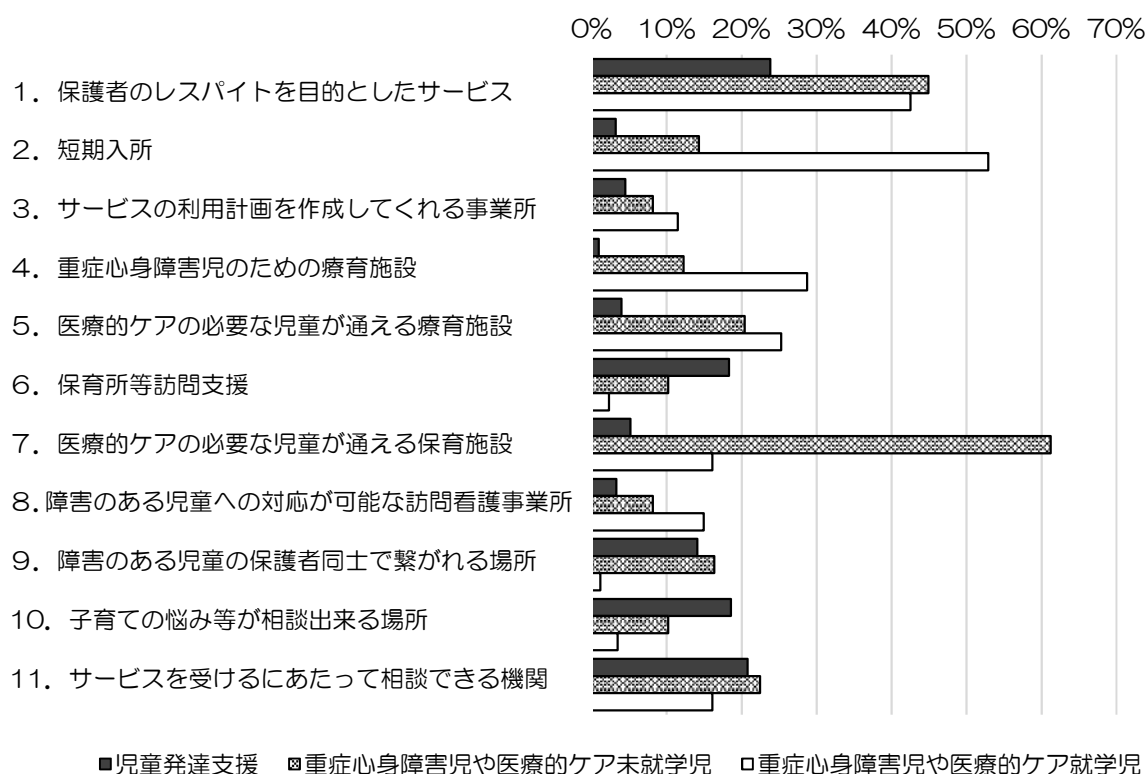
■ 児童相談支援に関する要望についてお答えください。



資料：京都市「障害のある児童にかかる実態把握」（２０１８（平成３０）年）

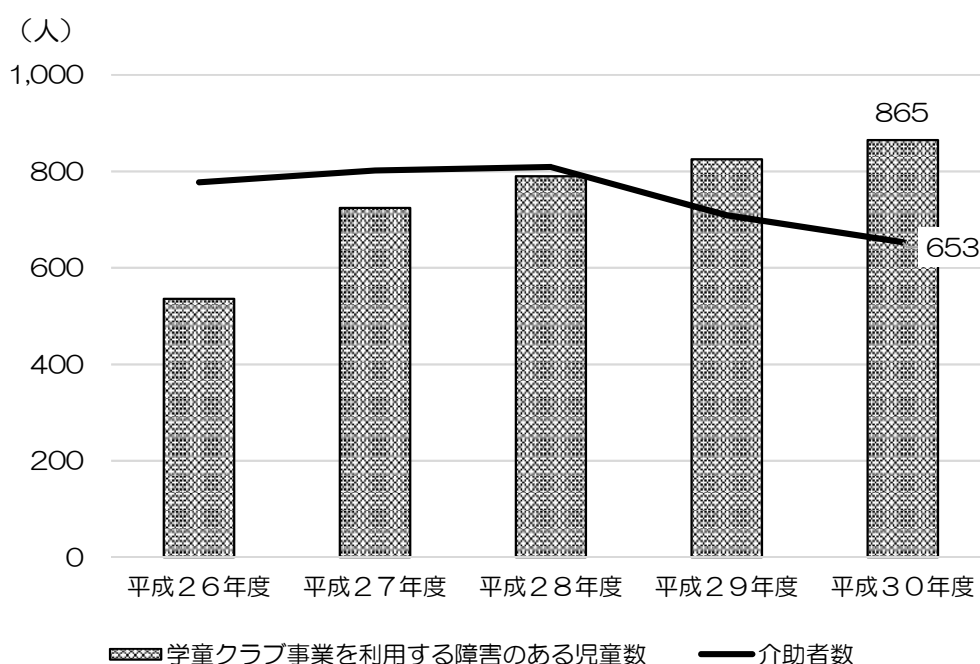
■ 不足していると感じるサービスの比較

(児童発達支援、重症心身障害児や医療的ケア、総合支援学校)

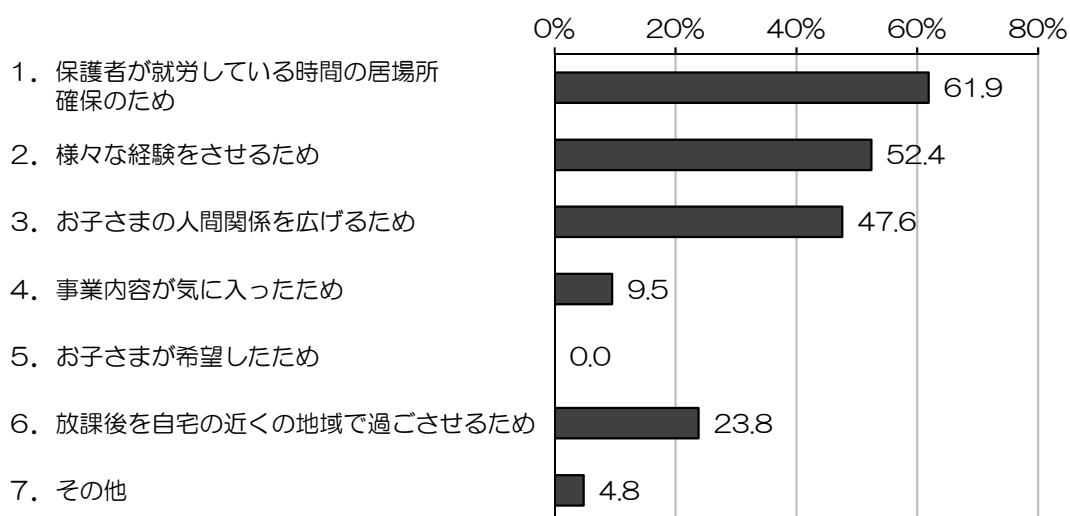


資料：京都市「障害のある児童にかかる実態把握」（2018（平成30）年）

■ 学童クラブ事業を利用する障害のある児童への総合育成事業の実績



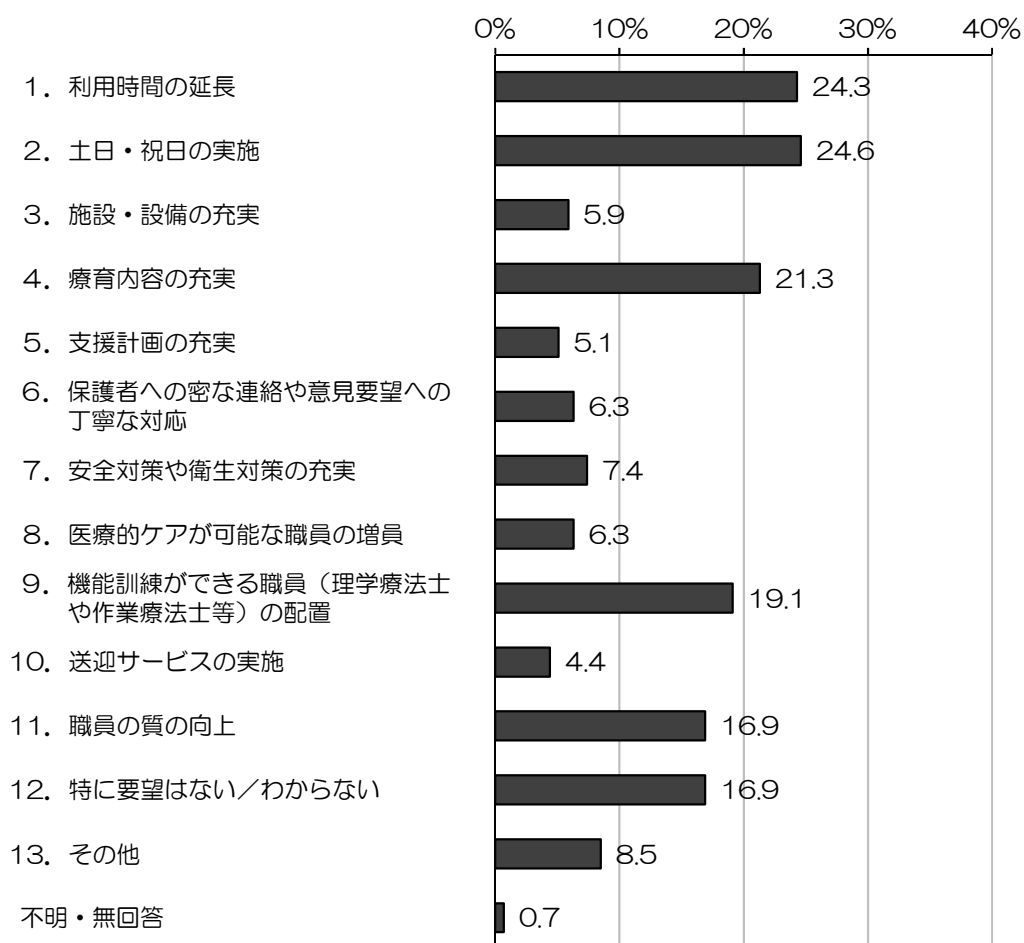
■ 総合支援学校に通う子が学童クラブ事業を利用している理由



※不明・無回答除く

資料：京都市「放課後の過ごし方に関する調査」（2018（平成30）年）

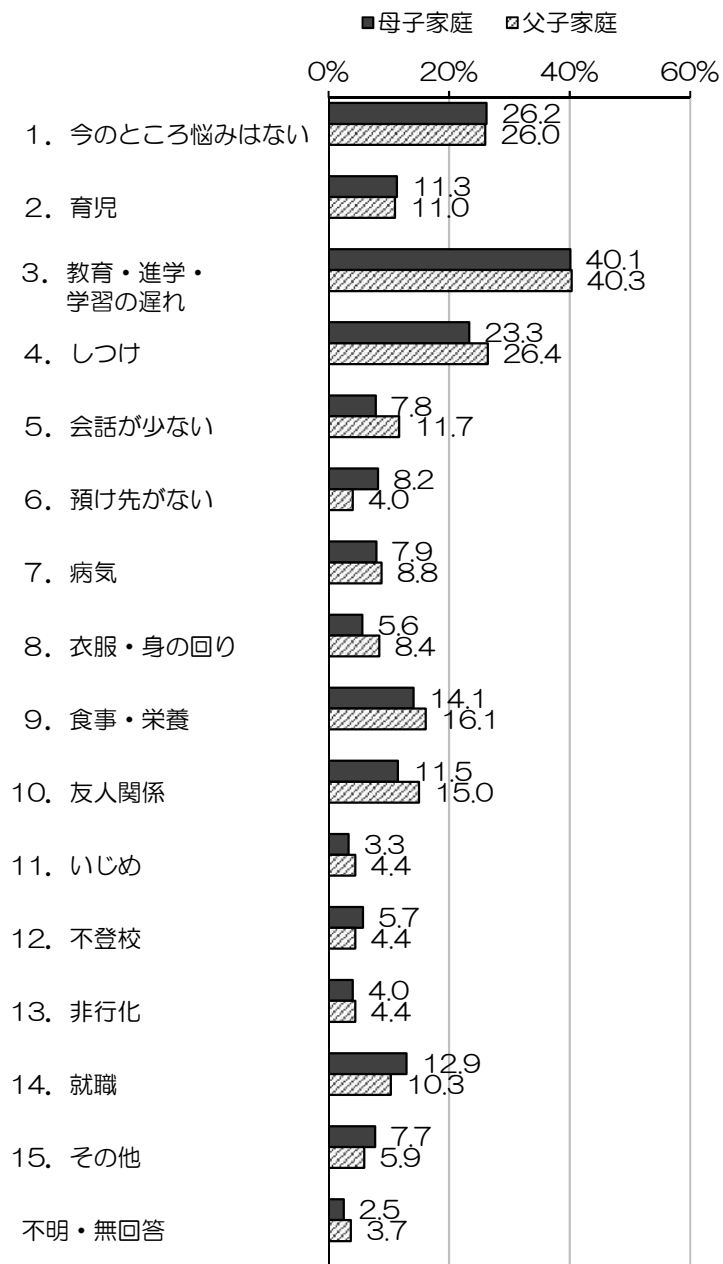
■ 総合支援学校に通う子が現在通っている、放課後等デイサービスに対する要望



資料：京都市「放課後の過ごし方に関する調査」（2018（平成30）年）

⑤ ひとり親家庭支援 **重点4 柱1**

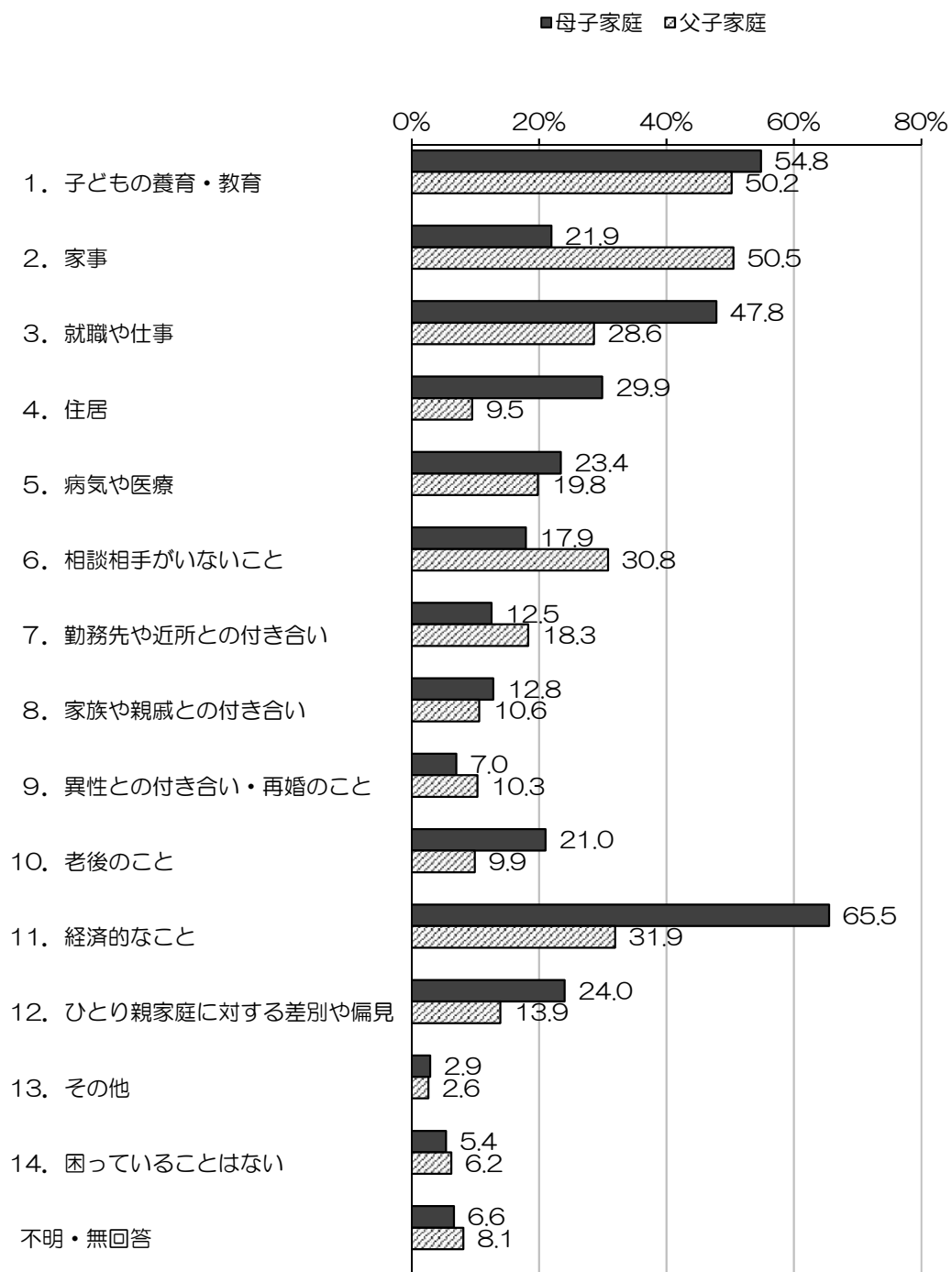
■ 子どもについて現在どのようなことで悩んでいるか



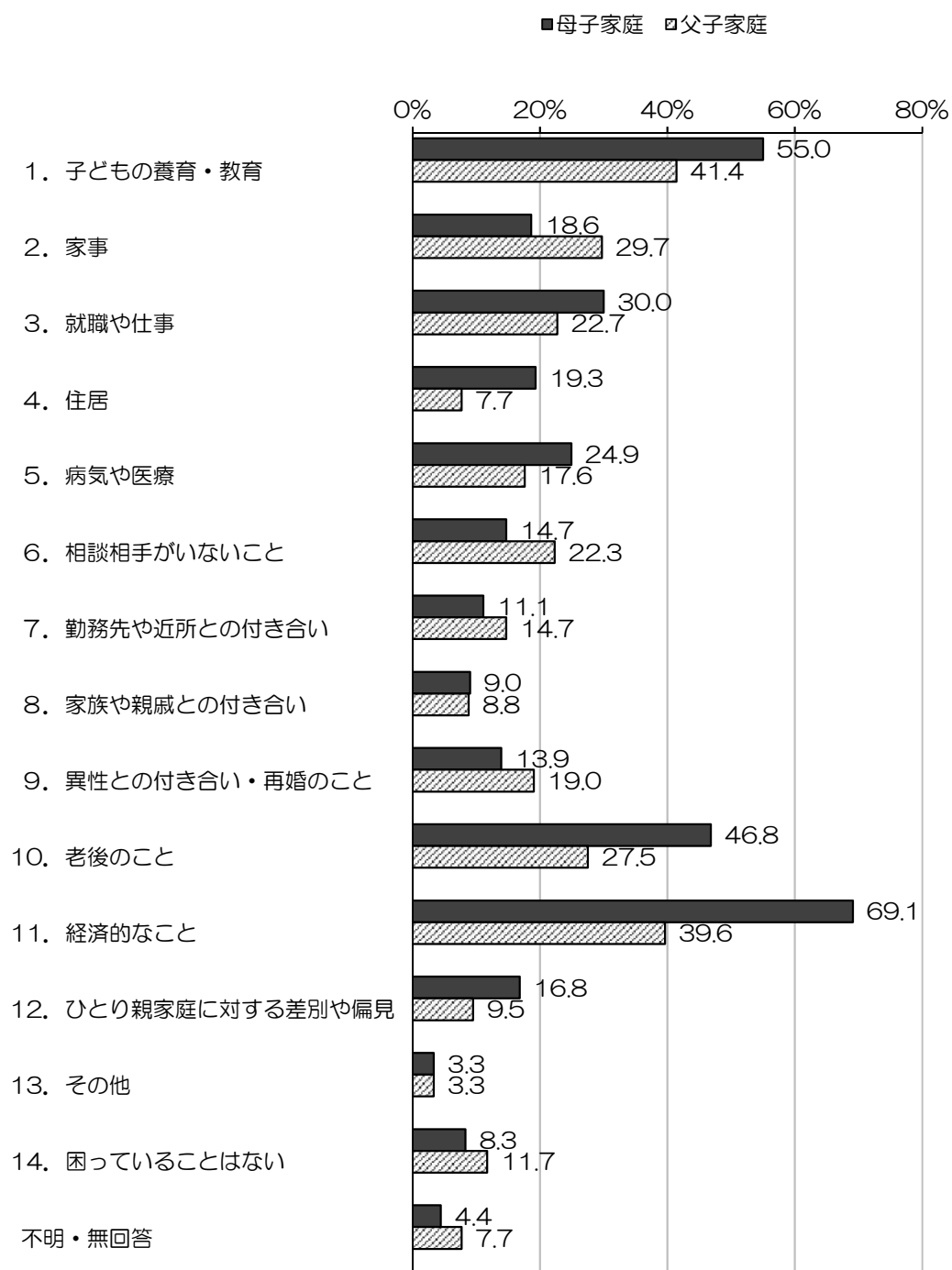
資料：京都市「ひとり親家庭に関する実態調査」（2018（平成30）年）

■ ひとり親家庭になった当時、困ったこと また、現在困っていること

【当時】

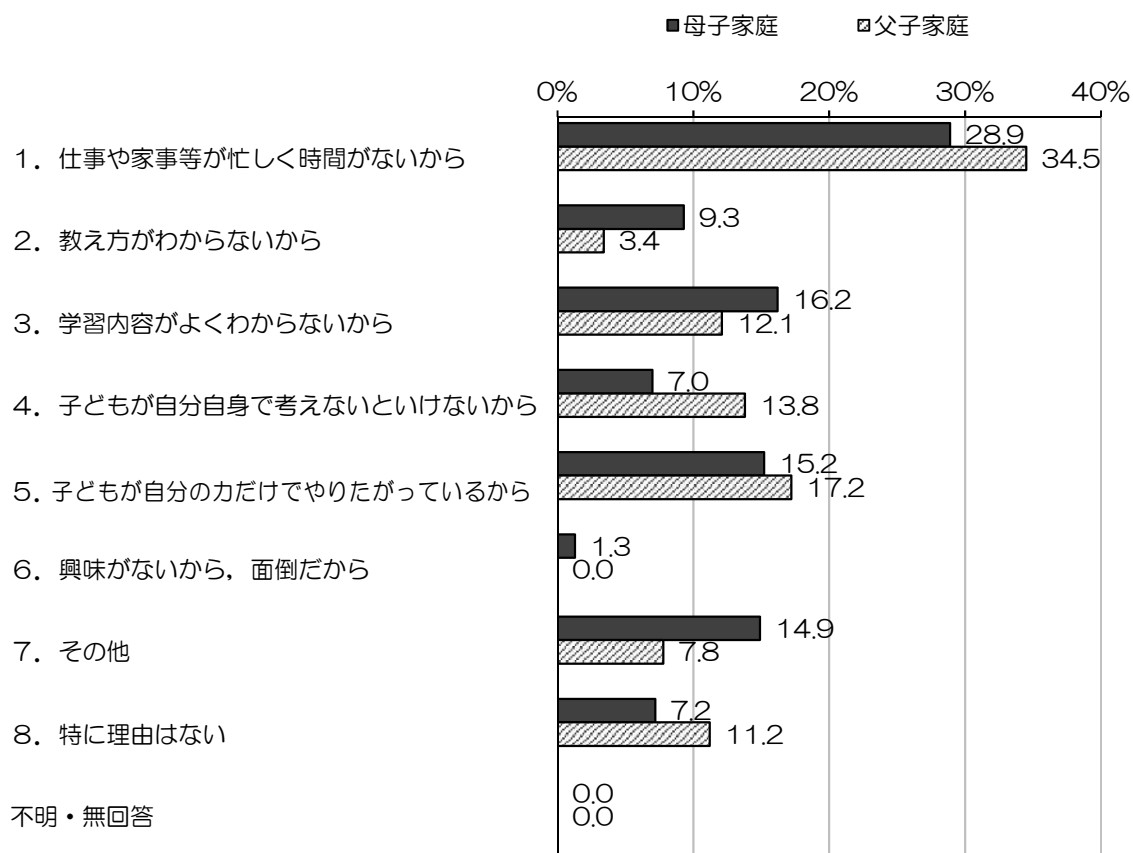


【現在】



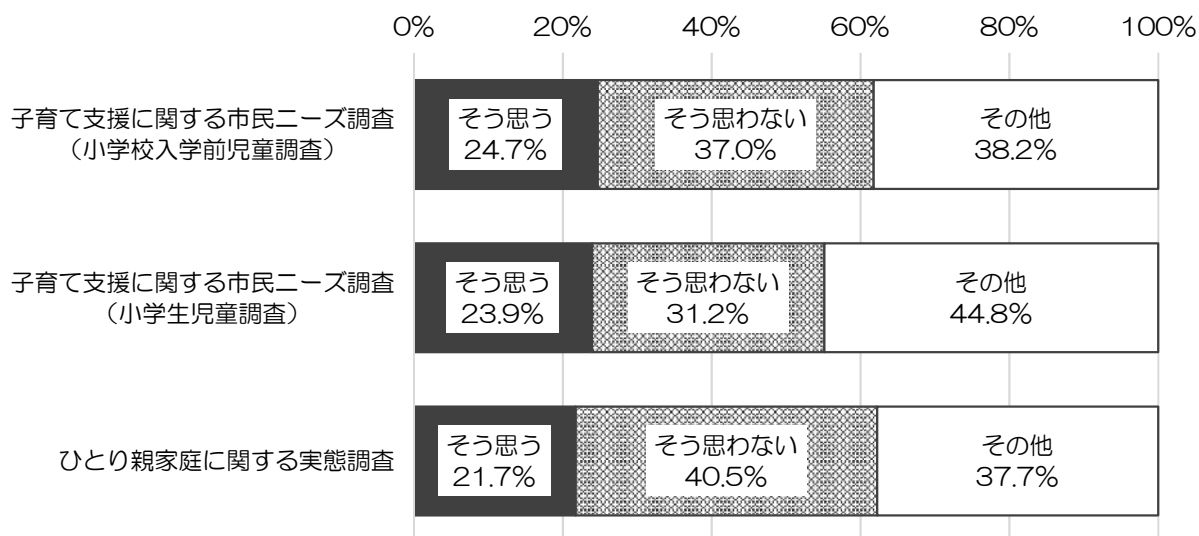
資料：京都市「ひとり親家庭に関する実態調査」（2018（平成30）年）

■ 子どもに対し、宿題を見るなど、勉強を教えることがない理由



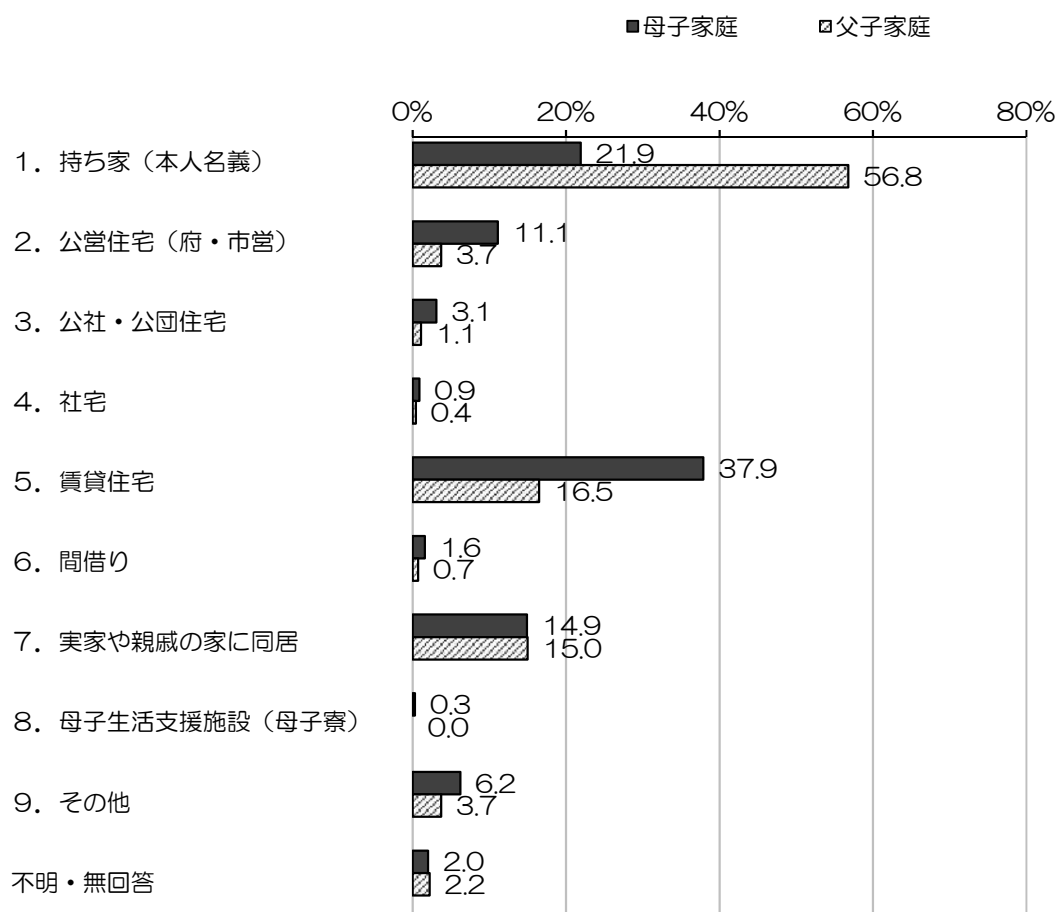
資料：京都市「ひとり親家庭に関する実態調査」（2018（平成30）年）

■ 現在の京都市について、子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境であると思うか



資料：京都市「ひとり親家庭に関する実態調査」（2018（平成30）年）

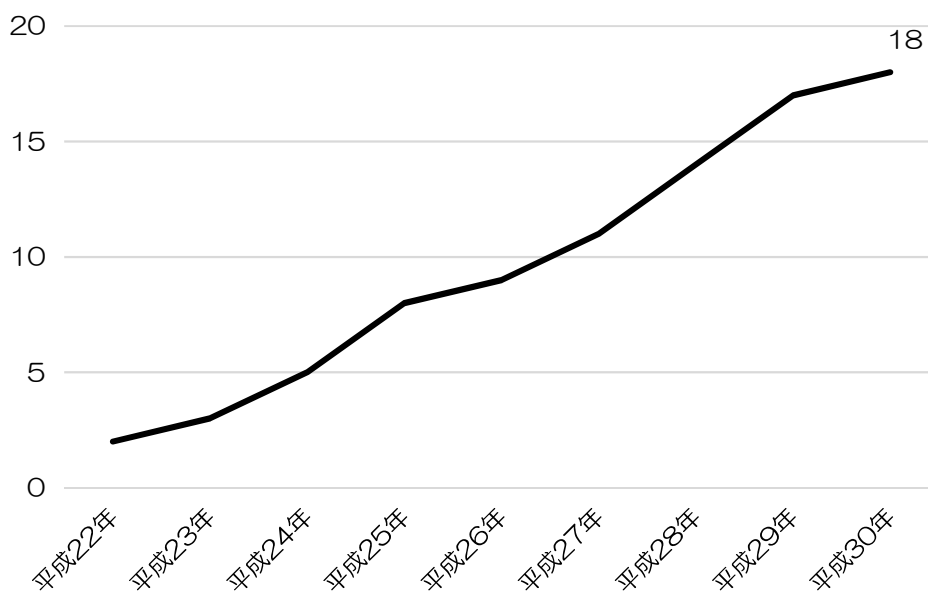
■ 住んでいる住宅の種類



資料：京都市「ひとり親家庭に関する実態調査」（2018（平成30）年）

■ 学習支援事業の箇所数

（箇所）



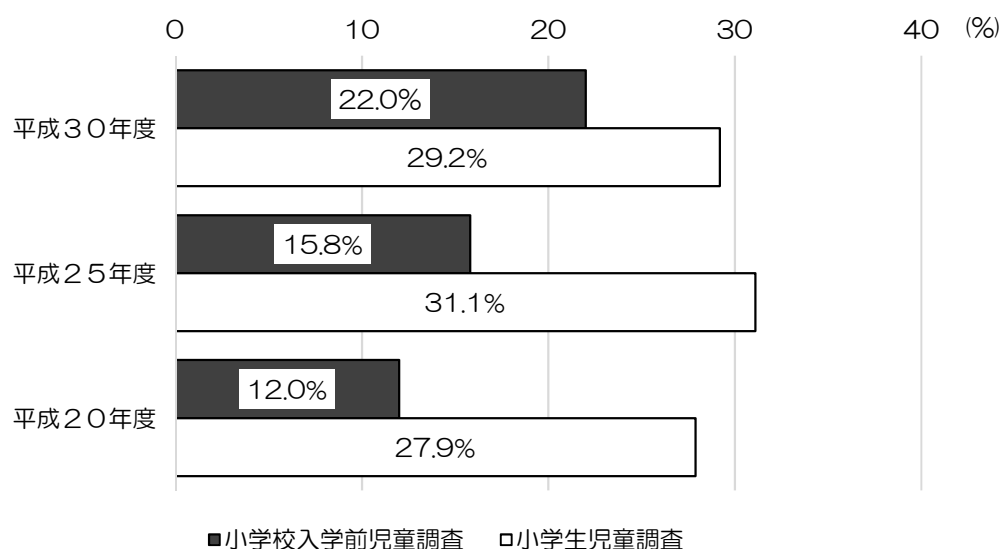
■ 学習支援事業の登録者数



(3) 子ども・若者とその家庭をみんなで支え・はぐくむ社会

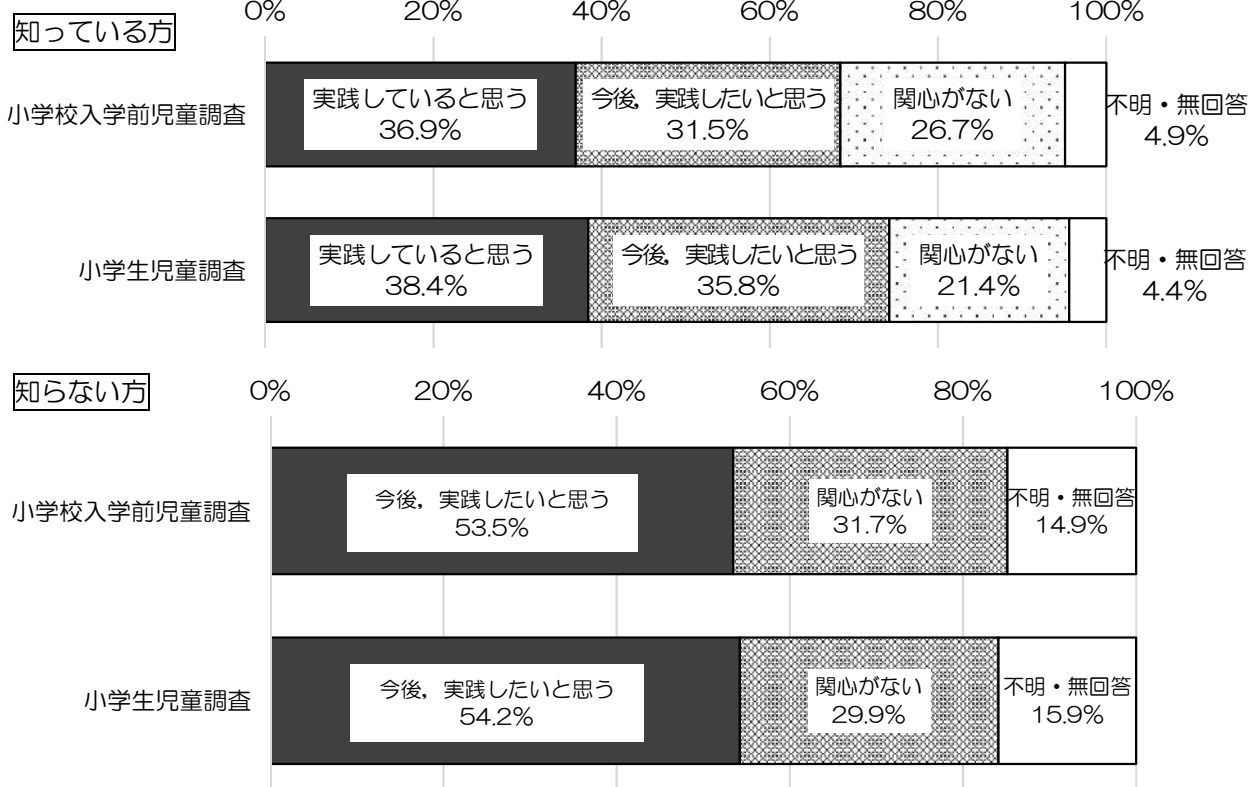
① 次代を担う子ども・若者をはぐくむ地域共生社会の推進 重点5 柱1・柱2

■ 「子どもを共に育む京都市民憲章」を知っている割合



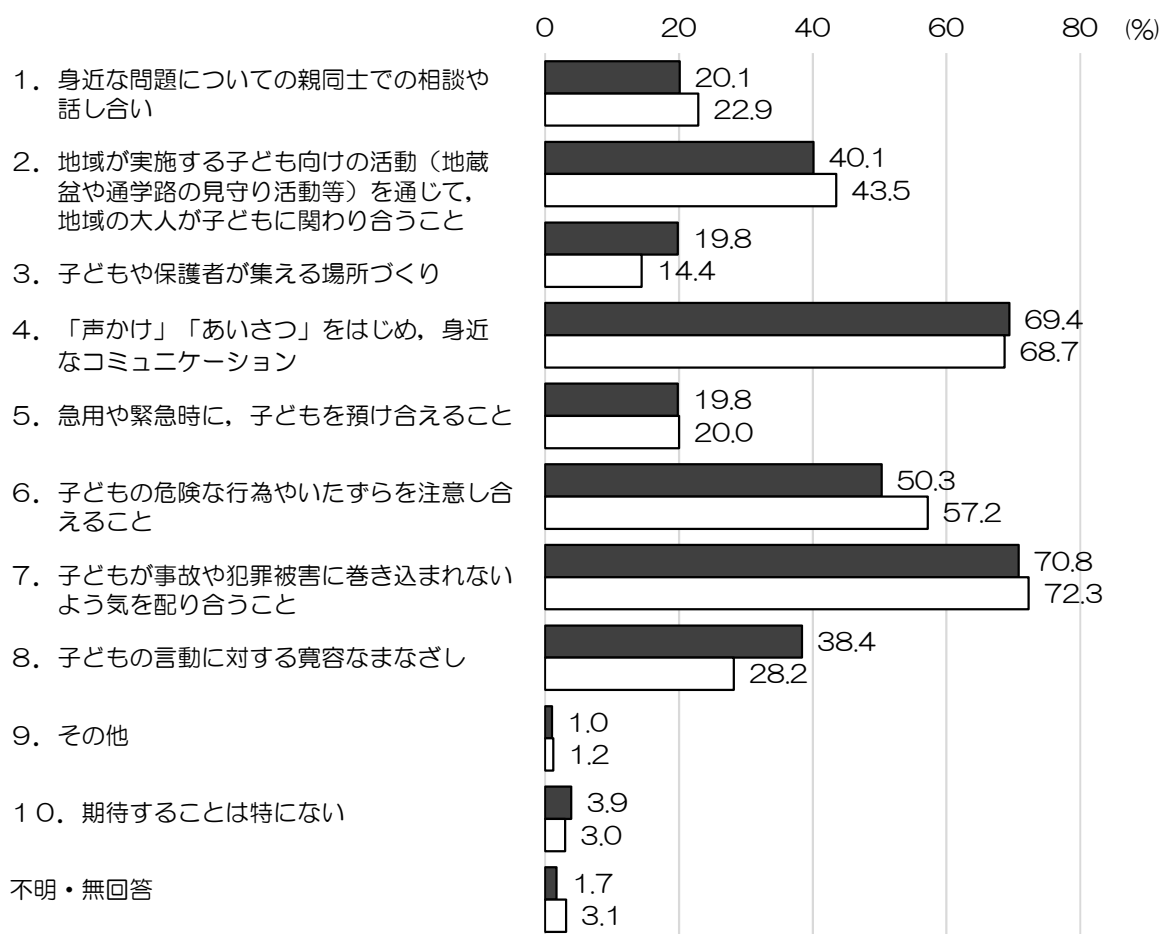
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 「子どもを共に育む京都市民憲章」の実践についてどう思うか



資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

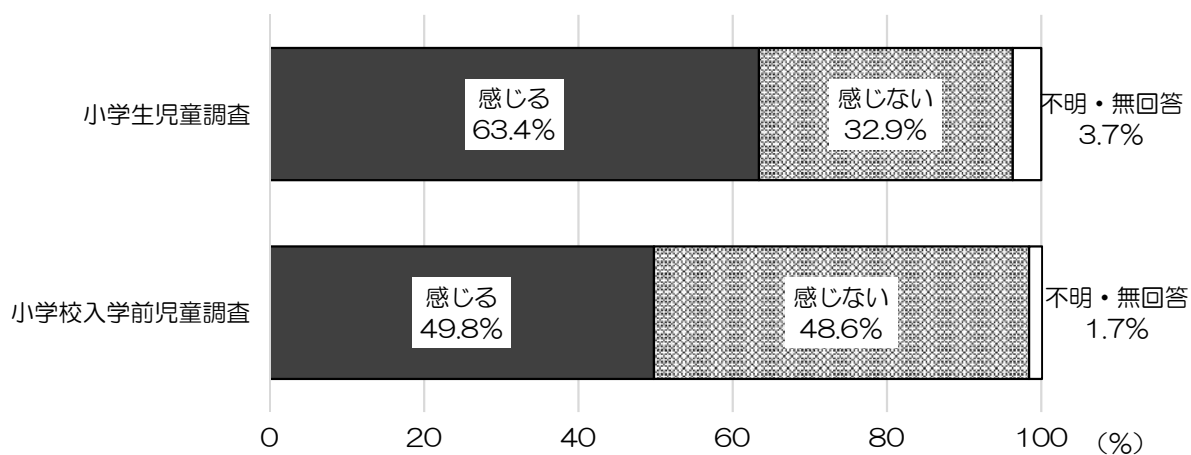
■ 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待すること



■ 小学校入学前児童調査 □ 小学生児童調査

資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

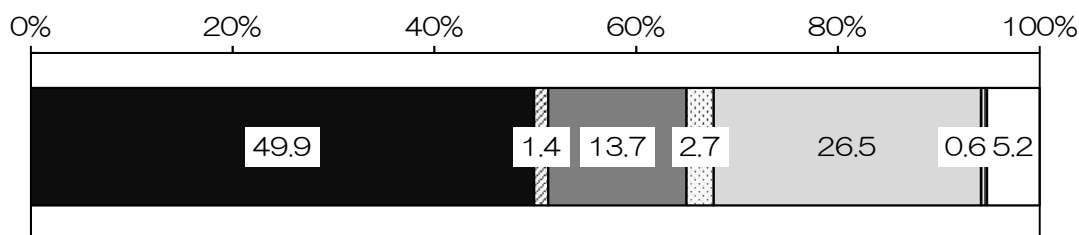
■ 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか



資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

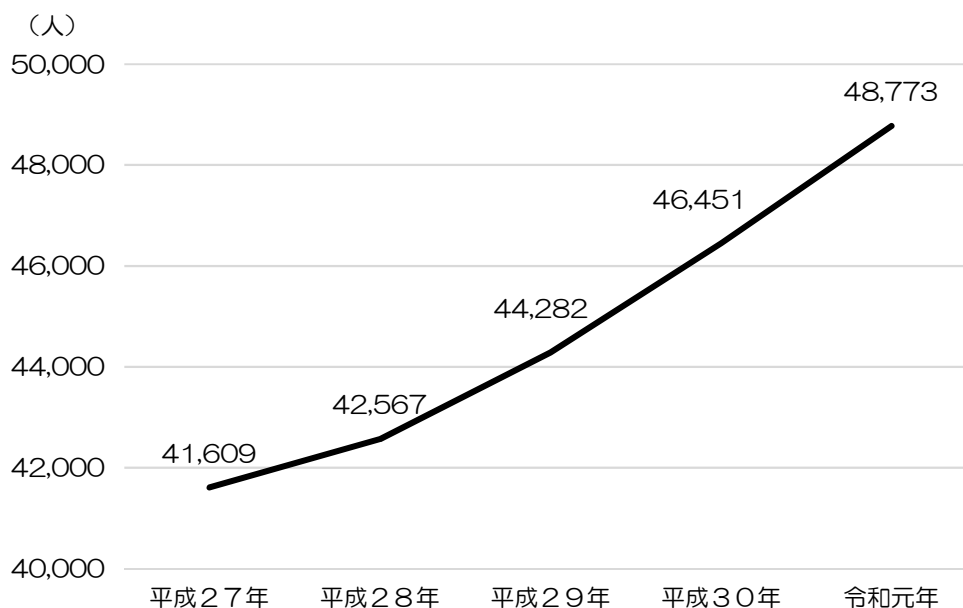
■ あなたやあなたの身近な人（パートナーや家族、友人など）が LGBT 等の性的少数者だったと仮定した場合、あなたはそのことを受け入れることができるか

- 1. 自身のことでも、身近な人のことであっても受け入れることができる
- 2. 自身のことは受け入れることができるが、身近な人のことは受け入れることができない
- 3. 自身のことは受け入れることができないが、身近な人のことは受け入れることができる
- 4. 自身のことでも、身近な人のことであっても受け入れることができない
- 5. わからない
- 6. 答えたくない
- 不明・無回答



京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

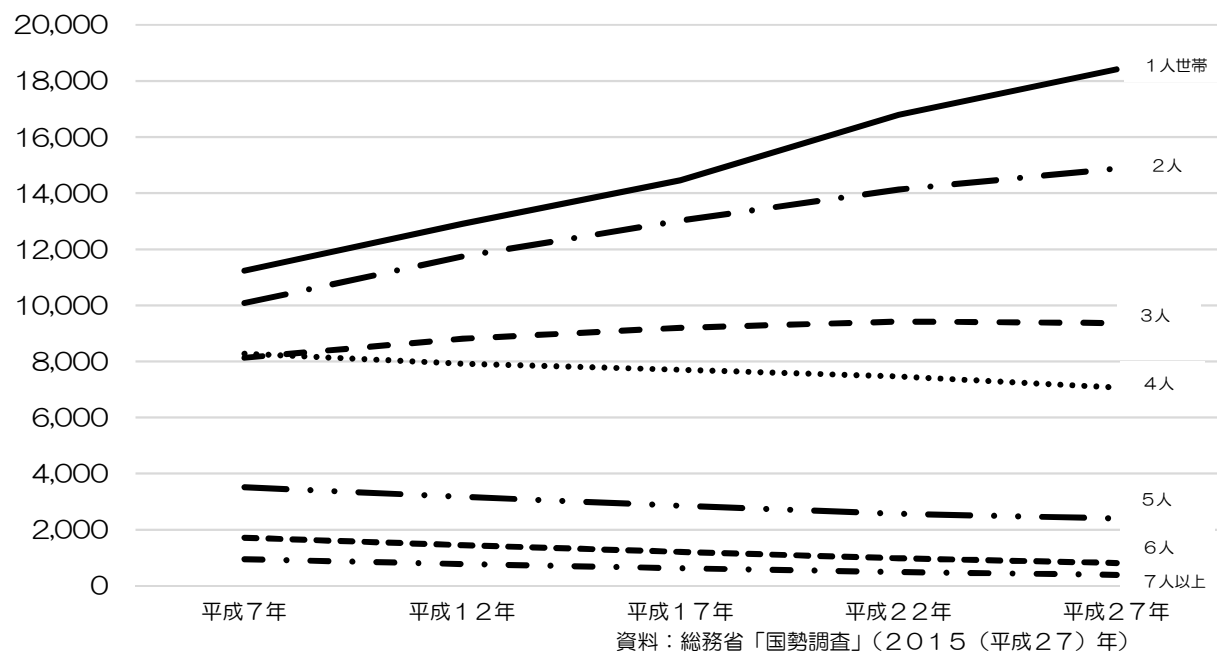
■ 京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（各年 12 月末現在）



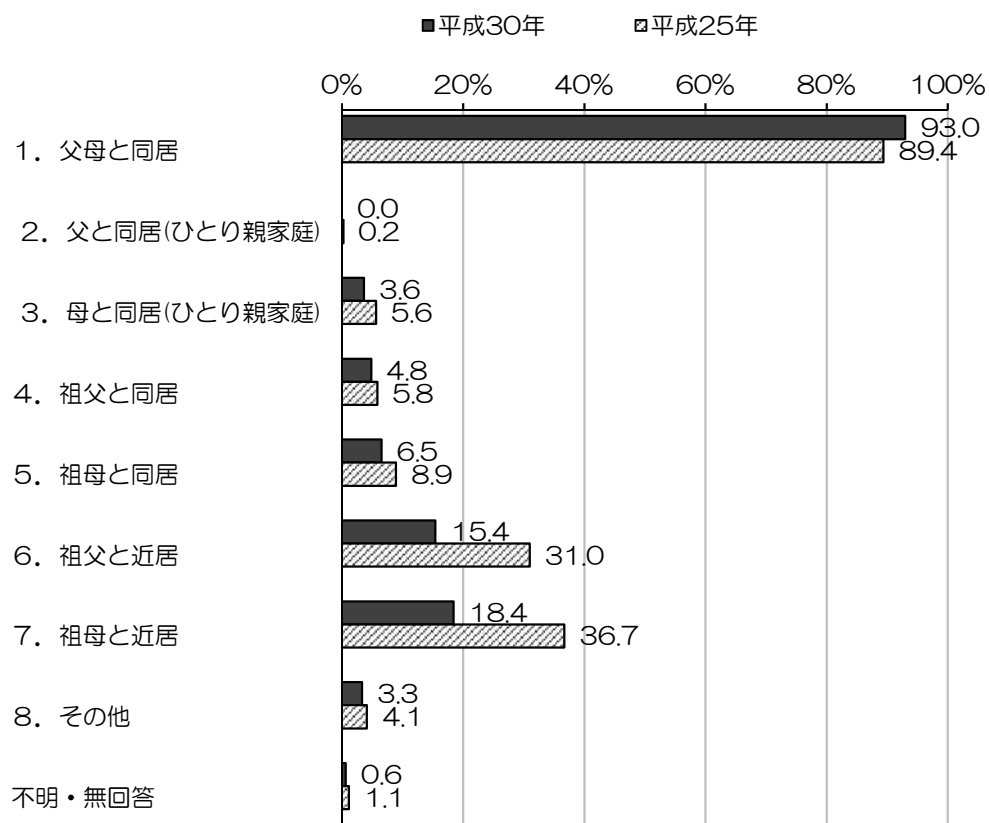
② 親育ち促進 重点3 柱1

■ 世帯人員別一般世帯数の推移

(千世帯)

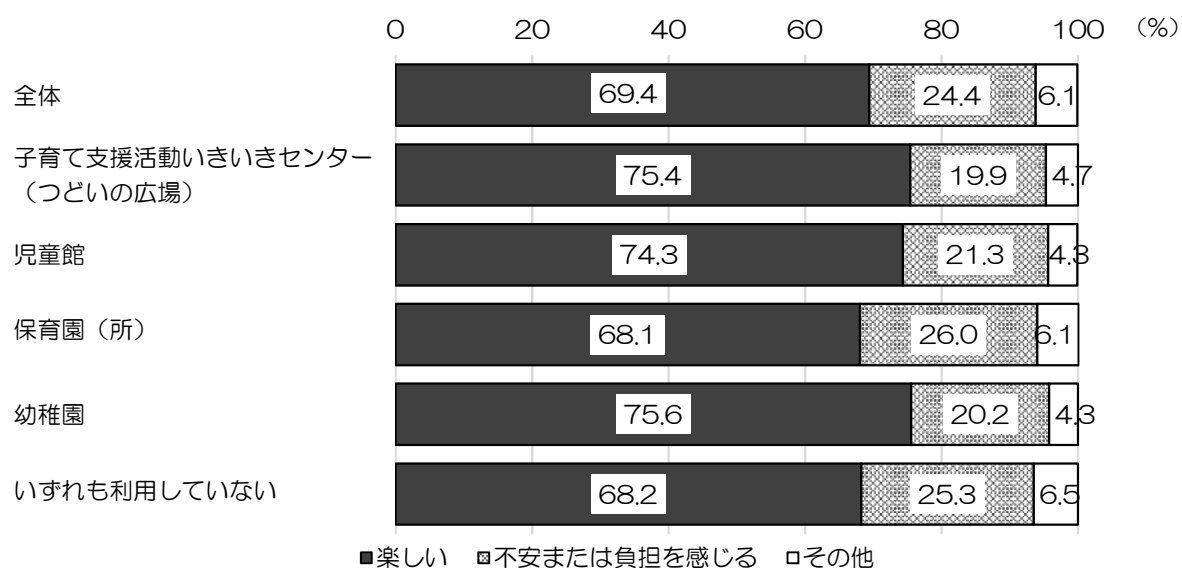


■ 子どもとの同居・近居の状況について



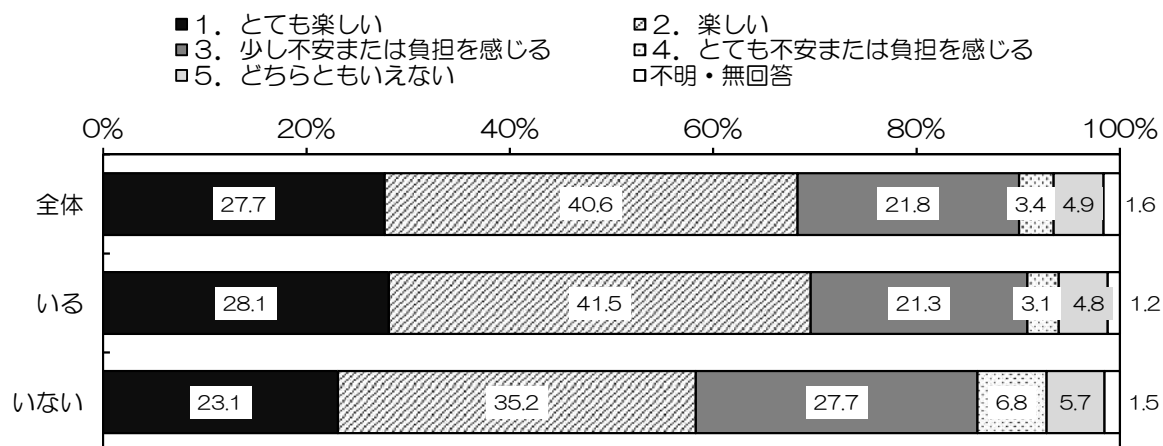
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」(2018(平成30)年)

■ 子育てをしている今の気持ち（地域の子育て支援事業の利用状況別）



資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

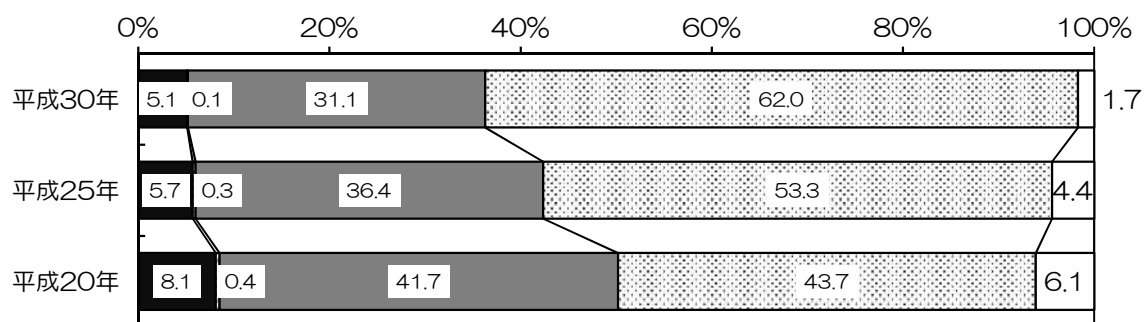
■ 子育てをしている今の気持ち（子育て仲間の有無別）



資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

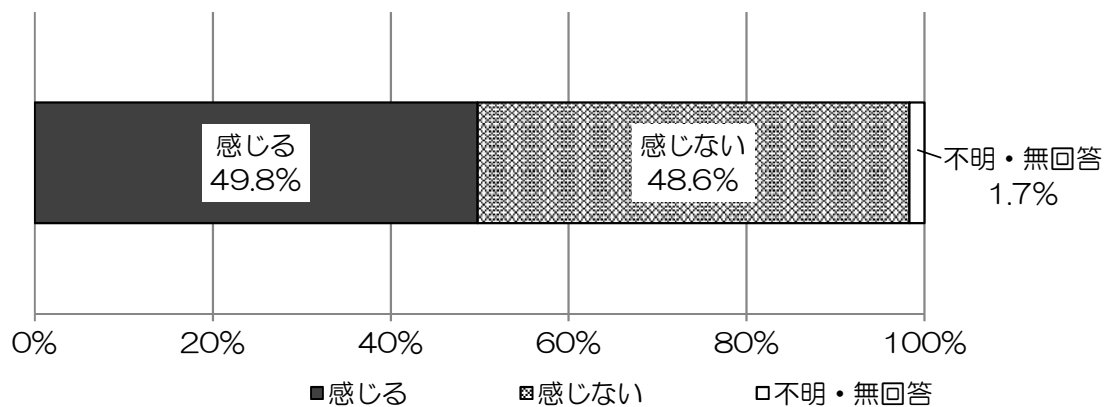
■ 子育てサークル等の自主的な活動に参加しているか

- 1. 現在参加している
- ▣ 2. 新たに立ち上げたいと考えている
- 3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
- ▣ 4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない
- 不明・無回答



資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

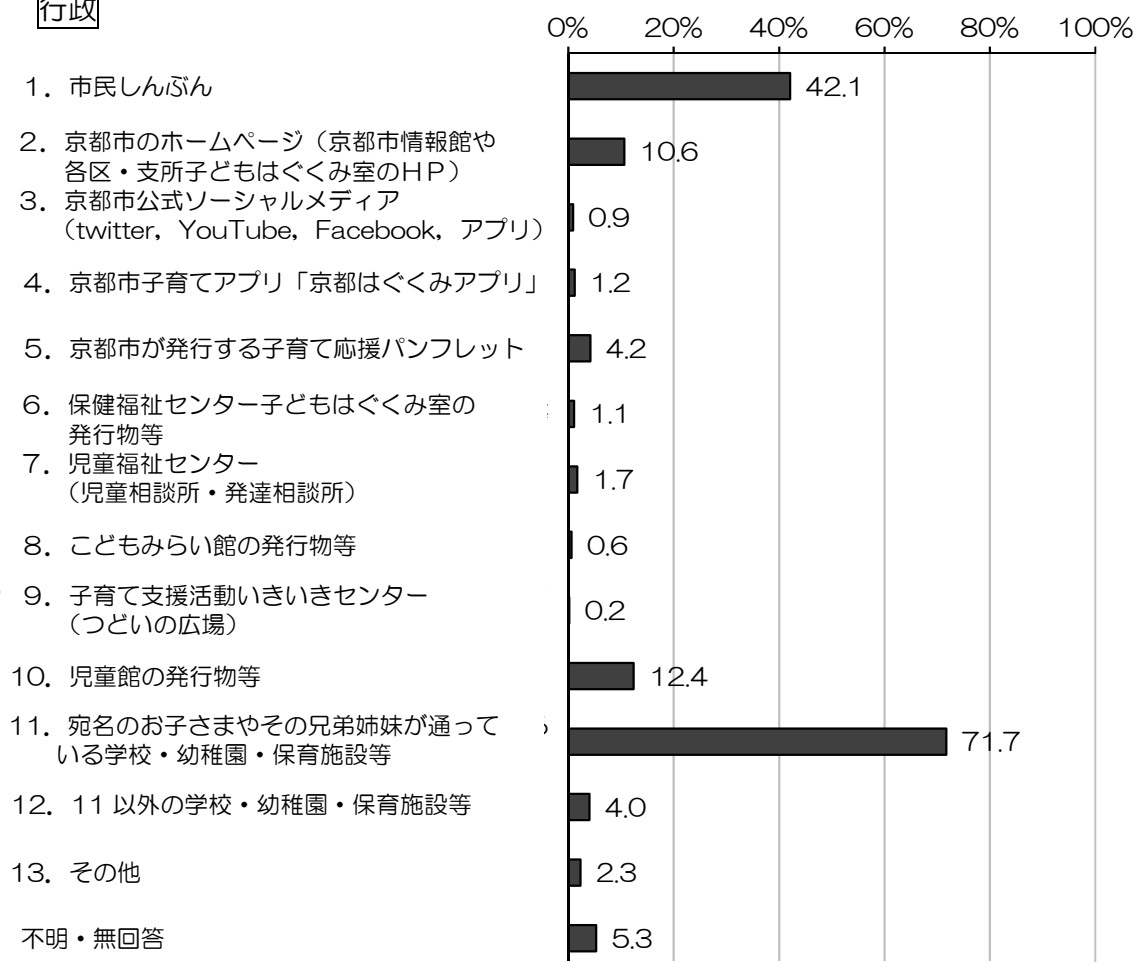
■ 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか



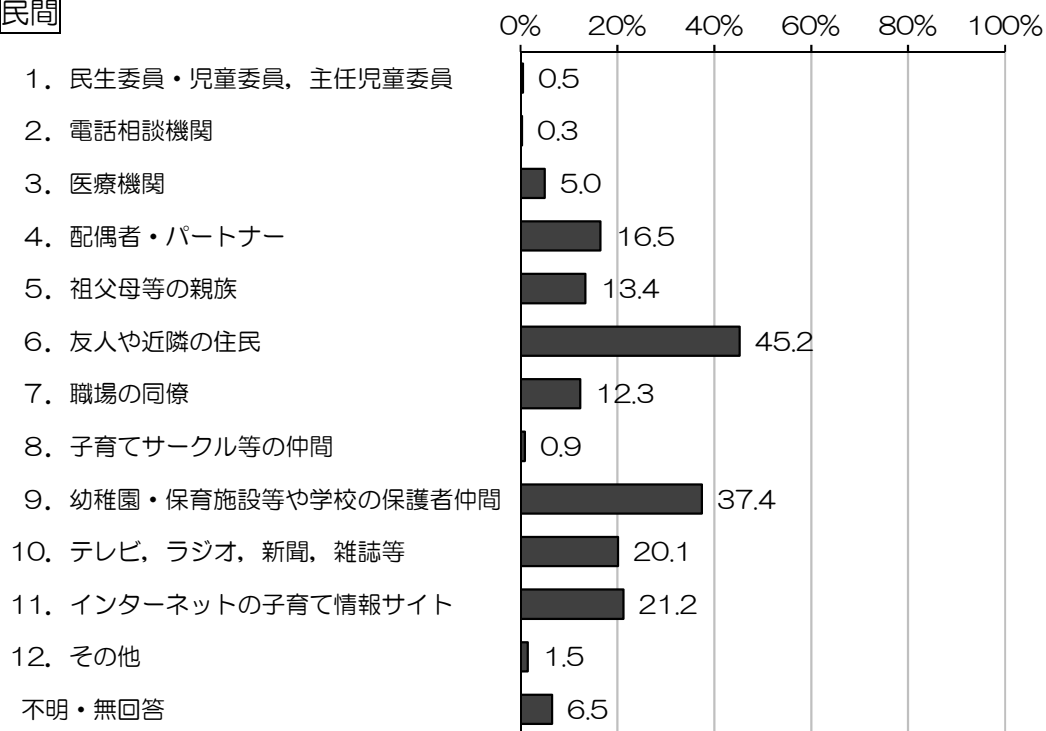
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 子育てに関する情報の入手方法について（行政・民間）

行政



民間

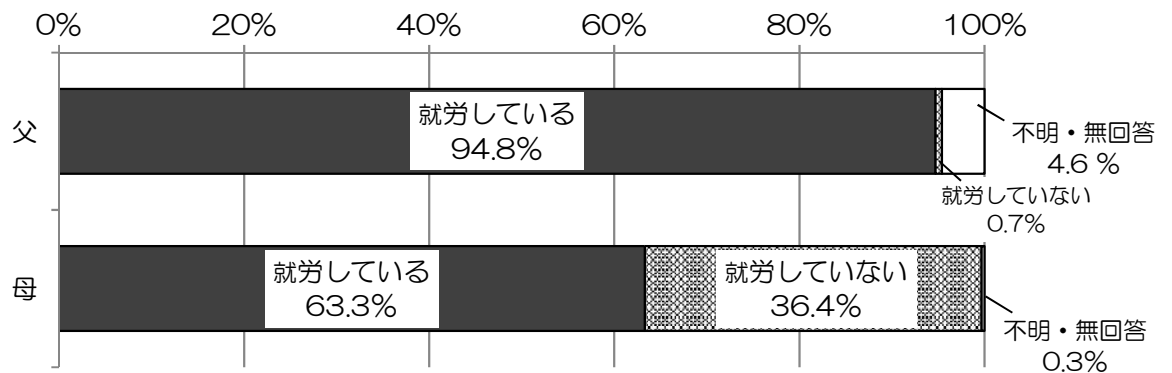


資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

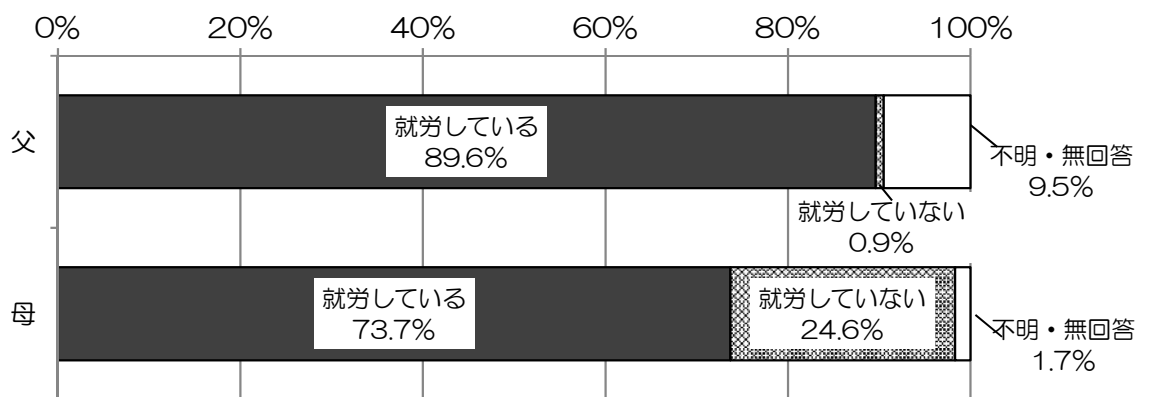
③「真のワーク・ライフ・バランス」の促進 重点6 柱1～2

■ 父親・母親それぞれの現在の就労状況

(小学校入学前児童調査)

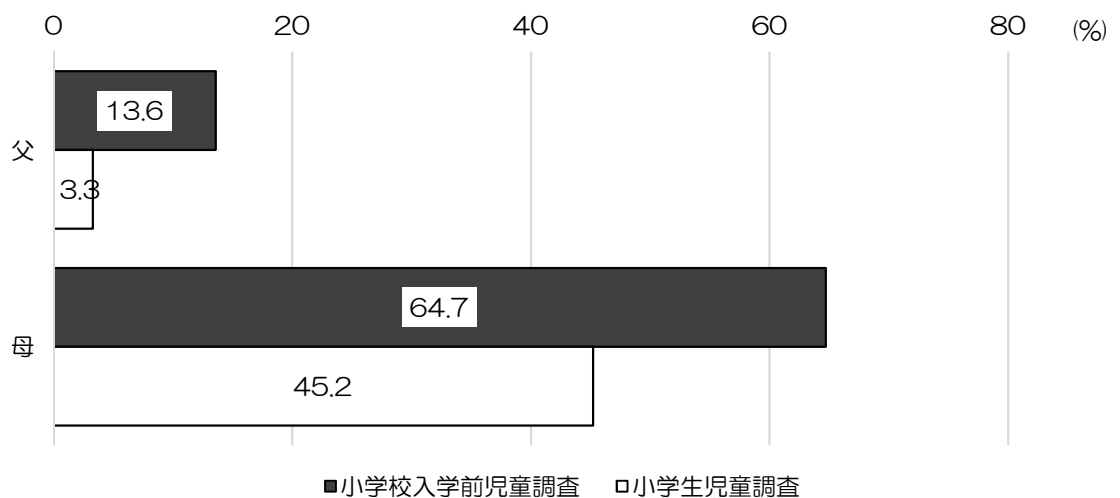


(小学生児童調査)



資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

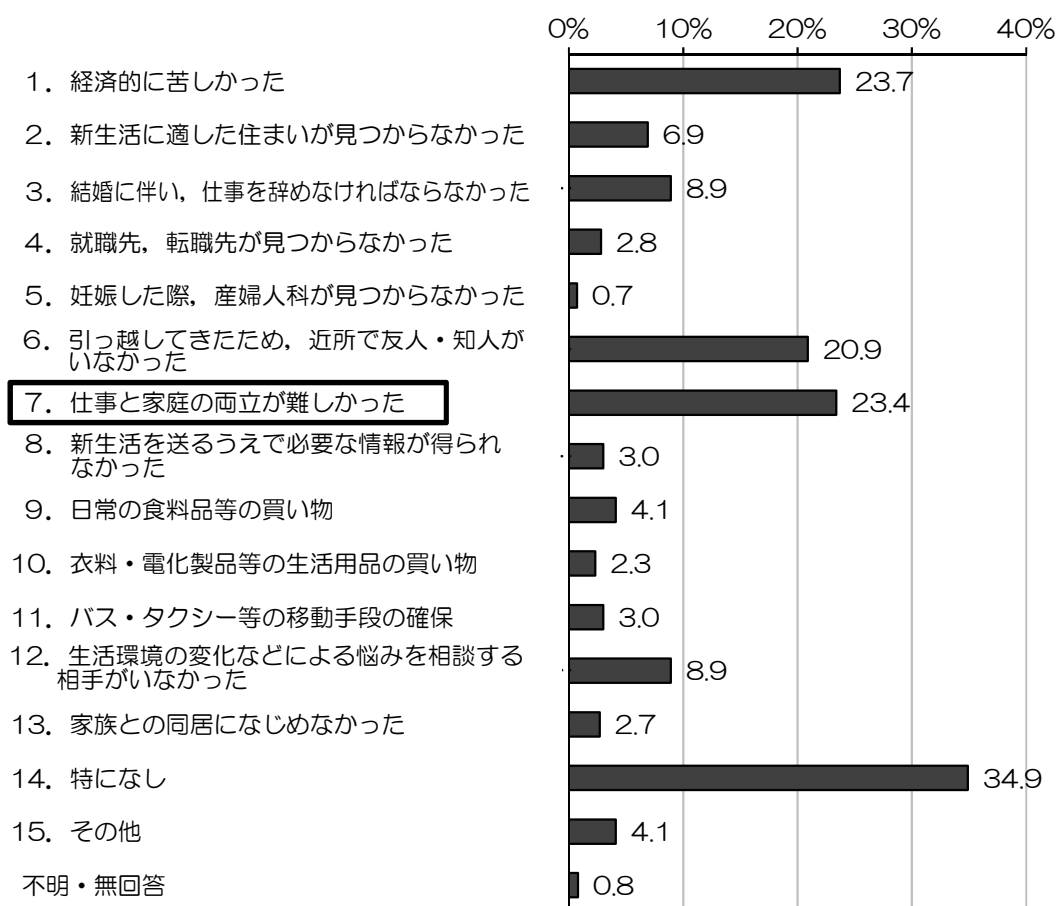
■ 現在就労していない理由が「子育てのため」と回答した割合



■ 小学校入学前児童調査 □ 小学生児童調査

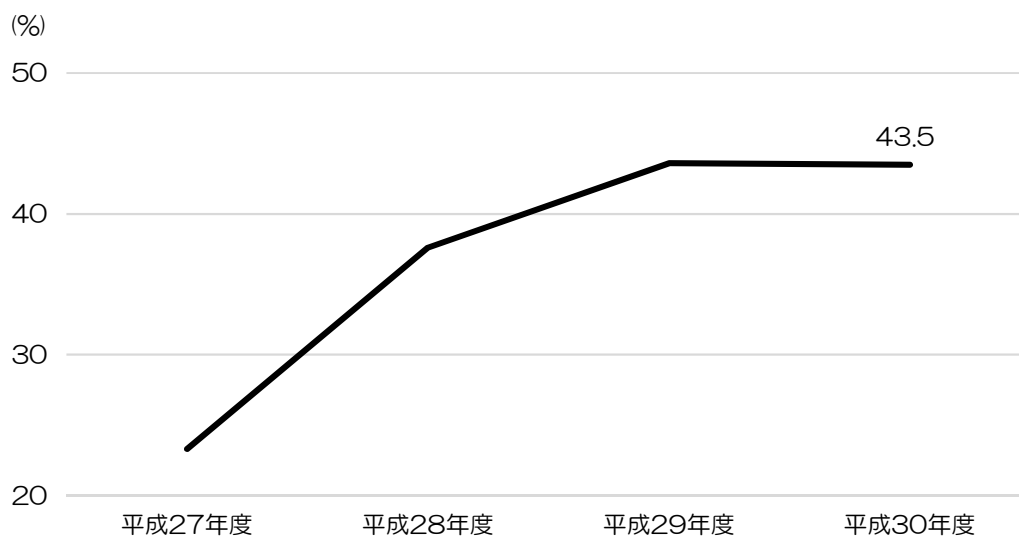
資料：京都市「子育て支援に関する市民ニーズ調査」（2018（平成30）年）

■ 結婚した後の新生活で困ったこと



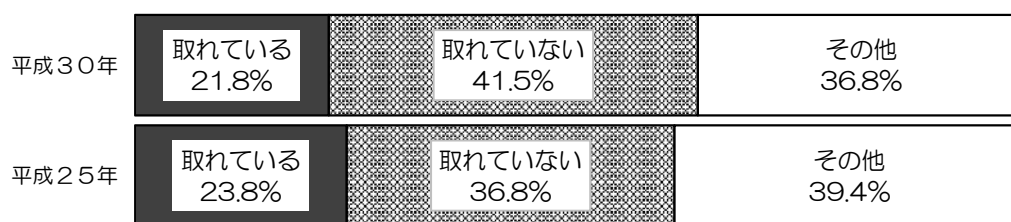
資料：京都市「家族や家庭生活のあり方に関する意識調査」（2018（平成30）年）

■ 「真のワーク・ライフ・バランス」という言葉の周知度



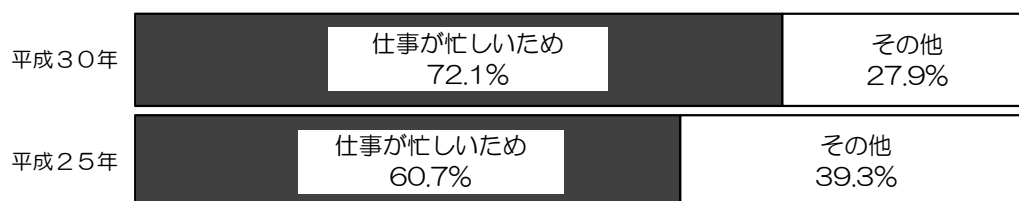
資料：京都市「真のワーク・ライフ・バランス」に関するアンケート

■ 真のワーク・ライフ・バランスが取れているか



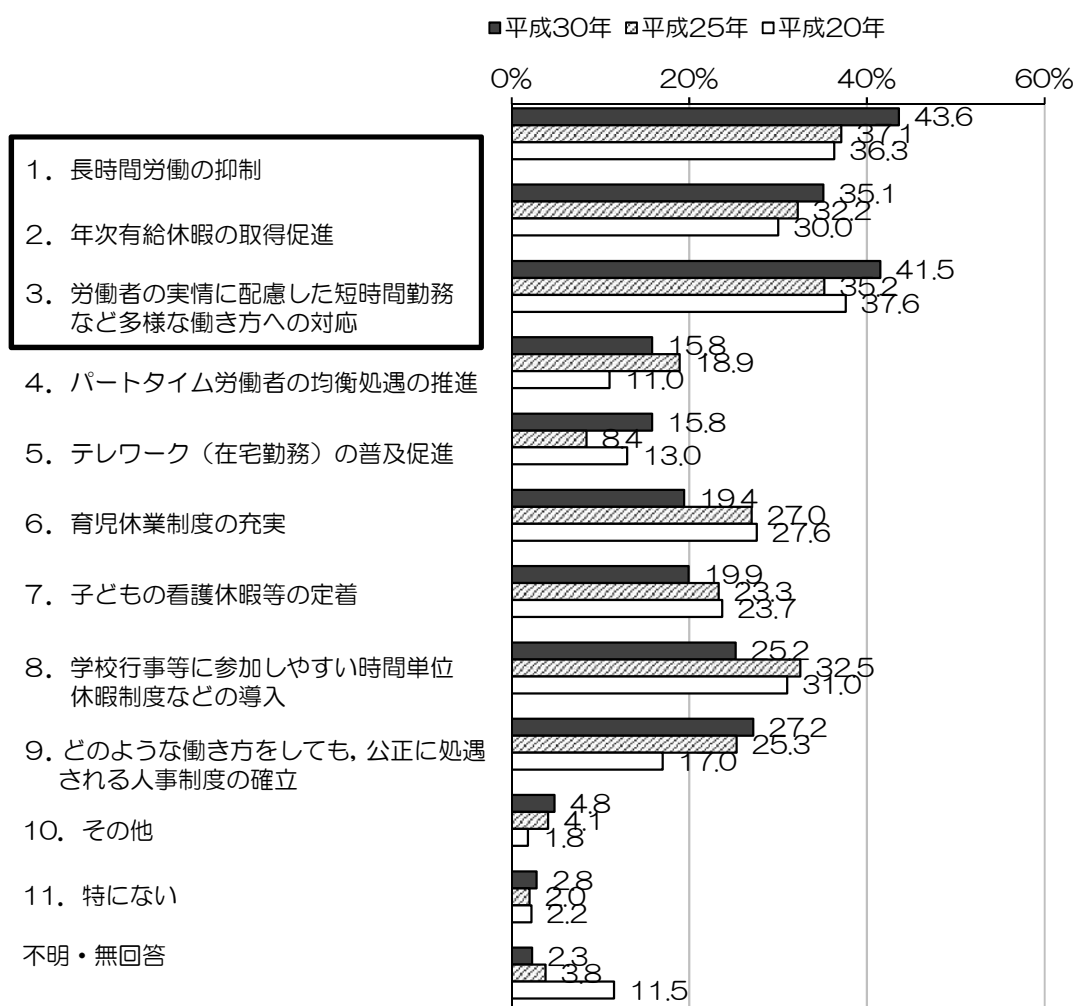
資料：京都市「家族や家庭生活のあり方に関する意識調査」（2018（平成30）年）

■ 真のワーク・ライフ・バランスが取れていない理由



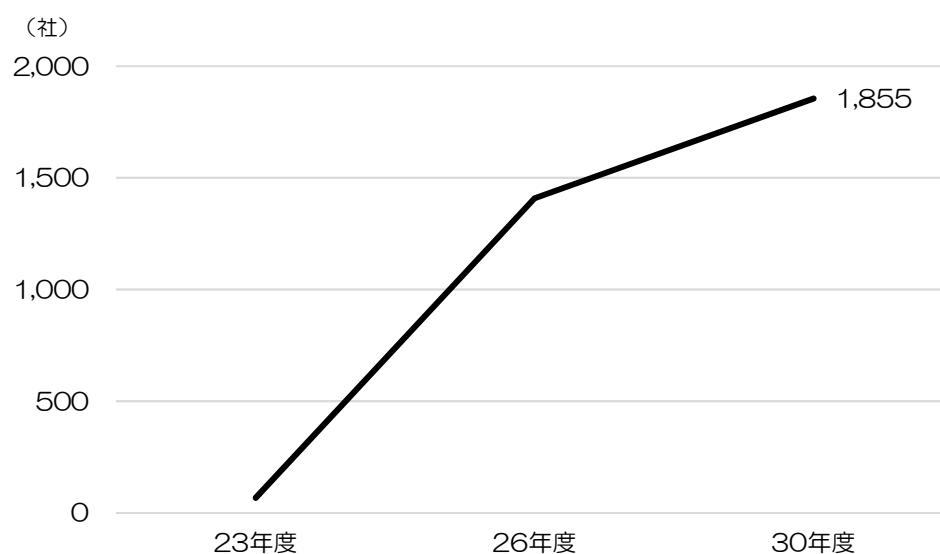
資料：京都市「家族や家庭生活のあり方に関する意識調査」（2018（平成30）年）

■ 真のワーク・ライフ・バランスの実現のために、企業等に取り組んでほしいこと

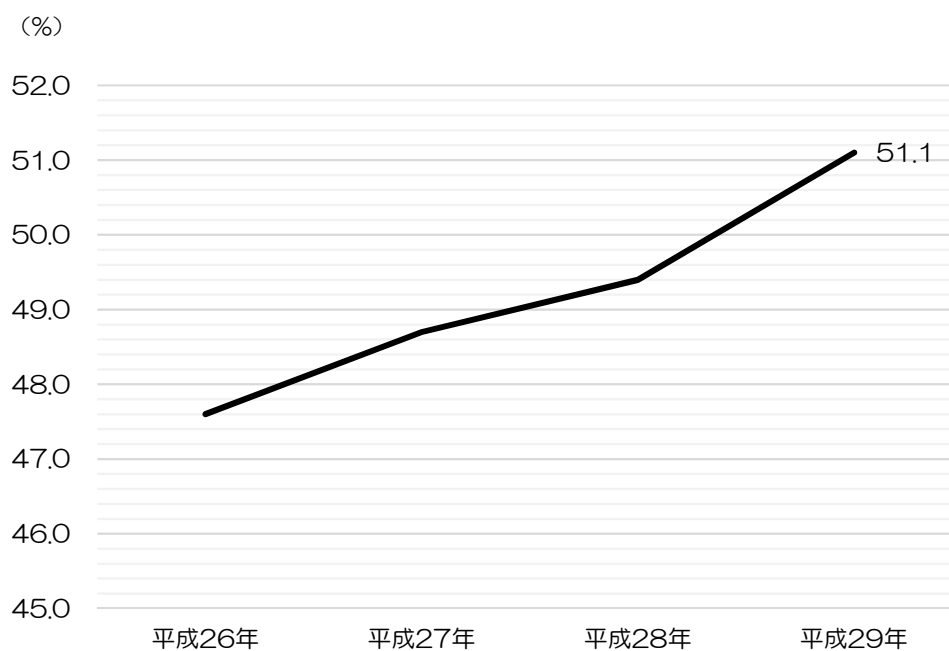


資料：京都市「家族や家庭生活のあり方に関する意識調査」（2018（平成30）年）

■ 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度における宣言企業数

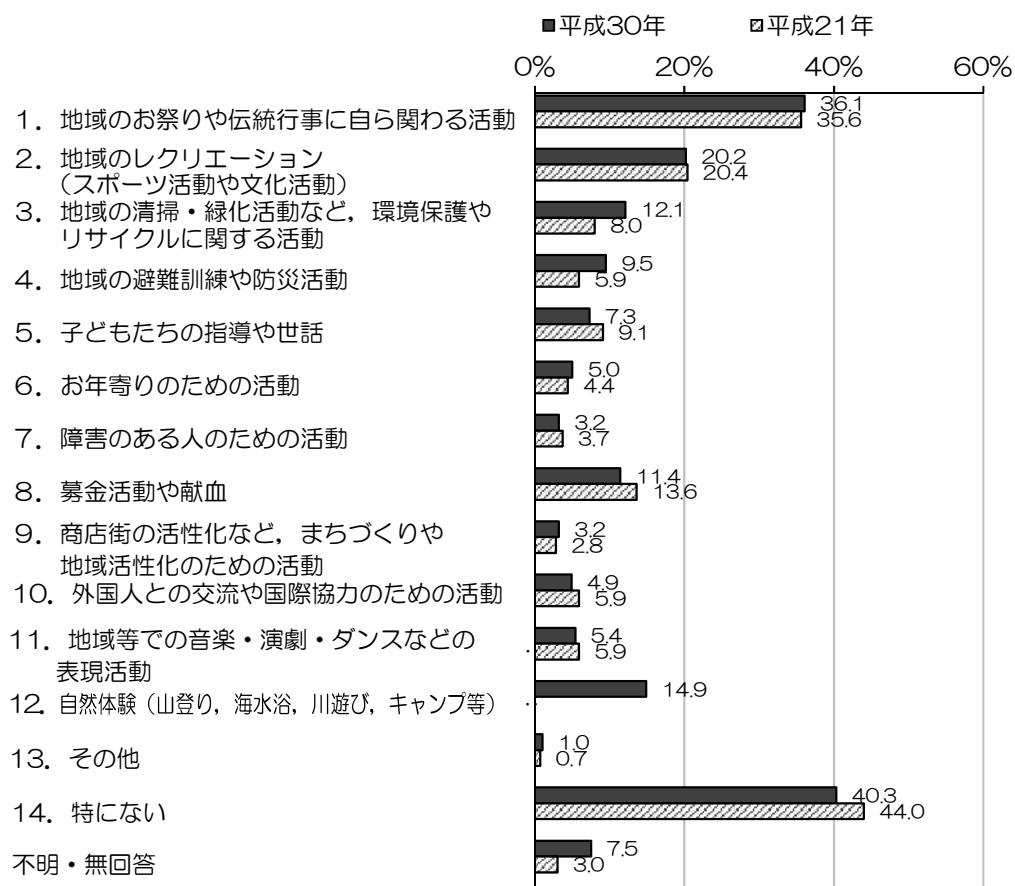


■ 年次有給休暇取得率



資料：厚生労働省「就労条件総合調査」(2018(平成30)年)

■ この3年間で、学校や仕事以外で、1～13の活動に参加したことがあるか



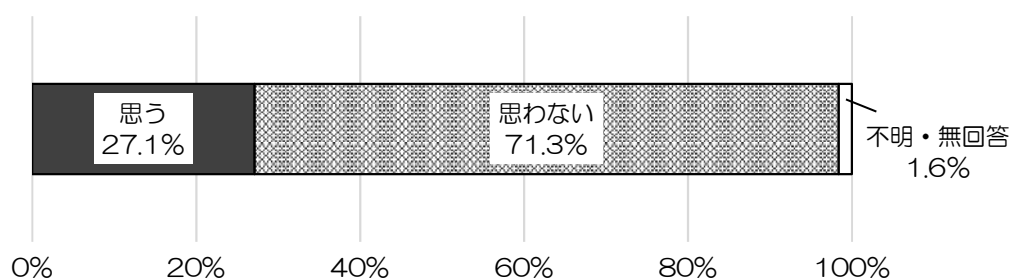
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」(2018(平成30)年)

■ 京都市における、未来のまちづくりのための様々な取組のうち、どのようなことに興味があるか



資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

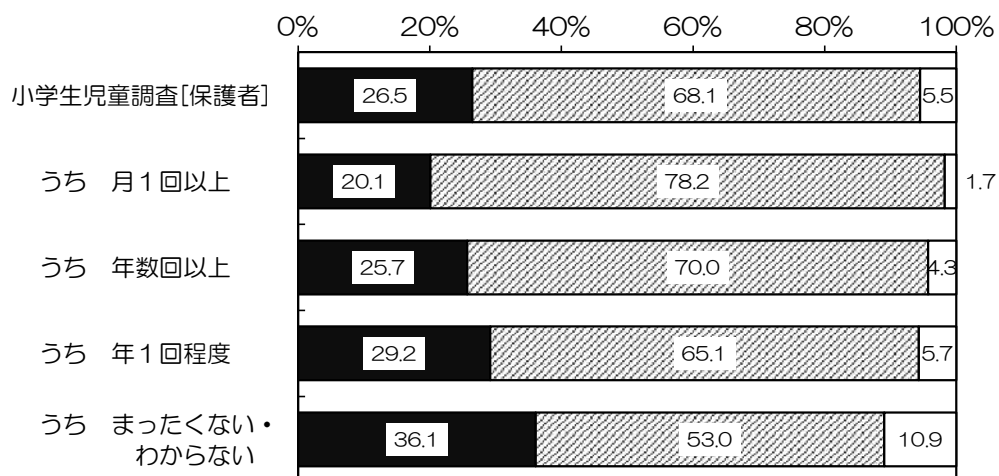
■ 京都市や地域のまちづくりについて意見を述べる機会があれば、述べてみたいと思うか



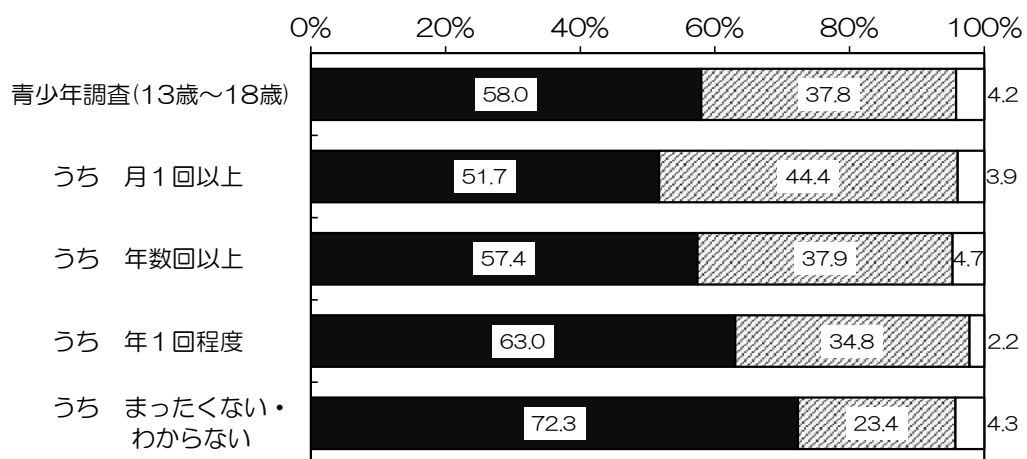
資料：京都市「青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査」（2018（平成30）年）

■ 文化芸術活動の頻度別 自己肯定感の状況

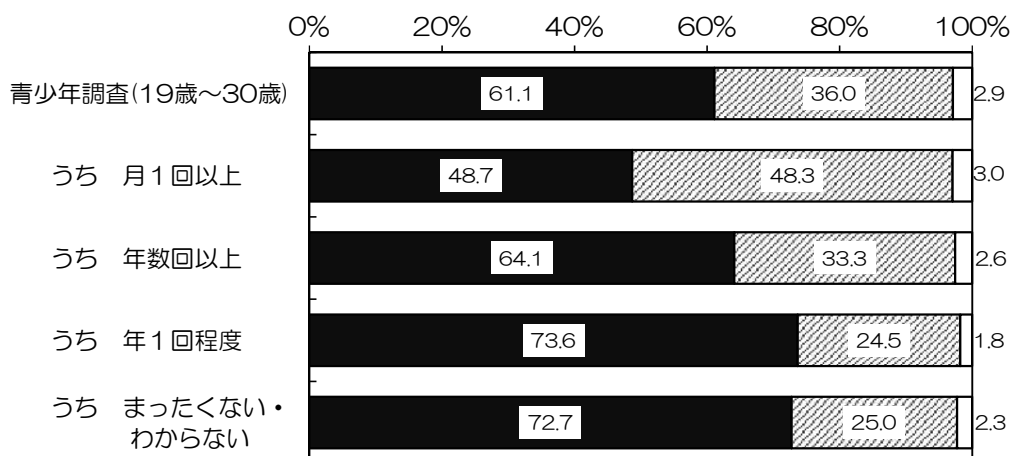
■ 1. 自己肯定感が低い □ 2. 自己肯定感が高い □ 不明・無回答



■ 1. 自己肯定感が低い □ 2. 自己肯定感が高い □ 不明・無回答



■ 1. 自己肯定感が低い □ 2. 自己肯定感が高い □ 不明・無回答



資料：京都市「子どもの生活状況調査」（2018（平成30）年）

京都市はぐくみプラン (京都市子ども・若者総合計画)

【別冊 資料集】

【発行】2020(令和2)年3月

京都市 子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1

井門明治安田生命ビル2階

電話：075-746-7610 FAX：075-251-2322